

第七十回帝國議會
衆議院

國民健康保險法案外二件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

國民健康保險法案(政府提出)
保健所法案(政府提出)
結核豫防法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十二年三月十三日(土曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事武知 勇記君 理事青木 亮貫君

理事喜多壯一郎君 理事三善 信房君

小林 三郎君

川橋豊治郎君

楠木 忠正君

中崎 俊秀君

石坂 豊一君

加藤鏖五郎君

肥田 琢司君

沖 藏君

三宅 正一君

藏原 敏捷君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 河原田稼吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長 挾間 茂君

社會局長官 廣瀬 久忠君

社會局部長 清水 玄君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民健康保險法案(政府提出)

保健所法案(政府提出)

結核豫防法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ是カラ開會致シマ

ス、此委員會ニハ國民健康保險法、保險所

法、竝ニ結核豫防法ノ改正法律案ノ三ツガ

付託サレテ居ルノデアリマス、之ニ付キマ

シテハ、決定ハ無論別ニスベキモノトハ存

シマスケレドモ、御質疑中ハ或ハ關聯スル

コトモアラウト思フノデアリマス、議題ト

シテハ、三ツナガラ同時ニ掛ケテ御審議ヲ

願フコトニシタイト思フノデアリマス、御

異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○添田委員長 ソレデハ此三案ヲ議題ニ供

スルコトニ致シマス、最初ニ內務大臣ヨリ

御説明ガアル筈デアリマス——內務大臣

○河原田國務大臣 只今議題トナリマシタ

國民健康保險法案ニ付テ御説明致シマス、

我國民ノ保健狀況ハ漸次改善セラレツ、ア

リトハ云へ、諸外國ノソレニ比シ未ダ良好

トハ申シ難ク、殊ニ最近ニ於ケル壯丁ノ體

位低下ノ如キハ、洵ニ寒心ニ堪ヘザルモノ

ガアリマス、此國民ノ健康ヲ保持増進スル

コトハ國力ノ充實發展、國民生活安定ノ見

地ヨリ見テ喫緊ノ重要事デアリマスガ、就

中傷病ニ際シ醫療ヲ受ケテ、速ニ健康ヲ回

復スルコトハ、最モ肝要デアリマス、然ル

ニ醫療ニ際シ直チニ問題トナルノハ醫療費

デアリマシテ、一時ニ多額ノ失費ヲ要スル

ト云フコトハ、疲弊セル農山漁村居住民或

ハ都市中小商工業者等ニ取ツテハ、洵ニ堪ヘ

難キ負擔デアリ、此經濟の重壓ヲ除クニア

ラズンバ、醫療ヲ容易ニ受ケシメルコトハ

出來難イノデアリマス、而シテ醫療費ノ解

決ニハ救療或ハ輕費診療等ノ方法モアリマ

スガ、是等ハ何レモ局部的ノ施設デアリマ

シテ、從ッテ一般的ニ此問題ヲ解決スルニハ

別ノ方法ヲ考ヘナケレバナリマセヌ、ソレ

ニハ協同ノ力ト平素ノ用意トニ依ル保險制

度ヲ以テ危險ヲ分散セシメ、以テ不時ノ醫

療費ノ負擔ヲ輕減スルノ外ナイト信ズルノ

デアリマス、御承知ノ通り現在既ニ健康保

險ノ制度ガ實施サレ、相當ノ效果ヲ擧ゲテ

居ルノデアリマスガ、其對象ノ工場、鑛山其

他ノ勞働者ニ限ラレテ居リマスノデ、更ニ

之ヲ廣ク一般國民、特ニ農山漁村居住民

及ビ都市中小商工業者等ノ少額所得者ヲ對

象トシテ實施スルノ必要ヲ痛感スルノデア

リマス、依ッテ政府ハ其實情ヲ十分查察シ、

且ツ現行健康保險ノ實績ヲモ參照致シマシ

テ、茲ニ本制度ヲ立案スルニ至、タノデアリ

マス、本法案ノ内容ニ付テ概略ヲ申上、ゲマ

スト、第一本制度ハ相扶共濟ノ精神ニ則リ、

保險組合ヲ設置セシメ、組合ヲシテ療養等

ノ給付ヲ爲サシメントスルノデアリマス、

組合ニハ普通國民健康保險組合ト特別國民

健康保險組合トノ二種類ガアリマスガ、前

者ハ市町村等ノ區域ニ依リ其區域内ノ世帯

主ヲ以テ組合員トスル地區組合デアリマシ

テ、之ヲ以テ原則的ナルモノト致シテ居リ

マス、後者ハ同一ノ事業又ハ同種ノ業務ニ

從事スル者ヲ以テ組織スル組合デアリマシ

テ、前者ニ對スル補充的ナルモノトシテ居

リマス、此外營利ヲ目的トセザル社團法人

中醫療利用組合ハ、地方長官ノ許可ヲ受ケ

テ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

ルコト、シテ居リマスガ、是ハ斯ル組合ニシテ一定ノ條件ヲ具備シタモノデアル場合ニハ、更ニ本制度ニ依ル組合ヲ作ル必要ガアリマセヌカラ、之ニ其事業ヲ代行セシメントスルモノデアリマス

第二ニ組合員ハ普通國民健康保險組合ニ於テハ其地區内ノ世帯主、特別國民健康保險組合ニ於テハ同一ノ事業又ハ同種ノ業務ニ従事スル者デアリマシテ、何レモ任意加入デアリマスガ、普通組合ニ於テハ三分ノ二以上ノ加入者アル場合ニ限り、必要アルトキハ其地區内ノ者ヲ總テ組合員ト爲ス事モ出來ルノデアリマス、被保險者即チ保險給付ヲ受クル者ハ、組合員及ビ同居ノ家族、使用人等、其世帯ニ屬スル者デアリマシテ、實情ニ依リ組合ハ一定ノ者ヲ除クコトガ出來マスガ、本制度ハ中産以下ノ者ヲ對象ト致シテ居リマスノデ、貧窮者ト雖モ可及的ニ之ヲ包含シ、共濟ノ精神ニ依リ相携ヘテ其成果ヲ發揚セシムルヤウ指導スル考デアリマス、又社會保險ノ性質上多額ノ收入アル者ハ之ヲ被保險者トシナイノガ本則デアリマスガ、農村等ニ於テハ寧ろ是等ノ者ヲモ加ヘルガ適當ナル場合ガ多カラウト思ハレマスノデ、其邊ハ地方ノ實情ニ適合スルヤウニ制度ノ運用ヲ圖ル積リデアリマ

ス

第三ニ保險給付ニ付テハ療養、助産、葬祭ノ三種類トシテ居リマスガ、組合ノ狀況ニ依リ命令ニ定ムル給付ヲモ附加スルコトガ出來ルノデアリマス、療養ノ給付ハ何レノ組合ト雖モ之ヲ爲サナケレバナリマセヌガ、其他ノ給付ハ特別ノ事由アルトキハ之ヲ爲サ、ルコトモ出來マスシ、又給付ハ現物ヲ原則トシテ居リマスガ、特殊ノ場合ニハ現金給付ヲ以テ代ヘルコトモ出來ルノデアリマス、其他保險給付ノ範圍、程度、支給期間等ハ組合ノ實情ニ應ジ、自治的ニ之ヲ定メシムルコトニナツテ居リマス、尙ホ組合ハ積極的ニ被保險者ノ健康ヲ保持増進スル爲メ、傷病ノ豫防其他各種ノ保險施設ヲ爲スコトモ出來ルコト、シテ居リマス

第四ニ組合ハ保險給付ヲ爲ス爲メ組合員ヨリ保險料ヲ徵收スルノデアリマスガ、保險料率、算定方法及ビ徵收方法ハ、保險給付ノ内容及ビ地方ノ實情ニ適應スルヤウ組合ノ自治的決定ニ委ネルコト、シテ居リマス、通常保險料率ハ組合員ノ資力ノ程度ニ應ジ、若干ノ差等ヲ附スルコト、シ、又農村等ニ於テハ場合ニ依リ物納ノ方法ヲ執ルトカ、收穫時期ニ納付セシメルトカ、保險料ノ納付ニ付テハ、組合員ヲシテ苦痛ヲ感

ゼシメナイヤウニ指導スル方針デアリマスガ、一面保險料收入ヲ確保スル爲、組合ニ強制徵收ヲ爲シ得ル途ヲ開イテ居リマス、尙ホ無事故者ニ對シテハ、保險料ノ一部拂戻モ出來ルコトニナツテ居リマス、只今申上ガマシタ保險料ノ外ニ、組合ハ療養ノ給付ニ要スル費用ノ一部ヲ其給付ヲ受ケル者ニ負擔セシムル所謂一部負擔ノ制度ヲ採用シ得ルコト、シテ居リマス、是ハ受益負擔ノ思想ヲ加味スルト共ニ、診療ノ濫用ヲ防止シ、又組合員ノ常時ノ負擔ヲ輕減スルノ趣旨ニ出デタモノデアリマス

第五ニ本制度ハ以上ノ如ク其組織、事業及經營ニ付キマシテ、組合ノ實情ニ應ジ自治的ニ運營セシメルコト、シテ居リマスガ、其國家的使命ノ重大性ニ鑑ミマシテ、政府ハ十分是ガ指導監督ヲ爲シ、誤ナキヲ期スルト共ニ、一面財政的ニ之ヲ助成シ、其普及發達ヲ圖リタイト存ジテ居ル次第デアリマス、尙ホ組合ノ管理、分合解散、監督、審査及ビ訴願等ニ關シテハ、現在ノ健康保險組合ト略、同様デアリマス

第六ニ本制度ハ醫療問題ヲ解決シ、以テ國民ノ健康ヲ保持増進セントスルモノデアリマスガ、其實施ニ當リ最モ留意スベキハ醫療機關トノ關係デアリマス、之ニ付キマ

シテハ被保險者ニ醫療機關選擇ノ自由ヲ出來ルダケ認メルト共ニ、現在ノ醫療制度ニ急激ナル影響ヲ與フルコトハ可及的ニ之ヲ避ケ、以テ適切ナル醫療ヲ受ケシムルヤウナ十分指導監督ヲ加ヘル方針デアリマス、尙ホ萬一組合ト醫療機關トノ間ノ契約ニ關シ、紛議ノ發生致シマシタヤウナ場合ニハ、公正ナル國民健康保險委員會ノ斡旋ニ依リ、是ガ圓滿ナル解決ヲ圖リ、以テ本事業ノ遂行ニ支障ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス

以上概略申上ゲマシタ如ク、本制度ハ一般國民ノ健康ノ保持増進ヲ圖ル上ニ於テ、最モ障礙トナツテ居ル醫療費問題ヲ自治的組合ニ依リ保險組織ヲ以テ解決セントスルモノデアリマシテ、國民ノ保健及ビ生活安定ノ聲高キ現下ノ狀況ニ鑑ミマシテ、是ガ實施ハ喫緊ノ要務ナリト存ズル次第デアリマス、何卒慎重御審議ノ上御協賛ヲ賜ハラシコトヲ切ニ希望致シマス

續イテ保健所法案ニ付テ提案ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、我ガ國民ノ保健狀態ヲ觀マスルニ、近時稍、改善ノ跡ヲ示シ、國民保健ノ尺度トモ謂フベキ死亡率ハ、幸ニ減少ノ趨向ニアリマシテ、昭和十年ニハ人口千ニ付テ一六・八ニ低下シ、未曾有ノ低率ヲ示

シテ居リマス、又乳兒死亡率モ昭和九年ニハ出生千ニ付テ一二五ヲ算スルニ至ッテ居ルノデアリマスガ、之ヲ歐米主要諸國ニ比較致シマスレバ、尙ホ甚シキ遜色ガアルノデアリマス、更ニ國民ノ疾病狀況ヲ觀マスルニ、結核、花柳病、癩、「トラホーム」ノ如キ慢性傳染病ノ蔓延ガ尙ホ甚シク、就中結核ノ如キハ昭和九年ニ於テハ其死亡者ノ數ガ十三萬ヲ超ヘ、英米獨等ノ諸國ニ較ベマス時ハ、實ニ二倍乃至三倍ノ高率ヲ示シ、又腸「チフス」及ビ赤痢ノ如キ消化器傳染病ハ、四時モ發生ヲ見テ居ル狀況デアリマシテ、國民ノ平均壽命モ歐米人ヨリモ約十年ノ短命デアリマス、御承知ノ通り我國ノ醫學ハ近年著シキ進歩ヲ遂ゲテ居ルノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ國民保健ノ狀態ガ敍上ノ如クデアリマスノハ、他ニモ種々ノ原因ノ存スルコト、思ヒマスガ、國民ノ健康ヲ保持増進スベキ衛生上ノ施設ニ於テ尙ホ足ラナイ所ガアルト云フ點ニ大キナ原因ガ潛在シテ居ルト思ハレルノデアリマス、隨テ速ニ適切ナル方策ヲ樹テ、疾病ノ豫防ニ關スル指導ハ固ヨリ、健康増進ニ必要ナル各般ノ積極的ノ指導ヲ行ヒ、國民體位ノ向上ヲ圖ルコトガ喫緊ノ時務ト考ヘラレルノデアリマス

以上申述ベマシタ事情ヲ篤ト考慮致シマシテ、今回政府ニ於キマシテハ、一般國民ニ對シ保健上萬般ノ指導ヲ爲ス所ノ機關デアル保健所ノ設置ヲ企畫致シマシテ、保健所法案ヲ茲ニ提出シタ次第デアリマス、保健所ハ國民ノ體位ヲ向上セシムル爲メ、衛生思想ヲ啓發シ、衣食住、其他日常生活ノ衛生的改善ヲ指導シ、結核其他疾病豫防ノ指示ヲ爲ス等、有ユル角度カラ保健上ノ指導ヲ爲ス機關デアリマス、保健所ニハ醫師、藥劑師、衛生指導員、公衆衛生看護婦等ヲ置キ、是等ノ職員ハ所内ニ於テ衛生各般ノ相談ニ應ズルノ外、擔任區域内ヲ巡回シテ實地指導ヲ爲シ、或ハ關係官公署團體等ト連絡協力シテ以テ指導事業ノ徹底ヲ期セントスルモノデアリマス、保健所ハ大體人口二十萬乃至十二、三萬ニ付テ一箇所ノ割合ヲ以テ全國ニ之ヲ設置シ、必要ノ地ニハ支所ヲ設ケシムル豫定デアリマシテ、是ガ設置經營ノ主體ハ北海道、府縣又ハ特定ノ市デアリマスガ、國庫ハ其創設費ニ對シ二分ノ一以內、經常費ニ對シ三分ノ一以內ヲ補助スル考デアリマス

以上ハ保健所法案ノ提出理由ト、其要旨デアリマスガ、何卒御審議ノ上御協賛アラントヲ御願申上ゲル次第デゴザイマス

ス

續イテ結核豫防法中改正法律案ニ付テ提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、現在我國ニ於キマシテ結核ハ都市ト言ハズ、農漁山村ト言ハズ、國民大衆ノ間ニ甚シク蔓延シテ居リ、百數十萬ノ同胞ガ此結核ニ侵サレ、年々十二、三萬ト云フ多數ノ死亡者ヲ出シ、其損害ハ各方面ニ涉リ實ニ甚大デアリマシテ、結核豫防ノ效果ノ舉ルト否トハ國民ノ福祉國運ノ消長ニ影響スルコト頗ル大ナルモノガアリマス、現在施行セラレテ居リマス結核豫防法ハ、大正八年ニ制定セラレタノデアリマシテ、之ニ依ッテ從來銳意結核ノ豫防ニ努力致シテ居ルノデアリマスガ、其豫防ノ目的ヲ達成致シマス爲ニハ、現行法ノ規定デハ未ダ十分デナイ點モアルヤウニ認メラレマスノデ、結核豫防施設擴充ヲ期セントスル此機會ニ於テ、本法ヲ改正シテ結核豫防上遺憾ナキヲ期シタイト存ジマス、今回ノ改正法律案ニ於テ改正セントスル主要ナル點ヲ申述ベマスレバ、第一ハ結核ノ定義ヲ削除シタコトデアリマス、現行法ニ於キマシテハ、結核ノ定義ヲ規定シマシテ、肺結核、又ハ喉頭結核ニシテ病毒傳播ノ危險アルモノニ限定シテ居ルノデアリマスガ、結核豫防ハ斯ノ如キ肺結核、又ハ喉頭

結核ノ重症患者ヲ對象トスルノミデナク、其他ノ結核患者ニ對シテモ豫防方法ヲ講ズルコトニ依リマシテ、目的ヲ達スルコトヲ得ルモノデアリマスノデ、此規定ヲ削除シテ、結核豫防法ノ對象ハ開放性ノ肺結核、又ハ喉頭結核ニ限ラナイモノデアルコトラ明ニ致シタノデアリマス

第二ハ醫師ニ於テ其診斷シタル結核患者中生活又ハ職業環境上病毒傳播ノ虞アリト認ムルモノガアル場合ハ、命令ノ定ムル所ニ依リマシテ、速ニ行政官廳ニ届出デシムルコト、シマシテ、結核豫防上放置スルコトノ出來ナイ患者ヲ行政官廳ニ於テ十分認知スルコトヲ得セシメマシテ、結核豫防法、其他ノ活用ニ依リ豫防上適切ナ措置ヲ講ゼシメルコト、致シタノデアリマス

第三ハ公立結核療養所ノ設置ノ目的ヲ環境上病毒傳播ノ虞アル結核患者ヲ收容スルコトニ改ムルコトデアリマス、現行法ニ於キマシテハ、公立結核療養所ハ療養ノ途ナキモノヲ收容スル爲ニ設置セシメル規定デアリマスガ、苟モ環境上病毒傳播ノ虞アルモノハ、之ヲ入所セシメテ結核豫防上遺憾ナキヲ期スルコトガ適當ト認メマスノデ、療養所設置ノ目的ヲ以上ノ趣旨ニ改ムルコトニ致シタノデアリマス

第四八公立結核療養所ハ北海道府縣市、其他ノ公共團體ニ設置セシムルコトニ改ムルコトデアリマス、現行法ニ於キマシテハ結核療養所ノ設置ハ人口五萬以上ノ市ヲ原則トスルガ如クニ規定セラレデアリマスガ、寧ロ道府縣市ト相竝ンデ之ヲ設置スルコトガ適當ト認メマスノデ、主務大臣ハ北海道、府縣市、其他必要ト認ムル公共團體ニ結核療養所ノ設置ヲ命ジ得ルコトニ致シタノデアリマス

以上ハ改正ノ主要ナル點デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラント御願ヒ申上ゲル次第ゴザイマス

○添田委員長 是ヨリ質疑ニ入りマスルガ、質疑ハ通告順ニ依ッテ其發言ヲ許可スルコトニ致シマス、小林三郎君

○小林委員 本員ハ此三法案ガ本議會ニ提出サレマシタコトハ、現時ノ我國ノ社會情勢ニ於キマシテ、最モ機宜ヲ得タル御處置デアルト云フコトヲ喜ブ者デアリマス、併ナガラ最モ問題ニナッテ居リマスル國民健康保險法案ノ社會政策的ノ施設トシテノ内容、價值ニ付キマシテ、幾多ノ疑念ヲ懷ク者デアリマス、先ヅ私ハ此國民健康保險法案ノ矛盾、此精神ニ果シテ合致スル所ノ内容ヲ持ッテ居ルカドウカト云フ疑ノ點ニ付

キマシテ、大體ノ質問ヲ致シマシテ、更ニ細カナコトニ付キマシテハ、他ノ委員諸君ガ發言ヲ致サレタ後ニ、又御許ヲ願ヒタイト思フデアリマス、第一ニ伺ヒタイノハ此國民健康保險法案ヲ制定セラル、ニ當リマシテ、醫療費ノ輕減ヲ目標トセラレタノデアルカ、醫療ノ普及徹底ヲ目的ト致サレテ居ルノデアルカ、豫テ御説明ヲ承ッテ居リマス所ニ依リマス云フト、醫療ノ普及徹底ヲ目的トスルノデアル、醫療費ノ輕減ニハ言及セラレテナイノデアリマスガ、只今大臣ノ御説明ニ依リマス云フト、醫療費ノ輕減ニ目標ヲ置イテ居ラル、ノデアリマス、是ハドチラデモ其目的ハ達スルト言ヒ得ルモノデアリマスルガ、此法案ガ議會ニ提出セラレマシテ以來、社會的ニ大キナ問題トナッテ居ル、醫師團體ノ運動、産業組合方面ノ運動、是ガ爲ニ此法案ノ成立ガ果サレルコトガアッタナラバ、是ハ洵ニ多數國民ノ爲ニ歟ハシイコトデアアル、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマスルガ、醫療費ノ輕減ヲ目標トスルト云フコトデアリマシタ場合ニ於テハ、直チニ醫療内容ノ低下ト云フコトヲ伴ハナケレバナラス、醫療内容ハ低下スル、是ハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、若シ又普及徹底ガ目的デアッテ醫療費

ノ輕減ハ此法案ニハ考ヘテ居ナイト云フコトデアリマシタナラバ、此法案ノ審議ノ進行上必シモ色々ノゴタ／＼ヲ起サズシテ、此法案ノ成立ヲ期スルコトガ出來ルモノデヤナイカ、私ハ斯ウ考ヘルノデアリマスガ、其點ニ付キマシテ、先ヅ御意見ヲ伺ヒタイト思フデアリマス

○河原田國務大臣 是ハ詰リ一ツハ醫療ヲ受ケルコトニ付テ樂ニサセル、今マデ御醫者ニ掛ル場合ニハ、非常ニ厄介ダッタ農漁山村其他中産市民階級ノ人ガ、平素カラ金ヲ出シテ、何時デモ樂ニ掛レル、斯ウ云フコトニ於テ自然ト醫療ガ易ク行ハレル、斯ウ云フコトガ一ツデアリマス、無理ヤリニ醫療ノ藥價ヲ下ゲルトカ、無理ヤリニ醫療費ヲ低下セシメルト云フ、サウ云フ風ナ意味デハナイ、醫療ヲ樂ニサス、是ガ一ツデアリマス、ソレカラモウ一ツハ醫療ノ普及デアリマシテ、今マデ掛レヌヤウナヲ、成ベク掛ラセル、斯ウ云フコトガ主眼デアリマシテ、此點ニ付キマシテハ、私ガ度々本會議デ申上ゲタ次第ト思ヒマス

○小林委員 醫療費ノ輕減ヲ必シモ目標トスルモノデヤナイ、此點ニ付キマシテハ、是ハ十分ニ此御言明ヲ堅ク守ラレマシテ、サウシテ決シテ醫師方面ノ壓迫或ハ脅威ヲ

來スモノデナイト云フコトヲ、此際ハッキリ致シテ置キタイト思フデアリマス、醫療ノ普及徹底、殊ニ中産下層階級ノ人々ニ、醫療ヲ十分ニ受ケラレナイ所ノ多數國民ニ、之ヲ普及徹底スル爲メデアリマスシタ場合ニハ、後ニ行ッテ私が質問ヲ申上ゲル所ニ非常ナ缺陷ガ出來テ來ルノデアリマス、即チ矛盾ガ生ジテ來ルノデアリマスルガ、ソレハ其場所ニ參リマシテ御伺スルコトニ致シタイト思フデアリマス、次ニ御伺致シタイノハ、之ヲ全國的ニ私共ハ今日ノ情勢ニ於テ、先刻申上ゲマス通り、最モ時宜ニ適シタル所謂庶政一新ノ一ツノ國策デアアル、是ハ非常ニ大多數ノ國民ヲ救済スル最モ重要ナ施設デアアル、デアリマスルカラ、ドウシテモ此法案ハ成立シテ貰ハナケレバナラナイ、斯ウ思フノデアリマスルガ、政府ノ此計畫ニ依リマス云フト、此國民健康保險組合ガ全國ニ行渉ルニハ、十五年カ或ハ二十年掛ルヤウニナッテ居ルノデアリマスガ、左様ナコトニ致シマシテハ全ク是ハ國民ノ期待、吾々ノ期待ト一致シナイ、モウ少し徹底的ニ確信ヲ以テ此施設ヲ爲サルト云フコトデアリマシタナラバ、他ノ政府當局即チ大藏省ノ方面トモ十分ニ諒解ヲ得ラレマシテ、一面ニ於キマシテハ、

廣義國防ノ意味カラ陸海軍大臣等トモ御相
談ニナラレマシテ、モウ少シ徹底シタル施
設ヲ少クモ五年カ七年位ノ期間ニ於テ全國
ニ之ヲ普及徹底スルト云フコトデナケレ
バ、私ハ現在ノ間ニ合ハナイト思フ、十五
年、二十年後ニ是ガ完成スルト云フコトデ
アリマシタナラバ、是ハ社會政策的ノ大キ
ナ施設ヲスルヤウニ、社會ニ大キナ期待ヲ
セシメテ居ッテ、實ハ政府ノ本心ハ左程デハ
ナイ、唯、何カシテ居ル様ニ世間ニ見セカ
ケテ、其實何デモナイト云フ風ニ、世間カ
ラ疑ハレハセヌカト思フノデアリマス、此
點ニ付キマシテ、若シ政府部内ニ於キマシ
テ、大藏省ヤ陸海軍省方面ト連絡ヲ取り、
陸海軍アタリノ方カラモ之ヲ必要ナモノデ
アルト云フコトニ、寧ロ廣義國防ノ立前カ
ラ申シテモ國民健康保險ヲ徹底シテ、國民
體位ノ向上ヲ圖ルト云フコトガ必要デア
ルト云フ政府ノ意見ヲ一致シテ、大藏省ニ交
渉セラレタナラバ、本當ノ國策トシテノ經
費ガ捻出セラレルモノデアルト考ヘルノデ
アリマス、此點ニ付テノ御決心ヲ伺ッテ見タ
イト思フノデアリマス、斯様ナ十五年、二
十年後デ宜シイカ、サウ云フ微温的ノコト
デ以テ、斯ウ云フ社會ヲ騒ガシテ居ル、社
會ニ大キナ期待ヲ持タレテ居ルモノヲ、ソ

レデ濟マシテオ居デニナラレルカ、斯ウ云
フコトデアリマス

○廣瀨政府委員 御答申上ゲマス、只今ノ
御質問ニ御尤ニ存ジマスガ、唯、御承知ノ
ヤウニ醫療ノコトデアリマシテ、之ヲ全國
ニ一度ニヤルト云フヤウナコトハ如何カ、
殊ニ醫療ノコトデスカラ、ヤハリオ互方能
ク諒解シ合ッテ自治的ニ進メルト云フコト
ガ、醫療ノ實際ニモ最モ適スル、ソレカラ
又之ヲ擴ゲルニ付キマシテハ、兎ニ角何ト
申シテモ中々大キナ問題デアリマシテ、急
激ニ之ヲ全國ニヤルト云フヤウナコトニナ
リマス、其處ニ幾多ノ困難ナ問題ガ豫想
サレルノデアリマス、ソコデ先ヅ地方ノ實
情ニ應ジマシテ、地方民ノ自覺ニ懇ヘマシ
テ、サウシテ自治的ナ精神ヲ基本トシテ、
漸次ニ擴ゲテ行キタイ、是ガ此種ノ仕事ニ
付テハ最モ適切ナモノデアル、斯ウ信ジテ
居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、
當初ニ於テハ甚ダ遅イヤウデアリマスガ、
併シ遅クモ生レルモノガ確實ナモノガ生
レテ、サウシテ其實例ニ依ッテ、ソレヲ模範
トシテ擴ゲルト云フコトガ出來マスナラ
バ、本當ニ根柢的ノ立派ナ制度ヲ確立スル
コトガ出來ルト思フノデアリマス、私共ノ
考デハ十年或ハ十五年經テバ、先ヅ相當ナ

所マデ行キ得ルト思フノデアリマスガ、此
間餘リニ期間ガ長イノデハナイカト云フヤ
ウナ仰セモ尤モデアリマス、併シ事ノ性質
上自治的ニ——本當ニ自覺ニ懇ヘテ、國民
ノ心カラ纏ッテ制度トシテ之ヲ作ッテ行クノ
ニハ、非常ニ急グヨリモ、先ヅ私共ノ考ヘ
テ居ッタ十年、十五年ノ程度ノ考デ進ンデモ
適當デハナイカ、斯様ニ致シマシテモ、決
シテ政府ガ不熱心デアルトカ、或ハ看板倒
レデアルト云フヤウナ意味デナク、政府ハ
何處マデモ之ニ對シテハ熱心ニ努力ヲ致シ
テ參リマス、サウシテ逐次ニ立派ナルモノ
ヲ誤ナク作ッテ行キタイ、斯様ナ決心デ居ル
ノデアリマス

政府トシテハ御考慮ニナルベキモノデア
ルト考ヘルノデアリマス

次ニ御尋ネ致シタイコトハ、醫師團體ト
ノ關係デアリマス、之ヲ假二十年後デアリ
マシテモ——私共ノ希望スル如ク、一年デ
モ早ク此制度ガ全國ニ徹底スル、斯ウ云フ
コトニナリマシタ時ニハ——ハッキリ國民
健康保險網ガ全國ニ一體ニ普及スル、
斯ウ云フコトニナリマシタ時ニハ、其處ニ
全面的ニ今日日本醫師會ノ運動致シテ居ル
ヤウナ、醫者ト此國民保險組合トノ間ニ色
色ナ問題ガ起ッテ來ル、假ニ醫師團體ト此組
合トガ協調スルコトガ出來マシテ、サウシ
テ進ンデ參リマシテモ、餘リニ此醫術ト云
フモノヲ平等化スル、是ハドウシテモサウ
云フ風ニナッテ行クノガ目的デアリ、又醫療
ノ普及ト云フコトガ社會化スルノデアリマ
スルカラ、自然ニ此醫者ト云フモノニ區別
ガ付カナクナッテ、都會地邊リニ於キマシ
テモ、國民健康保險法ガ十分徹底シテ行キ
マシタ時ニハ、今度ハ醫療費ト云フモノガ大
體一樣ニナッテ、所謂名國手、大博士ガ診斷
ヲ致シマシテモ、又普通ノ開業醫ガ診斷ヲ
致シマシテモ、其診斷料ガ一定スル、醫藥
ノ値モ一定スルト云フコトニナッテ、
餘リニ社會化スル爲ニ、一面ニ於テ今

第六類第十三號 國民健康保險法案外二件委員會議錄 第二回 昭和十二年三月十三日

○小林委員 此國民健康保險法案ヲ提案サ
レルヤウニナリマシタ道程、經緯等ヲ細カ
ク御伺ハ致シマセスガ、大體ニ於テ出來ル
ナラバ一ツヤラウト云フコトデ、積極的ニ
ドウシテモ是ハ保健國策トシテヤラナケレ
バナラヌモノデアルト云フ所ノ熱意ガ足リ
ナカッタノデハナイカ、此費用ノ捻出ヤ色々
ノコトヲ考ヘテ見マシテモ、又今政府委員
ノ御説明ヲ承ハリマシテモ、ヤハリ同様ナ
考ヲ起スノデアリマス、是ハドウシテモ私
共ハ出來ルダケ促進シテ、成ベク一年デモ、
二年デモ早ク全國ニ普及スルト云フコトヲ

政府トシテハ御考慮ニナルベキモノデア
ルト考ヘルノデアリマス

次ニ御尋ネ致シタイコトハ、醫師團體ト
ノ關係デアリマス、之ヲ假二十年後デアリ
マシテモ——私共ノ希望スル如ク、一年デ
モ早ク此制度ガ全國ニ徹底スル、斯ウ云フ
コトニナリマシタ時ニハ——ハッキリ國民
健康保險網ガ全國ニ一體ニ普及スル、
斯ウ云フコトニナリマシタ時ニハ、其處ニ
全面的ニ今日日本醫師會ノ運動致シテ居ル
ヤウナ、醫者ト此國民保險組合トノ間ニ色
色ナ問題ガ起ッテ來ル、假ニ醫師團體ト此組
合トガ協調スルコトガ出來マシテ、サウシ
テ進ンデ參リマシテモ、餘リニ此醫術ト云
フモノヲ平等化スル、是ハドウシテモサウ
云フ風ニナッテ行クノガ目的デアリ、又醫療
ノ普及ト云フコトガ社會化スルノデアリマ
スルカラ、自然ニ此醫者ト云フモノニ區別
ガ付カナクナッテ、都會地邊リニ於キマシ
テモ、國民健康保險法ガ十分徹底シテ行キ
マシタ時ニハ、今度ハ醫療費ト云フモノガ大
體一樣ニナッテ、所謂名國手、大博士ガ診斷
ヲ致シマシテモ、又普通ノ開業醫ガ診斷ヲ
致シマシテモ、其診斷料ガ一定スル、醫藥
ノ値モ一定スルト云フコトニナッテ、
餘リニ社會化スル爲ニ、一面ニ於テ今

日ノ日本ノ醫術ノ進歩、世界的ニ誇テ居ル所ノ醫學ノ研究向上、醫術ノ進歩ト云フモノニ停頓ヲ來シハシナイカ、私ハ先程一寸私ノ理想ヲ申上ゲマシタガ、又後程ニ御同致シマスケレドモ、私ハ是ハ區別ヲスベキモノデハナイ、國民全體ニ上下ナシニ同ジ組合制度ナラ組合制度行カナケレバ徹底シナイモノデアルト云フコトヲ後程伺ヒマス、私ハサウ言フタ意見ヲ持テ居リマシテ、サウ云フコトヲシテ行クノガ法ノ精神ヲ貫ク所以デアルト思ヒマスガ、斯様ニシテ行ク時ニハドウシテモ醫者ノ方ノ問題、醫術ノ進歩發達ト云フコトガ停頓シハシナイカ、如何ニ勉強シテ博士ニナツテモ、如何ニ大國手トナツテ見テモ、一般ノ勉強シナイ醫者トヤハリ同ジヤウナ報酬シカ得ラレナイ、斯ウ云フ問題ガ起ツテ來ル、若シ此政策ヲ徹底シテ普及スルト云フ先程ノ御説明ガ本當ニ其通りデアルト致シマシタナラバ、私ガ御尋ネスルヤウナ醫術ノ向上、醫學ノ研究發達、斯ウ云フコトハドウ云フ結果ヲ來スモノト御考ニナツテ居ラレマスカ、御同致シマス

○廣瀬政府委員 此制度ヲ逐次ニ普及致スト云フト、或ハ名國手ヲ失フニ至リハシナイカト云フ御憂慮デアリマスルガ、併シ此

制度ハ決シテオ醫者サンノ自由ノ活動ト云フモノニ對シテ拘束ハ無論與ヘナイノデアリマシテ、開業醫ノ制度ヲ基本ト致シマシテ、サウシテ此組合ガ生レテ開業醫ノ方々ト契約スル、其場合ニ於キマシテハ、開業醫ノ方ハ自己ノ努力ガ多ケレバ多イ程、組合員ヲ多ク自己ノ所ヘ吸收シ得ラレルト思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、決シテ開業醫ノ自發的活動ト云フモノニ對シテハ、何等私共ハ影響ハナイモノト思ヒマス、勿論藥價等ニ付テ多少ノ變化ハ從來ヨリモアルカモ知レマセヌ、サリトテ、此開業醫ガ努力スル、又非常ナ立派ナオ醫者サンデアルト云フ場合ニハ、ヤハリ其開業醫ニ對シテハ組合員ガヨリ餘計ニ診察ヲ仰グト云フヤウナ結果ニナルコトハ、是ハ當然デアラウト思ヒマス、サウ云フ考デ行キマスト私ハヤハリ勉強セラレルオ醫者サント云フ者ハ、必ズ勉強ニ酬ヒラレルト云フヤウニ見ラレマスノデ、ヤハリ名國手ヲ失フト云フコトハナイノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトハ御心配ニナラヌデモ宜イノデハナイカ、又尙ホ付加ヘテ申上ゲマスガ、大體此制度ハ中産若クハソレ以下ヲ大體ニ於テ目標トシテ居ル、殊ニ都會地等ニ於キマシテハ、何ト申シマシテモ組合

ノ範圍外ノ部分ガ非常ニ多イト思ヒマス、隨ヒマシテヤハリ都會地等ニ於テハ、殊ニ名國手ノ活動ノ餘地ハ十分ニアルコト、信ジテ疑ハヌノデアリマス、隨ヒマシテ名國手ガナクナルト云フヤウナコトハ御心配ニ及ブマイカト存ジテ居ルノデアリマス

○小林委員 國民健康保險組合ノ醫者ヲ選定スル方法ニ付キマシテ詳シク御同致シタインデアリマスガ、是ハ組合ノ指定ニ一任スルノデアリマスルカ、又醫者ハ患者ノ自由選擇ニ依ルノデアルカ、是ハ私ハ二通りニ御説明ヲ色々伺フテ居リマスガ、醫者ノ方面カラノ運動ニ對スル新聞等ニ發表セラレテ居ル記事ニ依ルト、患者ガ醫者ヲ任意ニ選定シテ差支ナイ、斯ウ云フコトヲ言フテ居ラレルヤウデアリマス、又或ル場合ニ於キマシテハ、組合ガ醫者ト契約スルノデアル、團體契約ト云フモノニ關係シナクテモ、組合ノ者ガ——地方々々ニ於テ個々ノ醫者ヲ選定シテ組合ノ指定醫ニスルト云フ風ニ説明サレテ居ルヤウニモ思ヒマスガ、ドチラデアリマセウカ、其點ヲ一ツ御伺シタイ

○廣瀬政府委員 保險醫ヲ定メマスニ付キマシテハ、組合ノ附近ノ一般ノオ醫者サント契約ヲ致シマシテ、サウシテ保險醫ヲ決

メル、隨ヒマシテ保險醫ノ決マルノハ組合ト契約ノ上デ決マルノデアリマス、併シ其保險醫ハ從來モ大臣ヨリモ繰返シテ申上ゲテ居リマスルヤウニ、其組合ノ近傍ノオ醫者サン全部ト契約ヲサセルヤウニ、指導モシ監督モスル、即チ一人カ二人ノオ醫者サンヲ引ッコ抜イテ契約シテ、他ノオ醫者サンヲ除外スルト云フヤウナコトハナイヤウニ致シマス、隨テ保險醫ノ決マルコトハ、組合ト保險醫トノ間デ契約スルト云フコトニアルノデアリマス、勿論又大臣カラ申上ゲタヤウニ、或ハ組合ガ郡醫師會ト云フヤウナモノト契約スルコトガアルカモ知レマセヌ、ソレハ隨意デアリマスガ、サウデナイ場合ハ、其組合ノ近傍ノ從來ノ掛リ付ケノオ醫者サント契約スル、サウ云フ工合ニシテ保險醫ガ決リマス、保險醫ガ決ッたら患者ハドノオ醫者サンニ行ッテ診テ貰フカ、保險醫ガ數人居ル、或ハ十數人居ルト云フ時ハ、其中ノドレニ診テ貰フカト云フコトハ、患者ノ隨意デアリマス、ソレカラ尙ホ申シマスガソレ等ノ保險醫デモ、不十分デアルト云フヤウナ場合ガアツテ、非常ナ専門的ノオ醫者サンニ行キタイト云フ場合ニハ、ソレハ保險醫デナクテモ行カレルノハ構ハナイ、構ハヌガ併シ其時ニハ保險給付トシテ

ハ、ソレハ一定ノ金ヲ以テ給付シテヤル、サウスレバ何處ノ専門醫ニ行ッテモ診テ貰ヘルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ自由ナ制度ニ認メテ居リマス

○小林委員 此醫者ト組合トノ關係、患者ト醫者トノ關係ト云フモノハ、私ハ是ハ十分ニ注意ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス、本來患者ガ自由ニ醫者ヲ選擇シ得ルヤウニ致サナケレバナラヌ、醫者對患者ノ相互的信賴關係カラ、之ヲ基調トシテ其精神結合マデ及ンデ、初メテ疾病ノ治療ト云フコトガ出來ル、ソレニ拘ラズ規則的ニ醫者ヲ決メテシマッテ、自由選擇ガ患者ニ於テ出來ナイ、サウ云フコトデアッタナラバ、却テ醫療ノ目的ハ達シナイ、デアリマスカラ若シ組合ニ於テ醫者ヲ指定スルト云フコトデアッタ場合ニハ、私ハ寧ろ殆ど全部ヲ組合醫トスルト云フコトニ致サナケレバ、今ノ御説明ニハ副ハナイ、又私ノ憂ヘテ居ル所ノコトヲ除去スルトニ行カヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、モウ一ツ伺ヒタイノハ、此法案ノ第九條ノ代行機關ノ問題デアリマス、此代行機關ト云フモノニ付テ醫療組合ヲ代行機關ニスルト云フコトハ、能ク其内容ヲ調査致シテ、確實ナルモノニ限ッテヤルガ、其代行機關ハ初メカラサウ澤

山地方長官ガ之ヲ認可スルト云フコトハアルマイ、又サウサセヌヤウニスルト云フ御説明デアリマスガ、サウ澤山ノ之ヲ代行スル所ノ機關ガナイ、醫療組合ガ全部信用ヲ以ッテ代行セシメ得ルモノデヤナイト云フコトデアリマシタナラバ、此問題ノ爲ニ、第九條ノ爲ニ、非常ニ本案ノ成立ニ影響スルヤウナ大キナ騒ギニナッテ居ル場合デアリマスカラ、是ハ一ツ御考慮ヲナサル御意向ハナイカ、私ハ是ト醫師會ノ團體協約權ノ獲得運動ト、産業組合ノ此第九條ノ維持運動等ノ爲ニ、此本旨ハ吾々國民多數ノ希望スル所ハ、是非共此健康保險法案ガ通過シテ、健康保險組合ガ徹底スルコトニ依ッテ、庶民階級ハ救助サレル、醫療的ニ救済サレル、斯ウ云フコトヲ庶幾シ、熱望シテ居ルニ拘ラズ、私ナドガ考ヘマスルト、斯様ナ本案ノ骨子ニ對シマシテハ、寧ろ此産業組合ノ代行機關、醫治機關ノ團體協約ト言ヒ、是ハ別ノ問題ダ、此二ツノ問題ガ茲ニ織込マレテ、非常ニ複雑化シテ今日ハ大キク社會ノ問題トシテ取扱ハレテ居ル、ダカラ一刀兩斷的ニ産業組合ノ代行機關ト云フモノヲ——本案ヲ通過セシメンガ爲ニ、之ヲ姑ク見合シテ置ク、サウシテ第九條ノ代行ノ條項ヲ修正セラル、ト云フ御意向ハナ

イデアラウカ、又同時ニ日本醫師會ノ團結權ヲ法文化スルト云フ運動ガ起ッテ居リマス、此醫師會ノ團體協約權、是モ此際其運動ニ依ッテ大體團體協約ヲスルト云フコトモ、必シモ惡イコトデハナイカモ知レナイケレドモ、此場合ニ於テハ對立的ニナッテ居ル關係カラ、勿論是ハ對立スベキモノデハナイケレドモ、見様ニ依ッテハ此第九條ト對立的ニナッテ居ルヤウニ、世間カラ見ラレテ居リマスルカラ、其點カラ見マシテモ、之ヲ法文化スルト云フコトヲ見合シテ、九條モ修正スル、左様ナ枝葉ノ問題ニ捉ハレズ、本筋ニ向ッテ直進スルト云フコトノ御考ガアリマスカ、此九條ハ出來ルダケ通過シサウデアッタナラバ、何處迄モ九條ヲ維持スルト云フコトハ、是ハ或ハ政府當局トシテハ折角立案セラレタノデアリマスルカラ、其御考ハ御尤カモ知レマセヌケレドモ、見様ニ依リマシテハ九條ト云フモノハ必シモ醫師團體ノ反對運動ニ拘ラズ、是ハ實用的ニ全國ニ將來ソレヲ普及シテ行ッテ、産業組合ニ代行セシムルト云フ所ノ精神ニ基キ此九條ト云フモノガ出來タト致シマスルナラバ、ソレハ又考ガ別ニナル、論ガ別ニナッテ行キマスルガ、今ノ御説明ノ通りデアリマシタナラバ、是ハ私ハ寧ろ第九

條ヲ修正セラレルト云フコトガ、最モ穩當ナ御處置デハナイカ、同時ニ團體協約ト云フモノニ付テハ、此際ヤハリ耳ヲ藉サズ、サウシテ此儘進ンデ行カレル、斯ウ云フコトガ適當デナイカ、斯ウ考ヘマス

○田中(養)委員 私モ之ニ關聯シテノ質問ガアリマスガ、今御許ヲ願ヘマスカ

○添田委員長 關聯事項ナラバ簡單ニ……

○田中(養)委員 此機會ニ私ハ此間ノ本會議ニ實ハ御承知ノ時間ノ制限ガアリマスノデ、十分ニ盡スコトガ出來マセナダガ、只今質問サレルノト私モ同ジ感ヲ持ッテ居リマスガ、大體此案ノ根本ノ骨子ハ、患者ガ最モ廣ク自由ニ醫者ヲ選擇スルト云フコトガ一ツト、治療費ヲ患者個人ノ負擔デナク、廣ク之ヲ分散シ、其危險ヲ分散スルト、此二ツデ——治療費ノコトハ無論後デ御尋申シマスガ、此一番大切ナ患者ノ醫者ノ自由選擇、若シ之ニ少シデモ束縛サレ、窮屈ガアリマスナラバ、折角デヤガ、此本案ハ意味ヲ成シマセヌノデ、私ハ此間中理事者諸君等トモ何回カ會ッテ此點ヲドウ力説シテ見デモ、理事者ハ案ヲ出サレタガ爲カ知ラヌガ、非常ニ固執サレマシテ、内務大臣モ山ヘ登ッテ山ノ木ヲ見ズデ、何カ知ラヌヤ、是ハ通サニヤナラヌト云フ妙ナ氣持ニ

ナッデゴザルコトヲ非常ニ遺憾ニ思ヒマスガ、私ノ申シマスノハ、此本當ノ理想ハ、日本中總テ開業治療行爲ヲシテ居ルモノハ、悉ク平等ニ是ハ國家ノ手デ契約シテ戴イテ、何處ニ組合ガ出來マシテモ、其組合員ハ好キナ醫者ニ全國ニ診テ貰ヒニ行ケルト云フノデナクテハ駄目デアリマス、併シ其處ニハ色々ノ手續其他ノ面倒ガアラウト思ヒマスカラ、私ハ五十歩モ、百歩モ、千歩モ譲ッテ、セメテ府縣單位ニシテ戴イテ、其府縣ノ中ニ居ル總テノ開業醫ハ、之ニハ丁度縣醫師會ガアルカラ、是ト協定スルノガ一番宜イ、町村立病院ハ別ニ縣ノ醫師團體トハ、町村立病院ト云フモノガ又各アルノデアリマスカラ、無論之トモ協定シテ戴カニヤイカヌノデアリマス、産業組合ノ病院ガ今二百バカリアリマスガ、是トモ無論協定シテヤッデ戴キタイ、是ハ御承知ノ通り今醫療組合ノ妙ナ規約ニ縛ラレテ、ソシテ自分ノ組合員タケシカ診ルコトガ出來ヌト云フ馬鹿ナ制度ニナッデ居リマスガ爲ニ、是デ皆赤字ニナルノデアリマス、組合員ハ五百カチカ知リマセヌガ、ソレダケシカ診ラレヌデセウ、而モ其組合員ハ自分ガ病氣ニ罹ッタ時ニ、重クナルト、此醫者デ良イト云フ時ニハ宜シイガ、ヤハリ他所ノ醫者ニモ診テ貰

ヒニ行キマスカラ、詰リサウ云フ組織ニナッテ居リマスカラ、此病院ハ持テル理窟ガナイ、是ハ紙ノ上デ一應解消シテ戴イテ、此組合員ノ出資ニナッデモ宜シイカラ、病院ヲ殘シテ、此病院ヲヤハリ醫師團體モ、町村立病院モ、此産業組合ノ病院モ、共ニ平等ニ何故是ガ協定シテヤッデ戴ケマセヌカ、此間中内務大臣ハ黒字ノ良イ組合ダケヲ許ス、斯ウ仰シヤル、是ハ飛ンデモナイ間違ヒデスヨ、折角二百ノ赤字組合ガ出來テ居リマス、病院モ持ッデ居リマス、是ハ自ラ何等カノ必要ニ依ッテ出來タ組合デハアリマセヌカ、或ハ地方ガ不便デ醫者ガ來ナイトカ何トカ、其處ニハ色々ナ理由ガアッテ出來タ二百幾ツノ病院ガアルノデアリマスコ、何故之ヲ助ケヌノデアリマスカ、黒字ノ病院ヲ助ケナサルコトハ要ラナイ、黒字ハソレデ行ッデ居ルカラ宜シイ、ソレニ反シテ可哀想ニ折角拵エタ此赤字ノ病院ヲ何故アナタハ助ケテオアゲニナラナイカ、若シ之ヲ只今申スヤウニ、黒字ニ代行サセテ、サウシテ之ニ代行サセヌト云フコトニナリマス、此二百ノ赤字ノ病院ヲドウ爲サル積リデアリマスカ、私ハ是位矛盾著ハナイト思フ、ソコデ此詰ラナイ組織ヲ廢メデ——是ハ紙ノ上ノ手續デ済ムコトデアリ

マスカラ、ソレデ此黒字モ、赤字モ、又産業組合ノ病院モ、町村立病院モ、縣醫師團體モ、是ハ地方長官ガ平等ニ悉ク協定サシテヤッデ戴クナラバ、其縣ニ於ケル患者ハ、ドノ醫者ニデモ診テ貰ヘルノデハナイノデスカ、何故是ガ分ラナイノデセウ、私ノ最モ憂ヘマスノハ、若モ之ヲ産業組合ニ醫者ヲ自由選擇ニ爲サルト云フコトヲ爲サルト、少クトモ將來一萬以上デセウ、其組合長ト稱スル人ガ神様見タヤウナナラソレデ宜シイケレドモ、此人ハ神様デハナイノデスヨ、周圍ニ於ケル開業醫ハ神様デハアリマセヌヨ、悉ク是ハ生活デアリマスカラ、協定シテ貰ハナイト患者ハ一人モ來ナイ、ソコデ此組合長ト醫者トノ間ニ於テサモシクモ幕夜門ヲ潜ルコトハ決ッデ居ル、私ハ此位明カナ事實ハナイト思フガ、アナタハドウシテ之ヲ防グ積リデアリマスカ、此位……(委員長、議事進行ニ付テト呼フ者アリ)私ハ發言中デスヨ——此不公平、此結果ハ一番迷惑スルノハ患者デアリマス、私ハ此點ヲ——豫メ斯ウ云フ危險ノアルコトヲ、何故ニ内務大臣ガ地方長官ニ御命ジニナッテ、其地方、府縣内全部平等ト申スノデアルカラ、チットモ是ハ醫者ガ折レタカラトカ、醫師團體ガ無理ヲスルト云フヤウナコトガ

何處ニアリマスノカ、此位平等デ宜イコトハナイノニ、態、斯ウ云フ九條ヲ御入レニナッテ、十七カ二十カ三十カ知リマセヌガ、ソレダケヲ生カス爲ニ、何故コシナ窮屈ナ無理ナコトヲ爲サルノデアリマスカ、私ハ此點ハ決シテ醫師團體トカソシナ考デ申スノデハナイノデアリマス、ドウカ此事ダケハ全國一視平等ニ、總テノ治療行爲ノ醫者ニハ全部平等ニ診テ貰ヒニ行ケルヤウニ何故爲サラヌノデアルカ、私ハ此點ハ、此間アナタニ申上ゲタ越ケ谷ノ問題デモ、アナタ一度彼處ニ足ヲ入レテ御覽ニナッタラビツクリナサルデスヨ、是ハ折角出來タアノ順正會ヲ潰ス意味デ申スノデハナイノデアリマスケレドモ、アナタ御出デニナレバ直グ分ル、一人ノ醫者ハ三百圓近イ收入デス、一人ノ醫者ハ十六圓デス、無論ソシナコトハ醫者ノ技倆ニ依ッテ違フノダト言ヘバ言ヘマスデセウ、ケレドモ其處ニ又何カ色々ナ因縁情實ガ出來マスノデ、ソレハ何カト云フト醫者ノ範圍ガ狭イノデアリマス、三人カ七人カ十人ト云フモノニ醫者ヲ決メマスノデ、自ラ其處ニ競争ガ湧イテ來ルノデアリマス、私ハ是ガ起ラヌヤウニ何故府縣全部ニシテ行カヌカ、サウスルト今日ト全ク違ヒマセヌ、全クノ自由ガアル、其處ニ今申スヤウナサ

モシイコトハ起ラヌノデアリマス、是方範圍が狭クナリマスカラ、其處ニサウ云フサ

モシイ問題ガ起ッテ参リマスカラ、私ハドウゾ是程大切ナ案ヲ全國ニ普及シテ戴ク其初メノ踏出シノ時ノ一步ノ誤リガ、應テ將來ニ於テ百歩千歩ノ誤リニナルノデアリマ

スカラ、而モ亂雜無統制ナリ、組合ガ少數ノ醫師ト結託シテ亂雜無統制ニナルコトハ、火ヲ睹ルヨリ明カデアリマスカラ、私

ハ此點ヲアナタガ、此組合ハ五人ガ宜カラウトカ、此組合ハ十人デ宜カラウトカ、全體ドウ云フ目安デ之ヲ御決メニナルノデア

リマスカ、ソレヨリ今申サウニ何故之ヲ一視平等ニ全縣ノ治療機關全部ヲ之ニス

ル、是デヤッテ戴クナラバ、茲ニ自由選擇ノ窮屈ナ、只今申シマサウナサモシイ色々

ナ面側ダケハ私ハ防ギ得ラレルト信ジテ居リマスカラ、此點ハドウカ私ハ患者ノ爲ニ切ニ御願致シマスカラ、特ニ御考慮ヲ願ヒ

タイト思ヒマス
○北委員 議事進行ニ付テ……
○添田委員長 一寸、今ノ答辯ガ濟ンデカ

ラ……
○河原田國務大臣 第九條ト醫師ノ自由選擇ト云フコト、ハ自ラ別問題デアル、之ヲ能ク御諒承ヲ願ヒタイ、私ガ本會議ニ於テ

モ御説明致シマシタヤウニ、詰リ組合ト云フモノハ自治デアッテ、サウシテ又一方ニ

於キマシテ其組合ガ假令自治デアッテモ、例ヘバ一人カ二人ダケノ醫者ニ掛ラナケレバナラヌヤウナ規定ハサセナイヤウニス

ル、出來得ルダケ組合員ヲシテ廣イ範圍ノ醫者ニ掛レルヤウナコトニシナケレバ

イカヌ、斯ウ云フ省令ヲ作ルト云フコトデアリマスカラ、第九條ト今ノ醫師ノ自由選擇ト

ハ自ラ別問題デアル、此法案ハ醫師ハ若干ノモノデナケレバナラヌト云フコトハ決シ

テ規定シテ居ナイ、自由選擇ヲ認メテ居ル、サウシテ又自由選擇ヲ出來ルダケサセルヤ

ウニシタイ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス
ソレカラ第九條ノ方ハ、唯現在出來テ居

ルモノガ、必シモ黒字ダケト云フノデヤナイ、能ク黒字ガアル赤字ガアル言ッテ大分

攻撃ガアリマサガ、例ヘバ黒字ノヤウナ基礎ノ確實ナモノハ、是ハ代行シタイト云フ

ヤナイカ、斯ウ云フ趣旨デ申シマシタ、第九條ガ假ニアリマシテモ、今田中サンノ仰セ

ラレルヤウニ、色々ノ弊害ヲ御列舉ニナレバ、醫療組合ハ禁ズルヤウニシナケレバナ

ラヌト思ヒマス、假令此健康保險組合ガ出來テモ、他ノ組合ヲ禁止スル趣旨デヤチツ

トモナイノデアリマスカラ、或ハ健康保險組合デナク、他ノ組合ヲ作ラウデヤナイカト

云ッテモ、是ハ致方ナイノデアリマスカラ、是ト此條ニ依ッテ、今ノヤウナ本案ニ依リマ

シテ決シテサウ云フ一方ニ於テ健康保險組合以外ノモノヲ獎勵スルト云フ趣旨ハ

チットモナシ、又サウ云フコトハイカヌト云フコトニナレバ、消極的ニソレヲ禁止

スルト云フ途ヲ作ラナケレバ、本當ノ徹底シタ今田中サンノ仰シヤルヤウナ趣旨ヲ達

成シ得ナイデヤナイカ、唯何處マデモ健康保險組合ト云フモノヲ本旨ニシテ行クノデ

アリマスカラ、第九條ニ依ッテ詰リ從來ノ産業組合ト云フヤウナ醫療組合的ノモノヲ

獎勵スル意味ハチツトモナイ、斯ウ云フコトハ私ハ度々申上ダテ居ル、而シテ第九條

ト醫師ノ自由選擇トノ關係ハ何等關係ガナイ、詰リ本案ノ趣旨ハ何處マデモヤハリ組

合員ヲシテ成ベク廣イ範圍ノ醫者ニ掛カラセル、斯ウ云フ趣旨デアルコトハ私ハ度々

申シマシタ通りダト思フノデアリマス
○北委員 議事進行ニ付テ、極メテ僅少ノ時間デアリマス——會期モ愈、餘日ヲ殘ス

コトガ少イノデアリマス、審議ヲ急ガナケレバナラヌト思フノデアリマサガ、大體ニ

於テ此處デ議論スルコトハ、第九條ノ問題ト團體契約ノ問題ダラウト思フノデアリマ

ス、其他モアリマスケレドモ、是ガ大體ノモノダト思フ、此場合ニ第九條ト團體契約

ノ問題ニ付テ關聯事項ノ發言ヲ悉ク御許シニナルト、是ハ中々議事ガ進行シマイ、

斯ウ思ヒマス、ソレデハ是非順序通りニ

ヤッテ戴クヨリ途ガナイデヤナイカト思ヒ

マスシ、ソレカラ大體時間ノ御制限ヲ願ハ

ヌト、是ハ連モ此期間中ニ審議シ盡サレナ

イノデハナイカ、大體ニ於テノ時間ノ御制

限ハ、各種ノ委員會ニ於テモヤッテ居ル例

ガ澤山アルノデアリマスカラ、ドウゾ一ツ

此點御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス
○添田委員長 一ツ考慮シテカラナニシマ

セウ
○小林委員 只今大臣ノ御説明ニモアリマ

シタヤウニ、私ハ第九條ト醫者ノ自由選擇

ノ問題トハ全ク別ダト云フコトヲ考ヘテ居

リマス、唯本案ガ通過スル上ニ於テ、第九

條ガ非常ニ支障ヲ來サガ、之ニ對シテ何ト

カ御考慮ヲ拂フ餘裕ガアリマスカドウカ、ギリム、結著ノトコロ一ツ大臣カラ伺ッテ見タイ

○廣瀨政府委員 只今大臣カラ大體御答辯

申上ガタ譯デアリマスガ、尙ホ重要ナ點ガアリマスカラ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、醫者ノ選擇、之ニ付キマシテハ内務省令ノ上ニ一般ノ醫師、齒科醫師、藥劑師其他醫療機關ヲ組合ノ醫療機關トシテ指定シテ、被保險者ニ醫療機關選擇ノ自由ヲ認メルト云フ内務省令ノ中ニ、サウ云フ組合ノ近傍ノ醫者サント全部契約ヲサセテ、サウシテ自由選擇ヲスルヤウニト云フコトヲ内務省令ノ中ニ規定ヲ入レル積リデアリマスカラ、醫者ノ自由選擇ト云フコトニ付テハ御心配ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ團體契約ノコトニ付テノ色々御質問モアリ、又御答辯申上ゲタノデアリマスカラ、申上ゲルマデモナイト思ヒマスガ、是ハヤハリ何ト申シマシテモ組合ノ自治ヲ尊重シテ戴キタイ、組合ノ保險料ノ問題デモ保險給付ノ方ノ問題デモ、組合自身ノ重大問題ハ總テ自治ニ委セテ居ルノデアリマスカラ、組合ガ或ハ希望スレバ團體契約モ結構デアリマセウ、又或ハ附近ノ醫者サント契約スルコトモ結構デアリマ

セウ、ソコハ組合ノ自治ニ委セテ置クベキモノデアル、現在健康保險制度ガ布カレマシテ、十餘年經チマスガ、此健康保險法ノ上ニモ團體契約ヲ肯定ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、又此團體契約ヲ肯定スルト云フコトハ見方ニ依リマス、非常ニソコニ小サイ村ノ組合、例ヘバ縣醫師會ト契約スルト云フヤウナコトニナリマス、ドウモソコニ適當デナイコトガアリ易イト云フ關係ヲ持ツノデアリマス、是ハドウシテモ團體契約ハ法ノ上ニ書クベキモノデハナイ、唯組合ノ自治ニ依ッテ認ムベキモノデアル、併ナガラソレガ爲ニ決シテオ醫者サンノ自由選擇ニ付キマシテハ決シテ支障ノ來サナイヤウニ、吾々ト致シマシテハ内務省令ノ上ニ其種ノ手續モ置キマスシ、又指導監督ヲモ致ス積リデアリマスカラ、其點ハ一ツ御心配ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ第九條ノ問題デアリマスガ、第九條ノ問題ハ、是ハ本會議デ大臣カラモ申上ゲデアリマスガ、是ハ現ニ醫療組合ノ立派ナモノガアレバ、其上ニ又組合ヲ作ルト云フコトハ二重ニナルデヤナイカ、醫療組合ヲ解散サシテ、サウシテ又茲ニ保險組合ヲ作ルト云フヤウナコトハ、色々ナ點ニ於テ支障ガアル、シテ見レバ立派ナ組合ガアルノナラ

バ、之ニ保險ノ事業ノ代行ヲサセルト云フコトハ、非常ニ事ヲ滑ラカニ進行セシムルモノデアッテ、何等其處ニ弊害ガナイノデハナイカト、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ色々御心配ニナッテ居ルヤウナ點ハ、能ク分ッテ下サレバ、私共ハ決シテサウ心配スベキ點デハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小林委員 今ノ問題デアリマスルガ、醫

療組合ノ問題ガ、此國民健康保險組合法ニ依ッテ保險組合ガ出來ル、サウスルト町村ヲ單位ニスルト云フコトデアリマスカラ、醫療組合ノ團體ト一致シナイ點ガ多イデヤナイカ、醫療組合ガ少部分デヤッテ居ルモノヨリモ、寧ロ市町村ニ涉リ、或ハ色々複雜シタル關係ヲ持ッテ居ル組合、或ハ組合員ノ内容ニ於テモ、公營トハ趣旨ガ違ッテ居リハセスカ、サウ云ッテ關係ガ起ッテ來マス、ソレカラモウ一ツハ、元來健康保險組合ノ仕事ト云フモノガ、組合自體ガ之ヲ自主的ニ運營スルニアラズシテ、他ノ機關ヲシテ代行セシムルト云フ場合ニハ、形式ニ於テ其法的關係ヲ複雜ナラシメ、實質ニ於テハ代行機關ノ本質的分子トシテ、國民健康保險組合ノ分子トハ、必シモ是ハ一致シナイ、先程モ私ガ申シタノデアリマスガ、

斯ウ云フ場合ヲ考ヘテ見テモ、醫療給付又ハ實費給與等ニ於テ、又保險料ノ賦課徵收ノ方法等ニ於テモ、幾多ノ弊害ヲ生ズルコトハ是ハ明カデアリマス、デアリマスルカラ折角斯様ナ制度ヲ設クル以上ハ、其當初ニ於テドウシテモ將來ノゴタ／＼ヲ防止スルト云フコトニ豫見シテ掛ラナケレバナラヌ、此點ヲ憂フルノデアリマス、之ニ付テ確信ガアレルカ

○三宅委員 一寸關聯シテ、是ハ話シテ置

イタ方ガ能ク分リマスカラ……

○添田委員長 ソレデハ簡單ニ願ヒマス

○三宅委員 此點ハ小林サンノ御意見、ソレカラ田中サンノ御意見、内務省ノ御意見等ヲ承リマシテ……

〔發言スル者多シ〕

○添田委員長 靜カニ願ヒマス

○三宅委員 私ハ此問題ハ非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、之ヲ誤解ヲシテ議論ヲシテ居ルト、喰違ヒガアリマシテ議論ガ進マナイト思フ、ソコデ私申上ゲタイト思ヒマスガ、田中君ノ御心配ニナッテ居ル點、或ハ又醫師會方面ニ於テ御心配ニナッテ居ル點ハ、内務大臣ノ御説明ノ、九條ヲ以テシテハ、解消シテ居ラヌト思フ、ソレハ醫療利用組合ニ國民健康保險組合ヲ代行サレ

ト云フコトニナッテ居リマスカラ、是ハ醫療利用組合ノ病院ノアル所ハ、開業醫ニ任セズニ、專屬醫トシテ醫療組合病院ヲ使フデ、ソレダケニヤラセルコトニナレバ、醫師選擇ノ自由ガ奪ハレルノデヤナイカ、醫療利用組合ガ出來テ、ソレガ保險組合ヲ代行スルト云フコトニナレバ、自分ノ組合ヘ患者ヲ取ッテ來テシマッテ、サウシテ開業醫ガ喰フニ困ルヤウナコトニナッタノデハ、醫師選擇ノ自由ヲ奪ヒハシナイカト云フ點ガ、私共ハ問題ダト思フノデアリマス、ダカラ私共ハ本會議ニ於テモ申上ゲタノデゴザイマスガ、醫療利用組合ニ代行サレルト云フコトハ意義ヲ成サンデヤナイカ、サウ云フ意味ナラバ異議ハアルケレドモ、サウデナシニ、醫師ノ選擇ヲ自由ニシテ、唯集金ヲシタリ色々シタリスル事務ヲニツニシテヤラセル必要ハナイカラ、醫療組合ニヤラセルト云フ意味デゴザイマスレバ、ソレナラ意味ヲ成サンデヤナイカ、私共ハ寧ろ何故第九條ヲサウ云フヤウナ狭イ意味ノ解釋デナシニ、都會ニ於キマシテハ、商業組合ガアツタリ、工業組合ガアツタリシタナラバ、之ニオヤラセニナッタ宜シイ、要スルニ保險組合ノ基礎ガ鞏固デアリ、組合員ノ互助的訓練ガナカッタナラバ、保險ト云フモ

ノハ巧行カナイ、ソレハ越ヶ谷ニ於キマシテモ、兎モ角ア、云フ地方ニ於テ相當ニ行ッテ居ルノハ、納稅組合ト云フ互助組合ノ基礎ガアルカラデアル、或ハ又勞働者ノ健康保險ニ於テ、相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルノハ、工場鑛山ニ於テ共濟組合ノ基礎ガアツテ、其基礎ノ上ニ乗ッテ居ッテ、互助的訓練ノアル所ニ於キマシテハ、互助組織デアル所ノ保險組合ガ巧行ッテ居ルノデアアル隨テ私共ガ第九條ヲ活カセト云フ意味ハ、産業組合ガ農村ニアリマスルケレドモ、其産業組合ニ集金ノ手續デアルトカ、色々ノ事務ヲオヤラセニナルナラバ、サウスルナラバ、例ヘバ金ヲ集メル上ニ於テ、物納ヲ取ッテ苦痛ヲ與ヘナイヤウナ場合ニ於キマシテ、販賣組合ノ掛金ヲソツチヘ廻サセルコトモ出來ルシ、或ハ信用組合デ金ヲ貸シテヤルコトモ出來ルカラ、組合員モ便利デアルカラ、ソレカラ囑託ヲサレマシタ醫師選擇ノ自由ニ付テモ、其近所ニ於ケル全部ノオ醫者サンモ便利デアル、オ醫者サンニ組合員ガ金ヲ能ウ拂ハヌト云フヤウナコトニナッテハ、オ醫者サシニ甚ダ御迷惑ヲ掛ケルノデアリマスカラ、産業組合ガヤッテ、産業組合ノ本質カラ言ッテ、相互扶助ノ團體デアルカラ、事務所ヲ別ニ持タナクテ

モ、集金手續ヤ何カソレニヤラシテ、ソコデ之ニ依ッテオ醫者サンニ不拂ヒガナイヤウニサセルコトガ宜イデヤナイカ、農村ニハ組合ガ多過ギルカラ、此際ヤハリ同ジヤウナ組合ガアルナラバ、ソレニ其事務ヲヤラシタラ宜イ、醫療組合ノミニヤラセラレルト云フコトニナレバ、ソレハ健康保險ニ於ケル專屬醫ノ主義、是ハ私ハ一ツノ主義デアリマスカラ、善イ惡イト云フコトハ言ヒマセヌ、理想的ニ、ソレガ善イカモ知レマセヌガ、開業醫ノ生活ト云フモノモ此際ハ十分ニ考慮シナケレバナライ、現實ニ於テ何萬人ト云フ開業醫ガ居ラレルノデアリマスカラ、其諸君ガヤッテ行ケルヤウニ考ヘナケレバイケナイノデアルカラ、吾々ハ田中サンノ言ハレル通り、醫師選擇ニ付テハドノ範圍ニ於テモ醫師ガ取レル、ソレハ醫師會ダケデ取ッテハイカヌケレドモ、其他ノ方面デモ取レル、團體契約デハサウ行キマセヌ、是ハ私ノ番ノ廻ッテ來タ時ニ、勞働者健康保險ニ於ケル醫師會トノ請負契約ノ關係ニ於キマスル、實際ノ醫師選擇ノ自由ノ問題ニ付テ、事實ニ於テ醫師選擇ガ非常ニ不自由デアルト云フ點ニ付テ、事實ヲ擧ゲテ私共ハ御伺ヲシタイト考ヘルノデアルガ、ソレハ後ノ問題デアルカラ申上ゲ

ナイ、唯問題ハ、第九條ハ正面カラ解釋致シマスレバ、昨日モ御出シニナッタ勅令、命令ニ關スル或部分ニ付テハ、國民醫療組合ト書イデアリマスレドモ、第九條ノ正面解釋カラ參リマスルナラバ、農村ニ於ケル産業組合、工業組合、商業組合等、所謂此社團法人ヲ指スコトヲ意味スルコトハ明白ダト思フノデゴザイマスカラ、サウ云フモノニヤラセルコトガ、農村ニ於テ——此間富澤胤男君ガ言ハレマシタ通り、或ル有力者ガ二十九ノ組合ノ幹部ヲシテ居ル、毎日組合ノ幹部會ニ出テ居ッタラ、何モ仕事ガ出來ナイト云フヤウニ、組合ガ多過ギテ困ルカラ、力ノアル所ヘ整理スレバ、醫者ノ方モ助カルシ、サウシテ醫師選擇ノ自由モ行クト云フコトニナリマスレバ、得ル所ガ多イト考ヘル、吾々ガ原案支持ト云フ意味ハ、サウ云フ意味ニ於テ原案ヲ支持シテ居ルノデアリマス、其意味ニ於テハ第九條ヲ活カシテ置イタ方ガ宜シイ、ノミナラズ産業組合ナリ……

○添田委員長 成ベク意見ハドウゾ控ヘテ下サイ

○三宅委員 サウ云フ風ニ私ハ考ヘマスノデ、サウ云フ意味ニ於テ原案ヲ支持シテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ意味ニ於テ私

共ハ今少シ此點ニ付テ内務省ノ御意見ヲ御
纏メヲ願ヒタイト云フノデハアリマセヌケ
レドモ、吾々ハ原案ヲ支持シテ居ルト云フ
意味ハ、第九條ヲ活カシテ行カナケレバナ
ラナイト云フ所以ハソレナンデス、何モ單
ニ少數ノ範圍ノ醫療組合ニヤラシテ、醫療
組合專屬ト云フ制度ニ依ッテ他ノ開業醫ヲ
困ラセルト云フヤウナ感ジラ開業醫ニ與ヘ
ルコトハイカヌ、寧ロ御醫者サン全體ガ立
ツヤウニ、集金ナドハ完全ニ出來テ——僅
カ三百戸、四百戸ノ村ニ於キマシテ、新シク
基礎ノ脆弱ナ組合ヲ作ッテ、果シテ保險ガ拂
ヘルカ拂ヘヌカハ補助金ガアッテモ疑問デ
アリマスカラ、産業組合ニヤラシテ、サウ
シテ拂ヘルヤウニサセルコトガ宜シイ、斯
ウ云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマ
スルガ、併シ委員會ニ於ケル審議ノ模様ガ
サウ云フコトニモ話ガ纏マラスト云フコト
ニナルト困ルカラ、私共ハ内務省ノ出サレ
マシタ原案ヲ支持シテ參リマスル積リデア
リマスケレドモ、話ガサウ云フコトニ田中
君ト御話ガ纏マリ、色々話ガ纏マルナラ
バ、何トカシテ委員會ノ空氣ガ纏マリマシ
タ所デ、是非一ツ之ヲ通過サシタイ、滿場
一致ノ形ヲ以テ通過サシタイト考ヘテ居ル
ノデアリマスカラシテ、是ハ一ツ委員各位

ニ於テモ御考ヲ願ヒタイシ、政府當局ニ於
テモサウ云フ點ニ付テ、或ハ其話ニ乗ラレ
ルカドウカト云フ點ヲ一ツ私ハ一應御注意
ヲ喚起シテ置キマシテ、今直グ御返事ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○中崎委員 議事進行ニ付テ、私ハ伺ッテ居
リマスルケレドモ、成ベク多數ノ人ニ審議
檢討ヲシテ戴クト云フコトハ洵ニ結構デス
ガ、ドウゾ成ベク議論ヲ縮メテ、サウシテ
時間ノ制限ヲシタイト云フヤウナ御意見ガ
アッタノデアリマスガ、是非非常ナ間違ヒダ
ト思フ、私ハ此案位社會立法ノ方面カラ考
ヘテ、實ニ是ハ醫師會トシテモ其他ノ國民
トシテモ重大ナ是ハ問題デアル、斯ウ云フ
問題ヲ若シ時間ガナイナラバ夜デモ掛けテ
仕方ガナイカラ委員會ヲヤハリ繼續スルガ
宜イ(委員會ハ徹宵シテモヤルベキダ)ト呼
フ者アリ)サウ云フ方針ヲ以テ行クコトガ
私ハ至當デアルト思フ、成ベク之ヲ多數ノ
人ニ審議サセ、多數ノ人ノ質問ヲ許スト云
フ方針デ委員長ガ此議事ノ進行ヲシテ戴キ
タイ、之ヲ申上げマス

〔北委員〕關聯事項ニ付テト呼ヒ其他
發言スル者多シ

○添田委員長 一寸私カラ御答辯シマス、
只今中崎君ノ議事進行ニ關スル御意見ガア

リマスルガ、委員長トシテモ左様ニ考ヘテ
居リマス、先刻北君ノ御意見モ出マシタ
ガ、固ヨリ期間ガ短イノデアリマスカラ、
一層急グコトハ急ガナケレバナリマセヌ
ガ、今日ハ此委員會ノ初會デアリマス、サ
ウ云フ場合ニ初メカラ時間ノ制限ナント云
フコトハシナイ方ガ宜カラウ、斯ウ思ヒマ
ス、又今後ノ進行如何ニ依ッテハ尙ホ考慮
スル場合ガアルカモ知レマセヌケレドモ、
成ベク多數ノ人ガ遺憾ノナイヤウニ質疑ガ
アルヤウニ致シタイ、唯併シ質疑ハ何處マ
デモ質疑ニシテ戴キタイ、意見ナリ議論ガ
マシイコトニナルト、兎角話ガ長クナリマ
スカラ、成ベク質疑ノ範圍ニ止メテ戴キタ
イト思ヒマス

〔北委員〕關聯事項ニ付テト呼ヒ其他
發言スル者多シ

○小林委員 ソレデ一寸議事進行ニ付テ意
見ヲ申上げテ置キマスガ、私ハ質問ノ際ニ
當局ノ御答辯ヲ得テ、ソレカラ其質問ニ關
聯シタ人ハソレカラ質問シテ貰ヒタイ、ソ
レヲ又委員長ガ許シテ貰ヒタイ、サウセヌ
ト云フト、關聯質問ダト言ウテ私ノ質問ヲ
シテ居ル筋ト違ッタ方ニドシノ引張ッテ行
カレマスト、當局ノ答辯ト云フモノハ、アッ
チコッチニナッテシマッテ、本員ノ問ハント

スル所ハ一向伺フコトガ出來ナイ、此點ニ
付テ特ニ委員長ノ御留意ヲ願ヒマス

○北委員 私ハ關聯事項デ一寸附加ヘテ置
キマス、私ハ法律家デナイノデ是ハ常識的
ニ考ヘルノデアリマスルガ、法律ニアルコ
トヲ命令デ其範圍ヲ狹クスルコトガ出來ル
カドウカ、是ハ疑問ナノデアル、デ第九條
ノ問題ニ付テ營利ヲ目的トセザル團體ト云
フモノハドンナ團體デアリ、幾ツ位デアル
カ、單ナル醫療組合デアアルノデアルカド
ウカ、之ヲ一ツ御伺シテ置キタイト思フノデ
アリマス、營利ヲ目的トセザル團體ハ色々
アリマス、ソレデ……(委員長、アンナコ
トド發言ヲ許シテハ困ルデヤナイカ)ト呼
フ者アリ)茲ニ醫療組合ダケト限定サレテ、
サウシテ内務省令ヲ出サレルト云フト、是
ハ飛ンデモナイ履キ違ヒ、法律ガ命令ニ縛
ラレルトコトニナリハセヌカ、此點一ツ御伺
シテ置キタイト思ヒマス

○加藤委員 私ハ本日理事ノ方ガオイデニ
ナラヌヤウデアリマスルガ故ニ、私カラ一寸
心付キヲ申上げタイト思フ、只今小林君ノ
御質問中ニ關聯事項ト稱シテ田中君ト、ソ
レカラ三宅君ノ御發言ガアリマス、洵ニ有
益ナル御發言デアリマシテ、是ガ爲ニ第九
條ノ問題ガ餘程解決シ易クナッタノデハア

リマスルガ、元來ガ通告順ニ依リマシテ、通告致シタルコトデゴザイマシテ、問題ハ恐ラク第九條ト團體契約ノ問題ニ集中サレルト思ヒマスルノデ、關聯事項トシテ發言ヲ求メタナラバ、際限ナク關聯事項バカシデアリマス、ドウカ議事ノ整理ニ付キマシテハ、小林君カラ通告順ニ依ッテ發言ヲサレタ方ノコトガ終リマシテカラ、自分ノ番ニナリマシテカラ十分ノ發言ガアルヤウニシタ方ガ、議事ガ滑カニ進行スベキモノデアルト思ヒマス（左様々々ト呼フ者アリ）ソレデアリマスルガ故ニ、委員長ニ於カセラレマシテハ、何レ各黨ノ理事諸君モ御參集ニナリマシタ場合ニ於テ、サウ云フ風ニ議事ノ進行ヲ御取廻シテ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ只今ハ小林君ノ質疑ヲ繼續サレンコトヲ希望致シマス

○廣瀨政府委員 小林サンノ先程ノ御質問ニ御答致シマス、先程ノ御質問ニ依リマス、折角立派ナ制度ヲ作ルノデアアルカラ、將來ニゴタ／＼ノ生ジナイヤウニシテ貰ヒタイト云フ御趣旨デアリマス、洵ニ御同感デアリマス、併シ此點ニ付キマシテハ第九條ヲ此儘御認メ下サイマシテ、大綱ヲ認メマシタ所デ、決シテ吾々ノ觀ル所デハ混雜ヲ來スモノデハナイト思フ、ソレデ醫療組

合ガ立派ナモノガアル、サウスルト其中ニ特別會計トシテ國民健康保險ノ爲メノ特別會計ヲ設ケル、其特別會計ニ於テ保險關係ノ事務ヲ取扱フ、サウシテ醫療組合トシテハ別ニ組合病院ノ經營デアルトカ云フヤウナ別ノ醫療組合トシテノ仕事デアリマスカラ、ソレハソレデ置ク、ソレデ尙ホ其中ニ特別會計ヲ設ケテ、保險ノ方ノ仕事ハヤルト云フヤウニ致シテ行キマスレバ、其間ニ何等紛淆ヲ生ズルコトモナイ、ソレカラ又內務大臣トシテハ其特別會計ノ保險ノ方ノ仕事ニ關シテハ、監督權ヲ以テマシテ、地方長官、內務大臣共ニ系統的ニ監督權ヲ以テ監督ヲシテ行ク、斯ウ云フ方法ヲ執ッテ行キマスレバ、大綱ヲ認メマシテモ何等ソコニ紛更其他ヲ生ジナイト斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマス

○添田委員長 午前ハ是デ休憩ヲ致シマシテ、午後一時半ヨリ再開致スコトニ致シマス
正午休憩

午後二時開議
○添田委員長 午前ニ引續イテ開會致シマス、此際一寸私カラ申上ゲテ置キマスガ、午前中關聯事項ニ付テ御發議ガアリマシテ、其發言ヲ成ベク許ス積リデ居ッタノデ

アリマスガ、大抵關聯ノ要項ハ第九條ナリ團體契約ナリニ關係シテノコトガ多イノデアリマス、之ニ付テハ若シ關聯事項トシテ許スト云フコトニナレバ、相當限ガナイヤウニ考ヘラレマス、隨テ關聯事項ニ關スル御發議ニ付テハ成ベク一ツ御遠慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 先程北委員ノ御質問ニ對シテ御答辯ノ漏レテ居リマス點ヲ簡單ニ申上ゲマス、命令ノ定ムル所ニ依リ「ト云フ文字ニ關スル御意見デアリマスガ、是ハ法律ガ命令ノ方ニ營利ヲ目的トセザル社團法人ノ範圍ヲ委ネルモノデアリマシテ、此種ノ例ハ澤山アルノデアリマスガ、隨ヒマシテ命令ト云フコトニ付テ內務省ガ考ヘテ居リマスノハ、嚴格ニ制限的ニ狹ク解釋致シテ居リマス、ト申シマスノハ本法ノ施行ニ付キマシテハ、ヤハリ何處マデモ健康保險組合ガ原則デアリマシテ、第九條ノ代行ノ如キハ例外デアリマス、例外ハ制限的ニ解釋スルノガ當リ前デアリマスシ、又其方針デ差當リニ於キマシテハ、醫療組合ヲ命令ノ上ニ書ク豫定ニナッテ居リマス

○北委員 ソコデス、如何ニ必要ナコトハ命令ニ定ムト云フ補足的ニ法律ニアッタカラト云ウテ、サウ懸ケ離レタ一尺ノ幅ノモノヲ一寸ニ縮メルト云フヤウナ亂暴ナ例ヲ作ルコトハ將來私ハ宜シクナイト思フ、寧ロソレナラバ何人ガ見テモ疑義ノ起ラヌ字句ニ直スガ穩當デアルト思ヒマス、羊頭狗肉トハ此事ダト思フ、恰モ選舉法ノ適用ニ付テ內務省令ガ出テ、議院デ立法ヲシタ當ノ議員達ガ、議會デ立法ヲシタ當ノ議員達ノ考ト大イニ懸ケ離レタ規定ニ縛ラレ、遂ニ濱田國松氏ヲシテコンナ苦デハナカッタト言ハシメタ、ソレ以上ノ行違ヒガ出來ルモノト思フ、此點ニ關シマシテ當局ハ尙ホ御差支ナシト考ヘラル、カ、是ダケ御伺シテ置キマス

○廣瀨政府委員 私ハ只今申上ゲマシタヤウニ、是ハ例外ノ規定デアリマスカラ、制限的ニ考ヘテ、差當リニ於キマシテ、醫療利用組合ヲ考ヘテ居ルノデアアル、併シ差當リト云フコトヲ申上ゲテ居リマシタヤウニ、將來特別組合、御承知ノ特別組合ノ方ヲ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、特別組合ニ付キマシテハ或ハ醫療ヲ目的トシタ社團デアッテ、特別組合トシテ吾々ガ認メテ、之ニ代行ヲサセルト云フヤウナコトガ將來アルカモ知レスト云フコトヲ考ヘテ居ルモノデアリマスカラ、斯ウ云フ工合ニシテアルノデアリマス

○小林委員 此法案ハ非常ニ重要視サレテ審議ヲサレテ居ルノデアリマスガ、内務大臣ガ此委員會ニ御出席ニナラナイノハ如何カト思ヒマス

○添田委員長 内務大臣ハ今本會議ニ出デ居ルサウデアリマス

○小林委員 委員長ハ速カニ内務大臣ノ御出席ヲ取計ラル、様希望致シマス、大臣ニ根本問題トシテ御尋シタイコトヲ最後ニ廻シマシテ、引續イテ政府當局ノ御意見ヲ御伺致シマス、醫療組合ノ地域の範圍ト又醫療組合員ノ經濟的ニ一定シテ居ル範圍ト國民健康保健組合ノ範圍ガ全然齟齬スル、喰ヒ違ヒマス、ソレデ御説明ニ依ルト云フト、サウ澤山ハナイト云フトデアリマスルガ、是ガ幾ラ位アルカ、其數ヲ伺ヒタイ、私等ノ希望スル通りニ、此第九條ガ本案ノ審議上ノ故障トナルカラ、之ヲ撤廢シタラドウカト思フノデアリマスガ、一步譲ッテ、若シソレヲシナイデ、假ニ行クモノトシタ時ニ、サウシタ時ニ此組合ノ利用サレル數ハ幾ツ位アリマスガ、ソレカラ又ソレハ現在實在スルモノニ限り之ヲ許スケレドモ、將來ニ於テ新ニサウ云フモノハ作ラナイカト云フノデアリマスガ、言ヒ換フレバ產業組合ト

聯絡ヲ取ッテ、サウ云フモノヲ作ラナイカドウカ、又政府デ指導シテ成ベク作ラセナイヤウニシマシテモ、一方醫療利用組合ノヤリ方ヲ見テ居ッテ、サウシテドン／＼產業組合ノ方デ利用組合ヲ作ルコトニ直進シテ行ッテ、其數ガ殖エテ同ジ狀態ニナッテ行クカラ全部ヤハリ同ジヤウナ取扱ヲシテ貰ヒタイト云フ要求ガ出來タ時ニ、ドウ云フ處置ヲセラレルカ、其點ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス

○廣瀬政府委員 御答申上ゲマスガ、只今醫療組合ノ代行ヲ認メテ宜シイト云フヤウナモノガ幾ツ位アルカト云フ御問ニ對シマシテハ現在私共ノ方デ調査ヲ致シツ、アリマスガ、此間カラ申上ゲテ居ルヤウニ兎ニ角相當嚴重ナ條件ヲ附シテ——命令ニ依リマシテ相當嚴重ナ條件ヲ附シマシテ、其條件ニ合ハナケレバ認めナイノデアリマスカラ、當分サウ多クハナイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ此將來ノ醫療組合ノ問題デアリマスガ、此處デーツ根本的ニ御話申上ゲテ置キタイノハ、私共ノ見ル所デハ、將來醫療組合ト云フモノハ是ハ見解ノ相違ニナルカモ知レマセヌガ、餘程今マデトハ違ッテ來ルノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、ト申シマスノハ從來此醫療保護ニ關スル國策

ト云フモノガ確立致シテ居ラナカタノデアリマススケレドモ、今回ハ御承知ノヤウニ、醫療保護ニ關スル國策ト致シマシテ、一方ニ於テハ無醫村ニ對シテハオ醫者サンノ普及ヲ圖リ、尙ホ保健所ノ如キモノヲ設ケテ、サウシテ此保健關係ノ地方民指導ノ中心ヲ置キ、之ニ伴ヒマシテ今回御審議ヲ願ッテ居ル所ノ保險組合ニ關スル法律ヲ提案致シ、是等ガ總テ議會ノ承認ヲ得マスルナラバ、茲ニ初メテ保健國策ハ相當系統的ニ確立スルコトニナッテ來ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ將來ノ醫療保護ニ關スル國策ハ、此大筋ヲ辿ッテ行クノデアリマシテ、從來ノ如キ醫療組合ト云フヤウナ形ニハサウハ進マヌノデハナイカト思ヒマス、之ニ付テハ色々意見ガアリマセウガ、私共ハ從來ハ醫療保護ニ關スル國策ハハッキリ致サナカタノデアリマスガ、今回ハ相當ハッキリ致シマスノデ、此醫療保護國策ニ依リマシテ進ムトスレバ、ヤハリ大臣ガ繰返シテ申上ゲテ居ルヤウニ、健康保險組合ハ之ヲ獎勵スル、醫療利用組合ノ方ハ、是ハ特ニ獎勵シヨウト云フノデハナイノダ、自然ニ起ッテ來ルモノハ、ソレハ其儘トシテアルガ、特ニ獎勵スルノデハナイノダト云フト申上ゲテア

リマスガ、サウ云フヤウナ事情デアリマスカラ、將來ノ醫療利用組合ト云フモノハ、サウ殖エルモノデハナイト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ自然ニ起キテ來タラドウスルカト云フ只今ノ御問デアリマスガ、自然ニ發達シテ來ルモノハ之ヲ禁止スルノモ如何カト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ自然ニ發達シテ來タ場合ニ、代行關係ハドウスルカト云フ御問ノヤウニモ伺フノデアリマスガ、是ハヤハリ此條件ニ合フナラバ、代行ヲ認メルノガ至當アル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○小林委員 只今ノ御答辯ニ依リマスレバ、結局醫療利用組合ニ對スル醫師團體ノ今日心配シテ居ル問題ハ杞憂ニアラズシテ、必ズ將來ハ大キナ問題ガ對立的ニ起ッテ來ルコト、豫想シナケレバナラスト思ッテ居リマスガ、此點ニ付テハ十分ニ御考慮ヲシテ置カレナケレバイケナイト、斯ウ考ヘルノデアリマス、更ニ組合員ノコトニ付テ御伺致シマスルガ、此組合ニ加入スル者ハ、初メハ任意トシテ居ル、サウシテ三分ノ二——町村單位トシテ其町村内ノ者ノ加入ハ任意ニシテ置ク、サウシテ出來上ッタ組合ガ町村ノ居住者ノ三分ノ二以上ニナッタ時ニハ、始メテ命令ヲ以テ總テ加入

セシムルト、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、是ハ甚ダ不徹底ナリ方デアル、何故ニ此制度ノ精神ヲ貫ク爲ニ、初メカラ——町村單位ニ、此救護法其他ニ依ッテ加入スルコトヲ要シナイモノヲ除イタ總テノ者ヲ始めカラ強制加入サセナイカ、是モ醫師團體ノ方面デハ或ハ之ヲ憂ヘルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ寧ロ反對ニ、一律平等ニ之ヲ總テ加入セシメルト云フコトデアッタナラバ、却テ問題ノ解決ハ簡單ニ行クト思フ、ソレカラモウ一ツ最重要ナ問題ハ、組合員ノ世帯ニ屬スル者ハ總テ被保險者タラシムルト云フノデヤナク、ソレモヤハリ組合ノ自治的ニ決定セシメル、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、是モ甚ダ不徹底ナ處置デア

ル、本來一般ニ醫療ヲ普及徹底セシメルト云フ目的デアリマシタナラバ、先ノ總テノモノヲ初メカラ組合員タラシムルヤウニ強制加入セシメルト同時ニ、組合員ノ家族、組合員ノ世帯ニ屬スル者ハ、總テ被保險者タラシメル制度ニアラザレバ、到底其目的ハ達スルコトハ出来マセヌ、表面上ハ如何ニモ立派ナ社會政策ノ一ツノヤウデアリマスケレドモ、實際ニ當ッテ見ルト云フト、最モ此制度ノ目標トスル所ノ多クノ階級ニアッテハ家族ガ比較的多イ、諺ニ貧乏人ノ子澤

山ト云フコトヲ言ヒマスガ、此家族ヲ澤山有ッテ居ル者ヲ救済スルト云フコトガ、寧ロ全體ノ目的ヲ達スルコトニナル、此家族ノ多イサウ云ッテ階級ノ家族ハ入レナイ、家族ヲ被保險者タラシメナイト云フコトデアッタナラバ、ソレ等ニ對シテ醫療ヲ徹底セシメルト云フコトハ出来ナイ、此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○廣瀨政府委員 先程御話申上ゲマシタ醫療利用組合ノ將來ニ付キマシテハ、私共ハ、サウ澤山起キルモノデハナイカラシテ、御心配ハ願ハヌデモ宜カラウ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ只今ノ御質問ニ付キマシテ、加入ガ任意デアルト云フコトハ適當デナイ、強制ノ加入ニシナケレバ宜シクナイデハナイカト云フ御意見デアリマス、此點ニ付キマシテハ、色々私共モ考究ヲ致シマシタ、其結果ヤハリ此醫療ト云フヤウナコトハ、他ノコト、違ヒマシテ、餘程精神的ニ御互ニ諒解シ合ッテ進マナケレバナラナイモノデアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此種ノ組合ヲ作りマシテモ、能ク相互ニ諒解シ合ヒ、サウシテ此種ノ組合ノ眞ノ意義ヲ御互ニ解シ合ッテ行キタイ、ソレニハ成ベク加入ニ付テモ強制ハ出来ルダケ避ケタ方宜シイ、初ヨリ強制ヲ以テ

臨ムト云フコトハ、ドウモ醫療ト云フコトノ精神の要素カラ考ヘマシテ穩カデナイ、ヤハリ醫療ハ自治的ニ互ニ諒解ノ下ニ進ムガ宜シイト云フ立前デ任意加入ノ制度ヲ採リマシタ、併シ御話ノヤウニヤハリ加入ノ強制ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマスカラ、ソコデ三分ノ二以上ガ任意的ニ入ル、残りノ者ニ付テ不同意ナ者ガアルト云フ場合デモ、知事ガ必要アリト認メル場合ニハ強制シ得ルト云フヤウニ致シマシテ、強制ト云フ文章モ特ニ入レテ居ルノデアリマス、第十六條ニ其趣旨ハ書イテゴザイマス、十六條ニ依リマスレバ「組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上組合員タル場合ニ於テ地方長官必要アリト認メ、其ノ組合ヲ指定シタルトキハ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ組合員ト爲ルモノトス」ト云フコトニ致シマシテ、一定ノ條件ノ下ニ強制ヲスルト云フコトニ致シテ居リマス、ソレカラ尙ホ其次ニ此組合ノ構成ニ付テノ御意見デアリマスガ、此組合ハ御話ノヤウニ組合員、即チ世帯主バカリデハナイノデアリマシテ、組合員及ビ組合員ノ世帯ニ屬スル者、即チ家族ヲ以テ被保險者トスルト云フコトヲ立前ニ致シテ居リマス、十七條ニ其點ハ書イテアリマスガ、十七條

ハ「組合ハ組合員及組合員ノ世帯ニ屬スル者ヲ以テ其ノ被保險者トス」斯ウ云フコトニナッテ居リマス、隨ヒマシテ家族ハ此中ニ入レルノガ原則ニナッテ居ルノデアリマス、但シ市街地等ニ於キマシテノ特別組合ニ於テハ、或ハ組合員ダケデ組合ヲ作ルコトモアリ得ルノデアリマス、ソレモアリ得マスガ、農村等ニ於ケル立前ト致シマシテハ、十七條ノ規定ノヤウニ、ヤハリ組合員竝ニ組合員ノ世帯ノ者ヲモ被保險者トスルト云フ立前ニナッテ居リマスノデ、御心配ノ點ハ差支ナイヤウニナッテ居リマス

○小林委員 組合員ノ負擔能力ト云フモノニ付テ一ツ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、此組合ガ出来マシテ此法ヲ實施スルト云フコトニナリマシタ時ニ、被保險者トシ組合員トシテ年々金ヲ出シテ居ル、サウスルト政府ノ補助ト云フモノハ五分ノ一デアリマスカラ、一人一年一圓ト致シマシテ、家族全體ガ五人アルトシテ五圓トスル、サウシマスルト、假ニ一村全部加入スル目的ヲ達シタトシタ時、マア平均一千戸位ト見マスカー——一千戸位アルトシタ所ガ、政府ノ其組合ニ對シテ補助ハ五千圓、サウスルト其組合員ノ負擔ガ二萬圓デアル各町村ニ於テ今日戸數割ヲ假ニ一千戸デドレ程持ッ

テ居ルカ、二萬圓位アル、ソレダケノ二萬圓ノ戸數割ト云フモノハ非常ニ大キナモノデアル、其徴收ニ窮シテ、今日ハ交付金ナドヲ要求スルト云フ時代デアリマスガ、此組合ガ出來マシテ、唯五分ノ一ノ一圓シカ補助シナイデ、五圓宛ノ殆下大部分ヲ町村デ組合員ガ出スト云フコトデアリマス、其現金ト云フモノガ戸數割デサヘモ非常ニ困ッテ居ルガ、果シテ完全ニ組合費乃至掛金ヲ徴收スルコトガ出來マスカ、強制徴收方法モアリマスルケレドモ、是ガ全部徹底シタ時ニ、是ガ爲ニ非常ニ大キナ問題ガ又却テ起リハセヌカ、デアリマスカラ、最モ必要ナ制度デアルケレドモ、此補助金ト云フモノハ、此五分ノ一ノ補助デハイケナイ、モット徹底スル必要ガアリハセヌカ、モット多ク政府ノ方トシテ其半額位マデハ補助セラレルモノガ出來テ來ナケレバナラス、ソレハ貧弱町村ト經濟ノ豊カナ町村、又農漁山村ト都會地トハ或ハ違フカモ知レマセヌ、併ナガラ都會地ニ致シマシテモ中小商業業者ニ於テハ、ヤハリ農村ガ今日救済ヲ叫ンデ居リマス同ジヤウナ叫ヲ持ッテ居リマスカラ、寧ロ此經濟的ノ補助ヲ受ケルト云フコトニ付テノ要求ハ同ジデアルト思ヒマスガ、今ノヤウナ唯雀ノ涙位ノコトデ

此國策的ノ大キナ事業ヲヤラウト云フコトハ、餘リニモ政府ノ方デハ虫ガ良過ギハシナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス

○廣瀨政府委員 御答致シマスガ、此組合員ノ負擔能力ニ關スル御心配ノ點、至極御尤デアリマス、大體ノ御話ヲ申上ゲテ御諒解ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、此組合員ニ對スル政府ノ補助ノ大體ノ立前ヲ申上ゲタイと思ヒマス、當初ノ二箇年間ハ一人當リ一圓ノ豫定デアリマス、ソレカラ其次ノ二箇年間ハ一人當リ七十錢ノ豫定デアリマシテ、ソレカラ以後ハ五十錢ヲ以テズツト繼續スルト云フ豫定デアリマス、ソコデ只今非常ニ御心配デアリマスルガ、此醫療費ニ付キマシテノ今マデノ私共ノ調デハ、一人當リノ醫療費ハ大體四五圓デハナカラウカ、サウシテ保險料トシテハ、一部負擔金等モ出シマスルシシマスカラ、補助金ノ一圓ヲ一人ニ付テ出シ、尙ホ一部負擔金等ニ致シマスカ、保險料トシテハ先ヅ三圓内外ノ所デ宜イノデハナイカト云フ計算ヲ致シテ居ルノデアリマス、醫療費假ニ五圓ト見マシテモ、ソレニ一圓ノ金ヲ補助スルト云フコトハ相當大キナ補助デアルト考ヘテ居リマス、勿論尙ホ多ケレバ結構デハアリマ

セウガ、大體ニ於テ相當ニ手厚イ補助デアルト思フノデアリマス、殊ニ御考ヲ願ヒタイノハ、此保險料ト申シマスカ、ソレハ全然新シイ負擔デハナイノデゴザイマス、此保險料ハ從來ハ個人ガオ醫者サンニ拂ッテ居リマシタ醫療拂ヲ、保險料ト云フ形ニ於テ組合ニ納メルト云フコトデアリマシテ、保險料ト云ッテ新シイ負擔ヲスル譯デハナイ、從來ノ醫療料ガ保險料ニ形ガ變ハルノデアリマス、サウ云フヤウニ形ヲ醫療料ヲ保險料ニ、變ヘマシテ、保險組合ヲ村ニ作リマス、假ニ其村ニ五千人ノ被保險者ガアッタ致シマス、當初ノ二箇年間ハ五千圓宛ノ補助金ヲ其村ニ貰ヘルノデアリマス、サウシテ將來ノ平年度ニ於キマシテモ、二千五百圓ノ補助金ヲ貰ヘルコトニナルノデアリマス、サウ致シマス、此保險金ト云フノハ相當手厚イ補助デアリマシテ、サウ輕ク見ルベキモノデハナイ、殊ニ保險料トシテ出シマスモノガ新シイ負擔ト云フノデハナクシテ、從來ノ醫療費ヲ保險料ト云フ形ニ變ヘテ出スノデアルト云フコトヲ御考下サルト、相當是ハ地方ニ對シテハ力ノアル保險政策デハナイカト、私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此組合員ノ負擔能力ト云フコトニ付キマシテモ、サウ御心配ヲ

ナサラヌデモ宜シイノデハナイカ、マア比較的期間ハ短カイノデアリマスガ、多少實際ノ類似的ノ組合ナドノ實例ヲ見マシテモ、兎ニ角組合トシテ此位ノ負擔能力ハ何トカヤッテ行ケルノデハナイカ、ソレカラ又戸數割ノ非常ナ重イ負擔ト云フヤウナモノハ無クシテ、同ジヤウニシタイ、戸數割ノ重イ負擔ノヤウナ工合ニ保險料ハナルモノデハナイノデアリマス、ト申シマスノハ、一人當リノ醫療費ガ大體ニ於テ平均シテ五圓見當トシマス、之ヲ金持ノ方ニ重ク持ッテ行クト致シマシテモ、サウ金持ニ重ク持ッテ行クト云フコトハセヌデモヤッテ行ケルノデアリマス、勿論社會保險デアリマスカラ、金持ガ多少重ク負擔シテ貰ハナケレバナラスコトハ是ハ已ムヲ得ヌノデアリマス、併シ戸數割ニ從來弊害ノアッタヤウニ、非常ニ重イモノニナルコトハナイヤウニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ、此組合ヲ實際ニ行ヒマシテモ、ソレ程心配ハナイノデアル、サウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス、尙ホ此際ニ申上ゲテ置キマスノハ、後程參考資料ト致シマシテ、保險組合ノ事業及ビ其收支ノ概算ニ付キマシテ、私共ガ將來ノ爲ニ例ヲ一ツ起案致シマシタカラ、ソレヲ御手許ニ差上ゲマシテ、是等ノ點ニ

付テ御參考ニ供シタイと思ヒマス

○小林委員 次ニ御尋シタイノハ本案第十七條ノ二項ノ加入問題デアリマス、是ハ「前項ノ規定ニ拘ラズ、組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ世帯ニ屬スル者ヲ包括シテ被保險者ト爲サザルコトヲ得」ト云フコトガ、ドウ云フ意味デ設ケラレタモノカ、今政府委員ノ御答辯ノ通りニ、原則トシテハ十七條ニ依リマシテ、私ハ一應諒承出來タノデアリマスルガ、其次ニ但書ヲ置イテ第二項ニ「前項ノ規定ニ拘ラズ云々」ト云フノガアリマスガ、此事ヲハッキリシテ置キタイと思ヒマス

○廣瀨政府委員 十七條ノ二項ノ規定デアリマスガ、是ハ斯ウ云フ意味デゴザイマス、「前項ノ規定ニ拘ラズ組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ世帯ニ屬スル者ヲ包括シテ」茲ニ意味ガアルノデアリマシテ、「包括シテ被保險者ト爲サザルコトヲ得」是ハ除外例ノ規約ヲ茲ニ舉ゲテ居ルノデアリマス、何處マデモ十七條ノ一項ガ本則デアリマシテ、組合ハ組合員及組合員ノ世帯ニ屬スル者ヲ以テ其被保險者トスルノガ原則デアリマス、併ナガラ特別組合等ニ於キマシテ、組合員ダケヲ以テ被保險者ニシヨウ、サウシテ其家族ハ被保險者トシナイデ行カ

ウト云フヤウナ場合ニハ、其家族ノ中ノ一人カ二人ヲ被保險者ニシテ、残りヲ被保險者ニシナイト云フヤウナコトガアツテハ困ル、サウ云フコトガアルト、身體ノ弱イ者ガ被保險者ニナルト云フヤウナ色々弊害ガ生ジマス、ソコデサウ云フヤウナ特別組合ニ於テ、組合員ダケ被保險者ニナツテ、家族ノ被保險者ハ止サウト云フ場合ニハ、包括シテ家族全體ヲ除イテ貰ヒタイト云フコトノ意味デアリマシテ、是ハ特別組合等ニ對スル除外例ノ規定デアリマス、此項ガナイト所謂逆選擇ノ弊害ガアリマスノデ特ニ之ヲ置イタノデアリマス、農村等ニ於キマシテハ、ヤハリ第十七條ノ一項ノ本則ヲ以テ進メタイ、斯ウ云フ工合デアリマス

○小林委員 先程ノ御説明ノ地方ノ負擔デアリマスガ、三圓程度ト申サレル、三圓ノ負擔ハ醫療費ニ當テ、居ッタモノガ保險料ニナルカラ何デモナイト御話ニナリマシタケレドモ、先程計數デ舉ゲラレマシタ所ノ一萬五千圓トカ、或ハ二萬圓トカ云フモノヲ、一村カラ現金デ出シ得ルモノデアッタナラバ、今ノ社會局長官ノ御説明ノ通りニ是ガ容易ク出來ルモノデアッタナラバ何モ憂フル所ハナイノデアリマス、ドウシテモ此經費ノ負擔ト云フコトニ付テハ、モウ少

シ根本的ニ考ヘテ置カレヌト云フト、現金ト云フモノハ農村ニハ無イカラ叫ガ大キクナル、其現金ハ一年ニ、假ニ千戸アツタスレバ、二萬五千圓、其内五千圓補助ヲ戴ク、サウスルトアトノ二萬圓ト云フモノハ、ドウシテモ税金ノヤウニ徴收サレナケレバナラヌノデアル、此實行ガ果シテ出來ルカドウカト云フコトニ付テ十分御考慮ヲシテ置カレル必要ガアリハセンカト私ハ思フノデアリマス、更ニ又モウ一ツハ財産ガアツテ自力ニ依ッテ醫療ヲ受ケル者ハ、此組合員タラシメナイ、是ハ都會地ニ於テハ相當ノ複雑シタル狀態ニ於テ醫者ノ數モ澤山アリ、又色々複雑ナル生活狀態ニアルカラ、是ハ必要デアリマスケレドモ、農村ニ於テハ是ハ寧ロ反對、農漁山村等ニ於キマシテハ、斯ウ云フ規定ハ適用シナイ方ガ宜イ、適用シナイト云フノデヤナイ、斯ウ云フ規定ガアツテハイケナイ、早イ話ガ資產家ガ之ニ加入シナイ、自力ヲ以テ醫療ヲ受ケ得ル者ガ加入シナイコト、ナツテ居リマスカラ、是ハ私ノ考、亦此法ノ精神カラ言ヒマシテモ、隣保相愛ノ實ヲ舉ゲテ行ク上ニ金持ハ除外シテシマツテ、組合員トシテハ中、小階級ニ限ルト云フコトハ、町村ニ於テ殊ニ農村ナドニ於テサウシマス、費用ノ負擔ナ

ドモ貧乏人ダケデヤルト云フコトニナツテシマヒマス、私ハ矢張り資產階級即チ町村ノ上層階級モ加入セシメ相當ノ間差ヲ設ケテ、サウシテ分擔ヲセシメテ行クト云フコトハ、是ハ寧ロ此法ノ精神ダナケレバナラヌト斯ウ思フ、ソレガ本當ノ社會政策的ノ施設デヤナイカ、金持ダケハ除外スルト云フコトデアリマシタナラバ、費用負擔ニ於テ非常ニ金持ガ助カルノデアリマセウ、ケレドモ一面カラ云フト秩序的ニ面白クナイ問題ガ起ル、醇風美俗ヲ寧ロ害スルコトニナリハシナイカ、一村民ガ上下一體トナリ結束シ何事モ共助シテ來タ美風ガ覆サレルコトニナリハセヌカ、政府當局ハ此點ニ就テ考慮セラレタカドウカ、私ハ思フ、是ハ寧ロ一律ニ加入セシメタ方ガ宜イと思フ、此コトハ將來町村ノ自治ノ發達ニモ影響シテ行クコトデアリマスカラ、町村一帯主義ノ方ガ宜イト私ハ考ヘテ居リマスルガ、當局ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○廣瀨政府委員 農村ノ實情ニ關シテノ御説ハ洵ニ御尤ニ存ジマス、私共モ農村ニ於キマシテハ多額ノ收入ノアル者モ成ベク入ッテ貰ヒタイト云フ切ナル希望ヲ持ッテ居リマスルガ、唯社會保險トシテ國庫ガ補助

スルノニ付キマシテハ、ヤハリ中産及ビソ
レ以下ノ經濟上ノ弱者ヲ第一ノ對象ト致シ
テ居リマスノデ、多額ノ收入アル者ハ必ズ
入レト云フ強制マデハセヌ、希望トシテハ
出來ルダケ入ッテ貰ヒタイ、又サウ云フ工合
ニ指導スル積リデアリマス、御説ノ點ハ洵
ニサウ吾々モ考ヘテ居ルノデアリマスル
ガ、唯村ガ特別ノ事情ガアッテ、ソコデ契約
ヲシテ抜カウト思ヘバ、抜ケル、併シ希望
トシテハ吾々トシテハ何處マデモ金持モ
入ッテ貰ヒタイノデス、唯強制シナイト云フ
積リデ居ルノデアリマス、實際問題トシ
テ農村ニ於テハ御説ノヤウニ金持ガ入ッテ
貰フコトガ、非常ニ町村ノ自治等ニ於テモ
適當ダト思ヒマス、是等ノコトニ付テハ吾
吾ハサウ云フ方針デ進メタイト思ヒマス
ガ、法ヲ以テ強制スルト云フコトヲ差控エ
タイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○小林委員 實ハ補助ヲスルノニ金持、資
力ノアル者ニ補助ヲスルト云フ意味ニ解釋
スレバデアリマスガ、私ノ考ヲ以テスルナ
ラバ上層階級ヲ加入セシメテ、サウシテ組
合ノ費用ヲ分擔セシメルト云フコトニナリ
マスレバ、餘程組合ハ助カルノデアリマス
ガ、政府ノ補助ト云フモノガ金持ニモ行ク
トサウ云フ所ノ見方ハ是ハ寧ロ間違ッテ居

ル、實際トハ遠イ、ドウシテモ強制的ニ一
律一體ニシテ、金持ヲ區別シナイ、總テノ
者ヲ組合員タラシメルト云フ風ニ町村ニハ
指導シテ行クベキモノデアルト考ヘマス、
次ニ御伺シタイノハ、分娩、死亡ニ對スル
給付方法ニ付デアリマスルガ、之ニ付テ
モ組合ノ自由トスルト云フコトハ是ハ已ム
ヲ得ナイト致シマシテモ、傷病者又ハ出產
ノ爲ノ勞務不能者ノ場合ノ傷病手當又ハ出
產手當ノ如キモノハ、當然組合ノ事業トシ
テ之ヲ實施スルニアラザレバ、本法制定ノ
目的ハ達成出來ナイ、一家ノ支柱トナル者
ガ病氣シテサウシテ二箇月モ三箇月モ休ン
デ居ッテ困ッテ居ルダケデナシニ、生活費ニ
モ窮シテ居ルガ、一面ニ於テ醫療費ト云フ
モノハ全ク貰フコトガ出來ナイ、斯ウ云ッ
ヤウナコトナドニ付テハ、ドウ云ウ風ニ御
考ヘニナッテ居ラレマセウカ

○廣瀨政府委員 御話ノ傷病手當ノ如キ、
分娩死亡ノ如キモノモ、ソレハヤレ、バ非
常ニ結構デアリマスガ、サウ云フコトニナ
リマス、中々金モ多ク掛ルコトニナラウ
カト思ヒマス、但シ勿論地方ノ實情ニ依リ
マシテ、其農村ニ保險料負擔ノ力ガアレ
バ、傷病手當、分娩死亡等モ或ル程度マデ
ヤラレルコトモ結構ト思ヒマス、併シ是等

ヲ初カラ入レテ掛ルト云フコトニナリマス
ト、中々負擔ノ點ニ於テ苦痛ガアラウカト
思ヒマス、ソレデ此國民健康保險組合ニ於
キマシテハ、先ヅ何ト申シマシテモ醫療ト
云フコトニ付テ出來得ルダケ是ガ徹底ヲ圖
ルト云フノデアリマスガ、手當金マデハマ
ダ延ビナイ次第デアリマス

○小林委員 モウ少シ御伺ヒシマスガ、此
醫療低下ト云フコトハ藥物ニ甲乙丙ガ出來
テ、サウシテ醫療組合ニ對シテ、特ニ加入
シタ爲ニ、醫者ノ方或ハ藥劑師ノ方デ惡イ
藥ヲ盛ラナイト値段ガ引合ハナイ、ソレダ
ケノ藥價ガ取レナイカラ、效キ目ノアル良
イ藥ハ差控ヘテ居デヤラスト云フ例ガ健
康保險法ニ於テ見ラレテ居ル、ソレハドウ
云フ所カラ起ッテ來ルカト云フト、醫者ノ屈
出點數ヲ醫師會デ審査シテ多クハ減點シ
テ居ル狀態デアリマシテ、今度ハ割引サレ
タ上ニ更ニ組合デ決メタ所ノ安イ料金及ビ
代金ヲ支拂フ爲ニ、サウ云ッテ缺陷ガ起ッ
來マス、此國民保險組合ニ於テモヤハリサ
ウ云ッテ點ニ付テ同ジ方法デ行カレル積リ
デアリマセウカドウカ、其點ニ付テモ御尋
ネヲシテ置キタイノデアリマス

○清水政府委員 ソレデハ私カラ御答致シ
マスガ、健康保險ノ方ニ於キマシテハ只今

御述べニナリマシタヤウニ、一率ニ團體契
約式ニヤッテ居リマシテ、本案モサウ云フ風
ニ點數デヤルト云フコトニナッテ居リマス
ガ、國民保險ノ方ハ、澤山組合ガ出來マシ
テ、ソレガ各自治的ニヤル譯デアリマシ
テ、其ヤリ方ハ大體組合ニ任セル、斯ウ云
フコトニナッテ居リマスカラ、必シモ健康保
險ミタイニ、一率ニヤル組合ニナラスト思
ヒマス、隨ヒマシテ今御述べニナリマシタ
ヤウナヤリ方モアリマセウガ、大體トシテ
ハ醫療費ノ下ラヌヤウニト云フコトヲ根本
ニシテ、分ケ方等モ先ヅ今ノ健康保險デ
ヤッテ居ルヤウニ請負デヤッテ結局金ガ下ル
ト云フヤウナコトデナク、大體幾ラ働ケバ
幾ラ貰ヘルト云フヤウニナルヤウニ指導シ
タイト考ヘテ居リマス

○小林委員 細カナコトニ付テ更ニ御伺シ
タイノデアリマスガ、多クノ委員諸君ノ都
合モアリマスカラ、大體是デ私ハ打切りタ
イト思ヒマスガ、最後ニ希望ヲ申上ゲテ置
キタイ

抑、現下ノ我が國情ニ於キマシテハ、政府
ハ國民ノ生活安定ノ爲ニハ幾多ノ施設ヲ致
サネバナリマセヌ、即チ所謂庶政一新ガ其
急進的デアルト漸進的デアルトヲ問ハズ、
又何人ガ政局ヲ擔當スルニ致シマシテモ、

是ハヤラナケレバナラヌヤウニ約束付ケラレテ居ル、例ヘバ行政機構ノ改革トカ、或ハ教育制度ノ刷新デアルトカ、或ハ産業政策ノ確立デアルトカ、財政ノ建直シ、又外交政策ノ確立、其他ノ施設ヲ致サナケレバナラヌデアリマスガ、就中中小商工業者ト農漁山村ノ救済の施設ニ付テハ、是ハ軍備充實ノ急務デアルト一步モ差ハナイノデアリマス、此國民ノ大多數ヲ占ムル所ノ中小商工階級、下層階級、是ハ特ニ農漁山村等ノ窮迫状態ノ救済ニ付テ、政府ハ國防充實ノ上ニ注グト同様ナ明確ナル認識ヲ持ッテ、サウシテ十分ナル熱意ト同情ヲ注ガナケレバナラヌコトデアルト思フノデアリマス、即チ軍備充實ガ政府ノ大使命デアラナラバ、此農漁山村及都會地ノ中小商工業者ノ救済下云フコトモ、ヤハリ政府ノ最大使命ノ一ツデアルト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、兩者ハ必ズ並行的ニ之ヲ實行スルニアラザレバ、單ニ軍備ノ擴充ニ專念シ、他ヲ輕ンズルト云フコトデアッタナラバ、ソレハ恰モ鳥ノ兩翼アルヲ忘レ、車ノ兩輪アルヲ忘レル類デアリマス、偏重、偏輕ハ決シテ國力ノ伸張ト國家ノ安泰ヲ期スル所以テハナイノデアリマスカラ、此點ニ付キマシテ十分ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラ

ヌデアリマス、此意味ニ於キマシテ茲ニ御提案ニナツタ所ノ國民健康保險法案ハ、國民ノ醫療の社會化ニヨリ國民體位ノ向上ヲ計リ、一面其經濟的救済ヲ期シヤウトスル社會政策的ノ大ナル使命ヲ持ッテ居ル、從テ此案ノ成否ハ政府ノ面目ニモ關スル所ノ大キナ問題デアリマスルニ拘ラズ其内容ガ甚ダ貧弱デアル、又不徹底ナ點モアリマスガ、斯ルコトハ暫ク別ト致シマシテ、本案ニ就テハ多數國民カラ非常ナ希望ヲ囑サレテ居ル所ノ新施設デアリマスカラ、政府ハ此際萬難ヲ排シテ之ヲ實施スル、斯ウ云フコトニ致サナケレバナラス、ソレデアリマスカラ、此根本ノ趣旨ヲ貫ク爲ニハ多少本案ニ對スル修正等ヲ忍ンデ、サウシテ是ガ實行ヲ期スルヤウニ、政府ノ方デモ寧ロ是ハ忍ビ難イ所ヲ忍ンデ貫フノデアリマスカラ、政府ハ此儘原案ヲ通過スルコトニ依ッテ面目ヲ保ツト云フコトヲ考ヘズニ、其根本ノ目的ヲ達スル爲ニハ、十分此點ニ付テ考慮ヲ致サレテ、障礙トナル點等ハ修正ヲシテモ、之ヲ通過スルト云フコトニ讓歩的ノ態度ヲ以テ是非善處サレンコトヲ希望致シテ置キマス

○添田委員長 次ハ石坂君ノ順ニナッテ居リマスガ、石坂君ハ御見エニナリマセヌカラ、中崎君

○中崎委員 私ハ本案ノ重大性ニ鑑ミマシテ、實ハ第一ニ總理大臣ニ御伺シタイノデアリマス、第二ニハ內務大臣、第三ニ農林大臣、第四ニ逓信大臣、第五ニ陸軍大臣ニ御伺シタイノデアリマス、併ナガラ今日ハ總理大臣ノ御出席ヲ得マセヌ、各大臣ノ御出席モ得マセヌノデ、甚ダ遺憾デアリマス、先ヅ第一ニ委員長ニ伺ヒマスガ、本案ノ審議ニ當リマシテ、吾々ノ要求ヲ致シマスル各大臣ノ御出席ヲ煩スコトガ出來ルカ否ヤト云フコトニ付テ委員長ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○添田委員長 政府ノ方ニ交渉ヲ致シマセウ

○中崎委員 然ラバ本日ハ總理大臣ノ御出席ハ困難ト思ヒマスル故ニ、總理大臣ニ對スル質問ハ後日ニ讓リマシテ、第一ニ內務大臣ノ御出席ヲ要望シタイノデアリマス、ト言ッテ社會局長官或ハ衛生局長ガ御出席デアリマスガ、此兩君ニ對シテ敢テ忌避スル意味デハナイノデアリマス、ヤハリ私トシテハ大問題デアル故ニ、內務大臣トシテ責任アル御答辯ヲ伺ヒタイ爲ニ、是非トモ御出席ヲ煩ハシタク存ジマスガ、此點委員長ノ御取計ヒハ如何デアリマセウカ

○添田委員長 御答シマスガ、內務大臣ハ今本會議ニ出デ居ラレルサウデス、是カラ一ツ交渉ヲシマスガ、內務大臣ノ出席マデニ他ノ政府委員ニ聽クコトハナイノデスカ

○中崎委員 事務的ノ事ニ付キマシテハ御伺シテモ宜シイ所モアリマスケレドモ、唯順序ト致シマシテ、先ヅ內務大臣ノ答辯ヲ得テ置イデカラ、後ニ長官ヤ或ハ局長ニ御質問ヲシタイノデアリマス、其間私ハドナタカ他ノ方ニ御譲リ致シマシテモ、是非トモ私ハ先ヅ內務大臣ノ御出席ヲ得テ伺ヒタイコトガアルノデアリマス

○小林委員 私ハ先程冒頭ニ申上ゲマシタ通り內務大臣ニ更ニ御質問ヲシナケレバナラヌコトガ殘ッテ居リマスカラ、此點ハ留保シテ居ルコトヲ御諒承願ヒマス

○添田委員長 ソレデハ此儘デ一寸休憩致シマス

午後二時五十二分休憩

午後二時五十八分開議

○添田委員長 ソレデハ再開ヲ致シマス

——中崎君

○中崎委員 私ハ前刻申上ゲマシタ通り、此國民健康保險法案ニ對シマシテハ、最モ強イ關心ヲ實ハ持ッテ居ルノデアリマス、

併シ此法案ニ對シマシテハ、又實ニ重大ナル性質ヲ含シテ居リマスル爲ニ、ドウシテモ私ハ此法案ハ此議會ニ於テ通過スルコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、併シ通過スルコトハ希望致シマスルケレドモ、此法案ニ對シテ詳細ニ檢討致シマスル結果ハ、又何トシテモ或ル一部ノ修正ヲ希望セナケレバナラヌト云フヤウナ點ガアルノデアリマスル故ニ、私ハ内務大臣ト致シマシテ此重要ナル法案ニ對シ、ドウ云フ考ヲ以テ御進ミニナルノカヲ伺ハナケレバナラヌ爲ニ、實ハ御臨席ヲ是非共ト申シテ御願ヲシタヤウナ次第デアリマス、凡ソ私バカリデナク、此委員會ノ各員全部ハ、ヤハリ左様ナ御考ノ下ニ居ラレルト思フノデアリマス、又議員全部ノ人ガ、サウ云フ考デアアルコトモ想像ニ難クナイト思ヒマス、何レモ第九條ノ削除デアルトカ、或ハ醫師會團體契約權ノ確立デアルトカ云フヤウナコトヲ申サレマスケレドモ、マダ併シソレ以上ニモット御尋ラシテ、御答辯ヲ煩サシケレバナラヌヤウナコトガ多々アルト、私ハ信ジテ居ルノデアリマス、第一ニ私ガ内務大臣ニ御伺致シマスコトハ、此國民保險法案ヲ草案致シマスルニ付テ、何ヲ根據トシテ、此草案ガ出來タカト云フコトヲ伺ッテ置キタイノ

デアリマス、而シテ先ヅ御伺スル順序ト致シマシテ、現在實行サレテ居ル健康保險法ナルモノハ、今日實施サレテカラ約十年ニナリマスルガ、此十箇年ニ於ケル健康保險法ニ對シテ、政府ハ一體ドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレルカラ、先以テ御伺ヲシタイノデアリマス、此現在行ハレテ居ル健康保險法ナルモノハ、果シテ政府ガ期待サレタ如キ成功ヲ收メテ居ルカドウカ、私共ヲ以テ致シマスレバ、現在ノ此保險法ノ被保險者ハ、非常ニ現在ノ醫療制度ニ對シテ不滿ヲ懷イテ居ルト思ッテ居ルノデス、又醫師會側ト致シマシテモ、現在ノ保險法ニ對シマシテハ、洵ニ不自由ヲ感ジテ居リハセヌカト思ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、内務大臣ハ先以テ是カラ行ハントスル保險法案デナク、現在行ッテ居ル法案ガ、ドウ云フ程度ニアルカラ御承知ニナッテ居ルカドウカ、此事實ニ付テ私ハ先ヅ御伺ヲ致シタイ

○河原田國務大臣 從來ノ勞働者ヲ目標トシマス健康保險法ノ成績ニ付テハ、是ハ私ガ申ス迄モナク、三百萬ト云フ人ヲ網羅シテ居ルノデアリマスカラ、或ハ中ニハ不滿ノ人モアリマセウ、併ナガラ大體ニ於テハ私成功シテ居ルト云フコトヲ信ズル者デアリマス、ト云フノハ今マデ病氣ニナッテモ、中々直グ安心シテ醫療ガ出來ナイト云フヤウナ狀況ニアッタ者ガ、兎モ角安心シテ醫者ニモカ、リ、藥モ飲メル、斯ウ云フノデアリマスカラ、大體其點ニ於テヤハリ社會政策的ノ施設トシテハ、國家トシテ成功シテ居ル、中ニハ御話ノヤウニ多勢ノ人デスカラ、多少ノ不滿ハアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ成功ト申シテ宜シクナイカ、斯ウ思ヒマス、併シ尙ホ詳細ノコトニ付テハ、私ヨリ政府委員ノ方ガ詳シイノデゴザイマスカラ、細カイ御尋ハ政府委員カラ御答スルコトニ致シマス

○中崎委員 只今ノ内務大臣ノ御答ハ全ク抽象的デアリマシテ、御承知ノナイト云フコトガ事實デアルト思ヒマス、併ナガラ今回提出サレマシタ此國民保險法案ト云フ大問題ヲ解決スルノニハ、少クトモ現在行ッテ居ル所ノ保險法ガ、ドウ云フ成績ヲ收メテ居ルカト云フコトニ付テ、先ヅ御檢討ニナラナケレバナラヌモノト思フノデアリマス、成程本法案ガ前内閣ノ時ニ立案サレテ居ルコトハ事實デアリマスノデ、現内務大臣ハ恐ラク此内容ニ付テ、深い檢討ヲサレテ居ラヌト云フコトハ御察シガ出來マスガ、只今ノ御説明ニ依ッテハ全ク抽象的デアッテ捉マヘ所ガナイ、併シ私ハ決シテ其御答辯ニハ満足ハ出來マセヌ、先ヅ大體ヲ申シマスルト、現在ノ被保險者側ハ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リハシナイデセウカ、ドウモ醫者ニカ、ッテ見ルケレドモ、醫者ハ吾々ヲ差別待遇スル、一般ノ患者ニ對シテハ二劑吳レルモノヲ、吾々ニ對シテハ藥價ガ安イト云フ關係カ、藥モ一劑シカ吳レナイ、其他ノ方面カラ考ヘテモ、ドウモ吾々ハ満足ガ出來得ナイト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルデハナイデセウカ、是ハ私ハ社會局長官ニ於テハ、詳シク御承知デナクチャナラヌト思フ、又醫者側カラ申シマスルト、今日ノ一日ノ治療費ハ幾ラニナッテ居ルカ、一日十二錢カ十三錢ノ實ニ低イ藥價ニシカ當ラヌノデアリマス、而シテソレガ一日分必ズ一劑ヲ投ズルノデハナイ、必要ナラバ二劑モ三劑モヤラネバナラヌ、サウ云フコトデヤッテ、結局一日分ノ藥價ノ平均ガ十二三錢ニシカ當ラヌト云フヤウナコトデアアルノデアリマス、斯ウ云フ狀況デアリマシテ、本當ノ治療ト云フモノガ出來得マセウカ、醫者ノ側カラ申シマスレバ、一日十二錢ノ藥價ニ於テ、ドウシテ本當ノ治療ガ出來マセウカ、私ハ洵ニサ、ヤカナル病院ヲ一ツ經營シテ居ルノデアリマスルガ、何時カモ丁度

衛生局長ノオ居デノ席デアッタケレドモ、申上ゲタコトガアリマス、私ノ病院デ今日一日ノ患者ニ對シマスル原料ヲ調べテ見マズルト、二十四錢幾ラニ當ッテ居リマス、是ハ原料デス、本當ノ藥ノ原價ト、ソレカラ治療材料ノ原價、是デ一日ニ二十四錢幾ラヲ要シテ居ルト云フヤウナ場合ニ、十二錢カ十三錢シカ與ヘラレナイ藥價ニ於テ、有ユル方面ノ費用ヲ其中ニ含メテ居ッテ、醫者ガドウシテ本當ノ治療ガ出來マセウ、其爲ニ醫者ガ自分ノ身錢ヲ切ッテ迄、本當ノ治療ヲスルコトガ出來ナイト云フヤウナ結果、只今ノヤウナ被保險者ニ對シマシテ、思ヒナガラモ是ハ二劑ヤラナケレバナラヌト云フヤウナ考ガブッテモ、一劑デ間ニ合セル、又日本醫師會ニ於テモ、是ハドウモ二劑モ三劑モト云フヤウナ贅澤ナ治療ハ困ルト云フヤウナコトデ、結局ヤハリ保險醫ハ被保險者ニ對シテ、一劑主義ヲ今日デハ嚴重ニ守ッテ居ルヤウナ狀態デアリマス、是ハ何ニ依ッテサウ云フヤウニナッテ居ルカト云ヘバ、現在ノ保險料ガ少イト云フ結果ニアルノデアリマス、其外ニハ何モアリハセヌ、醫者ハヤハリ相當ノ成績ヲ收メ、サウシテ病人ヲ治シタイト云フコトハ、是ハ醫者トシテノ本分デアリマス、又醫者トシテハソレ以上

病人ニ對シテノ希望ハナイノデアリマス、重病ナ患者デアレバ、其重病ナ人ヲ治シテ見タイト云フ氣分ハ、是ハ溢レル程醫者ハ持つテ居ル、併ナガラ今申シタ通り、毎日毎自身錢ヲ切ッテ、十二錢カ十三錢ノ低イ單價ヲ以テ完全ナ治療ハ爲シ得ナイ、サウ云フコトヲ御承知ニナッテ居ル等デアルノニ、今回提出サレタ此健康保險法案ナルモノハ、其費用ノ點ニモ吾々ハ疑ヲ置カネバナラスノデアリマス、是ハ何レ其時ニ於テ又御伺ヲ致シマスルガ、尙ホ續イテ内務大臣以外ノ社會局長官デ結構デアリマスルカラ、現在ノ健康保險法ノ成績ニ付テ、モウ少シ明細ナル自信ノアル御答辯ヲ得タイト、私ハ思フノデアリマス

○廣瀨政府委員 只今ノ健康保險法ノ實績ニ付テノ御質問ニ付テ御答申上ゲマスガ、御話ノヤウニ差別待遇ト云フヤウナコトニ付テ、從來其聲ヲ聞イテ居ッタノデアリマス、是ハ甚ダ遺憾ナコトデアリマシテ、是等ノ點ニ付キマシテハ、毎年日本醫師會ト社會局トガ契約ヲ致シ、サウシテ御互ニ此方面ニ付テ協力ヲ致シテ、保險醫ニ於テサウ云フヤウナコトノナイヤウニ、出來ルダケノ努力ハ致シテ居ルノデアリマス、段々ニ斯ノ如キ弊風ハ改メラレツ、アルモノト信

ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ治療費ノ問題デアリマスガ、之ニ付キマシテハ是ハヤハリ社會保險ノコトモアリマスルシ、尙ホ十分ニハ金ノ支出ガ出來テ居ラヌトモ思ヒマスルガ、併シ今ノ私共ノ方ノ見テ居ル所デハ、只今ノ外來ノ者ニ對スル一日分ハドノ位ニナッテ居ルカト云フト、約十九錢位ニナッテ居リマス、又入院ニ付キマシテハ約二圓五六錢位ニナッテ居ル等デアリマス、シテ見マスルト、ヤハリ此位ノ點デ相當ナコトハ出來得ルノデハナイカ、之ヲ從來此種ノ制度ガナカタ時ニ較ベマスルナラバ、ソレハ又非常ニ今日ハ進ンダ結果ヲ得テ居ルノデハナイカト私共ハ思ッテ居リマス、隨ヒマシテ大體ニ於テ健康保險ノ成績ト云フモノハ、相當ナ成績ヲ擧ゲテ居ルモノデアアル、尙ホ健康保險ノ實施ニ付キマシテハ、醫師會トモ色々協力シテ漸次改善シツ、アルノデアリマスカラ、先ヅ相當ナ成績ヲ擧ゲツ、アルモノト思ッテ居リマス

○中崎委員 只今ノ當局ノ御説明ニ依リマスト、現在ノ健康保險法ガ成績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトニ、御認メニナッテ居ルヤウデアリマスガ、非常ニ是ハ御間違ニナッテ居ル見當デアルト思フノデアリマス、私ハ現在縣ノ縣醫師會長ヲシテ居リマスル關係ヨリ致シマシテ、毎月保險醫ノ審査ニモ當ッテ居ル、保險醫ヨリ出シマスル請求書ノ審査等ヲモ、自ラ其事務ヲ執ッテ居ルノデアリマスルガ、定ニ私ノ縣ナドハ悲慘ナルモノデアアル、例ヘバ——此處デハ醫者以外ノ人ニハ御迷惑デアアルカモ知ラスケレドモ、一點單價ト言ヒマスルガ、是ハ醫者デナケレバ分ラヌ文字デ、他ノ委員ノ方ニハ大變御迷惑デアリマスガ、其單價點數ヲ請求致シテ來ル、其點數ヲ調べテ見マスルト、尤モナンデス、何レモ請求サレテ來ル點數ハ尤モデアアル、至當ノ請求デアアル、併ナガラ審査會ニ於テ之ヲ何レモ認メテシマフト云フコトニナルト、殆ド一日ノ藥價ハ或ハ五六錢位ニ低下スルノデハナイカト思フノデアリマス、已ムヲ得ズシテ審査會ニ於テハ、是モ不必要ナ治療デアラウ、是モ不必要ナ投藥デアラウト云フヤウナ意味ニ於テ、萬已ムヲ得ザル藥價ノミヲ計上シテ、僅ニ一日分ガ前刻モ申上ゲタ通り十三四錢シカ當ラヌノデアアル、斯ウ云フコトデアアルノニ、社會局ハ此保險法ガ成績ヲ擧ゲテ居ル、或ハ此法ニ依ッテ多クノ人ガ救ハレテ居ルト云フヤウナコトハ、ソレハコチラノ内務省ニオ居デニナッテハ、左様

ニ御感ジニナルカモ知レヌガ、地方ノ保健課カラ色々報告ガアリマセウガ、其報告ニ依ッテ御調ニナレバ、或ハ左様ニ御覽ニナル

カモ知レヌケレドモ、實際ノ所、長官ナリ、或ハ相當ノ御方ガ毎月ニ互ッテ各府縣ニ於テ審査ヲ致シマスル狀態ダケデモ御調ベニ

ナッタナラバ、私ハ實ニ呆然タルヤウナコトガアリハセヌカト思フノデアリマス、被保險者ニ對シマシテモ非常ニ氣ノ毒デアリ、一

方ハ保險醫ニ對シテ何トモ申シ様ノナイヤウナ御考ガ出ナケレバナラヌト思フ、然ルニ昨日デアリマシタカ、内務大臣ノ御答辯

ト思ッテ居リマスルガ、田中君ノ昨日ノ質問ノ場合ニ、數千萬圓ノ貯金ガ出來テ居ル、所謂剩餘金ガ出來テ居ルト云フコトニ對シ

テ、内務大臣ガ千二三百萬圓ノ剩餘金ガアルカノヤウナ御答辯ガアッタノデアリマス、是ハ千二三百萬圓デモ宜シイケレドモ、ソ

レダケ多額ノ金ヲ殘シナガラ、而モ治療費ニ對シテハ、醫師ニ不自由ナ思フ致サセ、被保險者ニ不滿ヲ治療ヲ受ケサセ、而モ顧ミ

ズ、是デ十分ナル成績ガ舉ッテ居ル、或ハ現在ノ保險法デ澤山デアルト云フヤウナ御考ノ下ニ居ラレ、而シテ今回提出サレタ所ノ法

案ヲ、之ヲ草案サレタト云フニ於テハ、其根柢カラシテ間違ッテ居リハセヌカト思フ、

千二三百萬圓モ健康保險法ニ於テ剩餘金ガ出來ツ、アルナラバ、尙ホ一層進ンデ現在ノ健康保健法ニ一大改革ヲ加ヘテ、患者モ

喜ビ、醫者モ苦シマナイ程度ノ措置ヲスルコトガ出來ナイノデアルカ、政府ハ之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ

○河原田國務大臣 此間ノ私ノ申上ゲタコトニ關聯シテ居リマスカラ、其點ニ付テダケ私カラ申上ゲテ置キマス、過日本會議デ

申上ゲマシタヤウニ、從來ノ健康保險制度ニ於テハ、組合ノ方ニハヤハリ少クモ一年分ダケノモノハ、保管シテ置カナケレバナ

ラヌ、所謂備荒貯蓄ニデス、ト云フノハ萬一「インフルエンザ」ガ非常ニ流行シタリ、或ハ傳染病ガ非常ニ流行ヲ來スト云フ場合

ノ準備ノ爲ニ、一年分程ノ積立金ヲ積立テ置カナケレバナラヌト云フコトハ、法律デ決ッテ居ル、隨テ組合ニ命ジテ置イテ、政府

管掌ノ方ハドウデモ宜イト云フ譯ニ行キマセヌカラ、政府管掌ニ於テモ、一年分ヲ積立テル方針デヤッテ居ル、一年分ノ金ガ三千

萬圓ト云フコトデアリマスカラ、一千二三百萬圓アリマスカラ、マダ一年分ノ所マデ到達シナイ、ソレハ萬一ノ場合ヲ慮ッテ、何

年デアリマシタカ、非常ニ流行性感胃ノ流行ッタコトガアリマシタガ、サウ云フヤウナ

コトヲ考ヘテ行カナケレバナラヌカラ、今餘ッタ金モ積立テ置カナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ次第デアリマス、現在ノ制度ニ付キマシテモ、是ハドウモ完全無缺ナモノ

トハ思ハレヌデアラウ、日本ノ財政ガ裕福デアリ、潤澤ナラバ、モット出シテ完全ニスルコトハ、ドウモ望マシイコトデアリマ

スガ、サウ何デモ彼デモ行ク譯ニ行キマセヌカラ、社會政策ノ見地カラ大局論ヲシテ、サウシテヤハリ多數ノ國民、所謂今マデ醫

療ヲ安ジテ受ケ得ナカタヤウナ側ニ安ジテ、少クモオ醫者サンニ掛カレル、オ醫者サンノ藥モ飲メルト云フコトハ、今日ノ社

會制度ニ於テ必要デアル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

○中崎委員 只今ノ内務大臣ノ御説明デハ、三千萬圓程度マデハ何等カノ法規カ何カ決ッテ居ルヤウデアリマス、サウ云フ

ヤウナ御答辯デシタガ、ソレハ伺ッテ居リマセヌ、何ニ規定シテアリマセウカ、ソレガアッタトスレバ、實施ニ付テノ社會

局ノ内規カ何カアルノデセウカ、私ハ現在ノ保險法、之ニ依ッテ第一回ノ御説明當時ニ伺ッタコトヲ記憶シテ居リマ

スガ、此健康保險ノ經濟ガ果シテ是デ行ケルカドウカ、洵ニ憂慮ニ堪ヘナ

イト云フ御説明デアッタト、私ハ記憶シテ居ル、初メカラ三千萬圓ヲ目的ニ三千萬圓ノ剩餘金ヲ作ッテ積立金ヲスルト云フ

ヤウナ御意見ハ、未ダ曾テ伺ッタコトガナイ、成程ソレハ銀行デアルトカ、組合デアルトカ、別ナモノデアルナラバ是ハ致シ方

ガナイ、今ノ保險法ノヤウナモノハ「若シコレヲ」ノ流行ガアル、或ハ「ベスト」ノ流行ガアル、洵ニ不祥事デハアルケレドモ、

國家ニ左様ナ大流行デモアルヤウナ場合ニハ、國家ガ其時當然出スノガ當リ前デハナイデセウカ、初メカラ何モサウ云フモノヲ

豫期シテ積立金ヲシテ、剩餘金作ッテマデモ、現在苦ンデ居ル問題ヲ、何等顧ミル所

ガナイト云フヤウナコトハ、私ハ甚ダ不當デアルト思フ、ドウモ私ハ只今ノ内務大臣

ノ御説明ニ對シテハ、益々妙ナ感ジラスルノデアリマス、一方ニハ金ヲ積ンデ置ク、サウシテ被保險者ガ只今不自由ナ治療モ辛

抱シテ居ル、醫者モ甚ダ困ルト云フヤウナノニモ拘ラズ、積立金ヲ厲行シテ居ッテ、サウシテ其不自由ヲ忍ブ、不自由デモ仕方

ナイ、是デモヤハリ無イヨリハ有ル方ガ宜イ、ソレハ有ル方ガ宜イニハ決マッテ居ル、併ナガラ國家ガ斯様ナ法ヲ出ス以上ハ、モ

ウ少シ何レニモ左様ナ極端ナ不自由ヲ掛ケ

ナイ程度ノモノデナケレバナラスト私ハ思フ、之ヲ何トカ御改メニナル御考ハナイデセウカ

○廣瀨政府委員 只今内務大臣カラ大體ノコトヲ御答申上ゲタノデアリマスガ、御承知ノヤウニ現行ノ健康保險法ニ於キマシテ工場、鑛山ノ大キイ所デハ健康保險組合ヲ

作りマシテ、勞働者ノ健康保險ニ當ッテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテハヤハリ組合法施行令——勅令デアリマスガ、勅令ニ特ニ規定ヲ設ケマシテ、保險給付ニ要スル費用ノ一箇年分ハ、之ヲ蓄積スルヤウニ

ト云フ規定ガアルノデアリマス、ソレカラ政府ノ方ノコトニ付キマシテハ、是ハヤハリ健康保險ノ爲ニ、政府管掌ノ大キナ特別會計ガ出來テ居ルノデアリマシテ、之ニ對シテハ大體組合ニ對シテ要求シテ居ルヤウ

ニ、一箇年分位ノ金ヲ歲計剩餘カラ逐次ニ溜メテ行ク、サウ致シマシテ特別會計ノ基本ヲ確實ニ致シテ行クト云フコトガ、傳染病其他ノ大流行等ニ際シマシテ、適當ナ準備方法デアルト云フノデ、此政府管掌ノ國

ノ特別會計ノ中ニ、此種ノ規定ガアルノデアリマス、其方針ニ基キマシテ、一箇年ニ五分宛溜メマシテ、二十箇年位ノ計畫デ行カウト云フヤウナ計畫ニナッテ居ルノデア

リマス、勿論唯徒ニ金ヲ溜メルト云フヤウナ意味デハアリマセヌ、特別會計デアリマスルカラ、ヤハリ特別會計ノ基礎ヲ考ヘナケレバナラスト云フノデ、此制度ヲ立デ、又其方針ニ從ッテ施行ヲ致シタイト思ッテ居ル譯デアリマス

○中崎委員 只今ノ長官ノ御説明デアリマスルガ、何カ後デ施行法カ何カヲ御決メニナル意嚮デアルト云フコトデアッタノデアリマス、成程ソレハ今ノヤウナコトハ、多

少デモ金ガ餘ルト云フコトガ分ッテ來タ爲ニ、或ハサウ云フコトニナッタコト、思フノデアリマス、私共此法律ヲ立案サレル時ニ、ヤハリ醫師會デ説明ヲナサレタコトヲ

記憶シテ居ル、其當時ハ寧ロ之ニ依ッテ保險經濟ガ果シテドウ云フヤウニ行クダラウカト云フコトヲ、非常ニ憂慮サレテ、私

共ニ演說サレタコトヲ記憶シテ居ル、サウ云フコトデアッタノデ、初メカラ治療費ヲ下ゲルトカ、被保險者ニ左様ナ不自由ナ思ヒヲサシテ迄ト云フヤウナ御考ハナカッタ、所

ガ其後ニ於テ全ク治療費ト云フモノニ付テ大干渉ヲ加ヘテ、サウシテ是レ以上ハ政府ハ出セヌトカ、出ストカ云フヤウナコトヲ毎年ノヤウニ繰返シテ居ッテ、サウシテ今日ノ所幾ラカ宛デモ、其費用ガ剩ッタト云フ

ヤウナコトカラ、只今ノヤウナコトデアリマスガ、私ハ前回政府ノ方ノ御答辯ノヤウニ、例ヘバ「インフルエンザ」ガ出來タ、サウ云フ流行病ガ流行ルト云フヤウナ時ニハ、是ハ當然臨時費トシテ大支出スルコ

トモ已ムヲ得ヌコトダト思フ、斯様ナモノノ爲ニ今ノ金ヲ積立テ、サウシテ被保險者ニ不自由ヲサセルト云フ必要ハナイト思フガ故ニ、私共ハ是ハ餘リニ諄クナリマス

カラ、此點ニ付テハ政府ハ將來相當ニ考慮ヲシテ、被保險者ノ爲ニモ、亦保險醫ノ爲ニモ、此點ニ付テハ十分考慮サレタイト云フコトヲ希望致シテ置ク次第デアリマス

其次ニ御伺致シマスガ、今回ノ此保險法ヲ草案サレルニ付キマシテ、政府ハ全國ノ國民ノ患者ト云フモノヲ、ドウ云フ所ニ標準ヲ立テ、居ラレルノデアルカ、過般青木

君或ハ田中君ノ御質疑ノ時ニモアッタト思ヒマスガ、當然政府トシテハ此國民保險法案ト云フヤウナ大問題ヲ提出スルニ當ッテハ、先ヅ以テ國民ノ罹病率ヲ御調ニナル必

要ガアルノデアリマス、政府ノ吾々ニ提出サレテ居リマスル資料ヲ見マスルト、僅ニ數箇處、何箇處斯ウ云フ所ニ一ツノ標準ヲ置キマシテ、ソレヲ資料トシテ吾々ニ提出サレテ居ルノデアリマス、吾々ノ同僚カラ

モ言ハレテ居ル通り、此法案ノ大ナル目的ハ、ヤハリ醫療給付デアアルノデアリマス、此醫療給付ニ對シテハ此法案ナルモノハ大革命デアアル、是ハモウ今日マデノ醫療制度ト云フモノガ根柢カラ變ッテ來ルノデアアル、大革命デアアル、ソレデ全國ノ國民ト致シマシテモ、此問題ニ付テハ非常ナ關心ヲ持ッ

テ居ル問題デアアルノデアリマス、所ガ此醫療費ノ問題ヲ算出スルニ當リマシテ、確實ナル數字ヲ持タズシテ、サウシテ此法案ヲ作ッタト云フコトニ付テハ、甚ダ私共ハ怪訝

ニ堪ヘナイノデアリマス、一體何ヲ目標トシテ政府ハ本案ヲ立テラレタノデアルカラ伺ッテ見タイトデアリマス

○廣瀨政府委員 此制度ヲ起草致シマスルニ付キマシテハ、相當ナ基本的ノ調査ハアル積リデアリマス、唯一ツ御斷リ申上ゲテ置キタイトハ、此制度ハ過日來カラ申上

ゲテ居リマスルヤウニ、全國ニ劃一的ニ強制デ以テヤラウト云フヤウナ制度デハナイノデアリマシテ、事業ノ内容等ニ付キマシ

テモ、其地方ノ實情ニ應ジテ適宜施行セシメル、保險料、保險給付ノヤウナ問題ニ付キマシテモ、總テ地方ノ實情ヲ參酌シテ實行ニ當ラシメルト云フ制度デアリマス、隨ヒマシテ全國ニ劃一的ニ強制シテデモヤラ

ウト云フヤウナモノデアリマセヌカラ、此間能力御質問モアリマシタヤウナ、全國ニ向ッテノ病勢調査ト云フヤウナコトマデ致サヌデモ、現在御手許ニ差上ゲマシタ程度ノ調査ヲ基本ニ致シマシテ此制度ヲ立テマシテ、サウシテ尙ホ此實行ニ當リマシテハ、適宜地方ノ實情ニ合フモノヲ執行致セルト云フ立前ヲ取ッタ次第デアリマス

○中崎委員 サウスルト政府ノ只今此法案ニ對シテノ御所見ハ、試験的ニ先ツヤッテ見ヨウト云フヤウナ御所見デアリマスカ

○廣瀨政府委員 イヤ、試験的ニ實行シヨウト云フノデアリマセヌ、苟モ法ヲ作ルノデアリマスカラ、私共ハ確信ヲ持ッテ居ルトデアリマス、唯全國ニ向ッテ一齊ニヤルト云フヤウナモノデアリマスルト、或ハ病勢調査ト云フヤウナコトヲ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウデハナクシテ、地方ノ實情ニ應ジテ、逐次ニ發達セシムルト云フノデアリマスカラ、ソレニ適スル程度ノ參考資料ヲ調査ヲ致シマシテ、之ヲ基本ニ致シマシテ、サウシテ此制度ヲ立テタノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、一律一體ノ全國的ノ調査ハアリマセヌガ、併シ御手許ニ差上ゲタ程度ノ調査ハ致シマシタ、此制度ノ基本ヲ作ルニハ十分デ

アル、而シテ實行ニ當ッテハ、組合ガ自ラ村內ノ實情ニ能ク合セテサウシテ作ル、此作ルモノハ縣ニ於テ之ヲ指導監督ヲ致シマシテ、其地方ノ實情ニ合ハセルト云フ方法デ十分デアル、斯ウ云フ工合ニ信ジテ居ルノデアリマス

○中崎委員 ドウモ如何ニモ不安デ堪ラナイヤウナ御答辯デアルト思フノデアリマス、斯様ナ社會立法デアリ、其社會立法ノ中デモ、最モ重大性ヲ持ッテ居ル、而モ千年以上ノ歴史ヲ持ッテ居ル此醫療制度ニ對シテ、大革命ヲ起スト云フ程ノ問題デアルノニモ拘ラズ、何等ノ確信ガナイ、一ツノ標準ヲ持ッテ居ラス、此數字ノ下ニ醫療費ノ算出ガ一體出ヤウ筭ガナイ、私共ハ前内閣ノ時ニ、内閣ノ統計局ニ於テ五十萬圓カ六十萬圓ノ病勢調査費カ何カノ請求ガアッタノヲ見テ、其時ニ實ハサウ思フタ、是ハ病勢調査ノ豫算ヲ大藏省ニ請求スルニ於テハ、恐ラク此病勢調査ガ完了シテ、確實ナル日本人ノ罹病率ガ現レテカラ、後ニ或ハ此案ガ發案サレルノデハナイカ、斯ウ云フ考ヲ以テ、洵ニ政府ノ措置宜シキヲ得テ居ルト、實ハ考ヘテ居ッタノデアリマス、所ガ今度現内閣ニナッテ見マスルト、其統計局ノ調査費用ハ削除サレテ居ルノデアリマス、而シテ又

其反對ニ本案ハ提出サレテ居ルノデアリマス、斯ウナッテ見ルト、如何ニモ政府ノ此本案ニ對スル標準、自信ト云フモノガ一體何處ニアルカ、ドウ云フ所ノ數字ヲ捉ヘテ、サウシテ本案ノ作成ニ當ッテ居ルカヲ疑ハナケレバナラスノデアル、私ハ一體病勢調査ノ此豫算ヲ、前内閣ニ於テ請求サレタト云フ時ニ、餘リ日本ハ遅キニ失シテ居ル、病勢調査サヘマダ政府ニ於テ出來テ居ラヌト云フコトハ、洵ニ遺憾至極デアルト、斯ウ云フコトヲ私ハ感じテ居ッタ、ソレデモマダ請求スルコトハ洵ニ結構デアリ、前内閣ノ場合ニ於テハソレヲ削除シテナク、大藏省ニ於テモソレヲ認メタノデアル、洵ニ都合ガ好イ、斯ウ思フテ居ッタ、而シテ確實ナル病勢調査ガ行ハレテ後ニ、此大問題デアル國民保險法ト云フヤウナモノガ解決サレルモノト、實ハ確信シテ居ッタノデアリマス、所ガアベコベニナッテシマッタ、斯ウ云フコトニ對シテハ、實ニ其政府ノ所信モ甚ダドウモ疑ハレル、何處ニ根柢ガアルノカト云フコトヲ、私ハドウモ安心シテ御信任ガ出來兼ネルノデアリマスルガ、此病勢調査ニ對シテノ御信念ハ、ドウデアリマスルカ、之ニ付テ御伺ヲ致シタイ

○廣瀨政府委員 御答申上ゲマスガ、此制度ヲ確立致スニ付キマシテ、農村ノ醫療費ノ調査等ニ付キマシテハ、相當ニ調査ヲ致シタノデアリマシテ、ソレハ御手許ニ差上ゲテ居ル中ニ、ソレハ御示シテアル通りデアリマス、此種ノ調査ヲ以テ此制度ヲ樹立スルノニハ十分デアルト云フコトヲ信ジテ致シタノデアリマス、御話ノ病勢調査ト云フコトニ付キマシテハ、ソレハアレバ結構デアリマセウガ、其種ノモノガナクデモ、今回ノ國民健康保險法制定ニ對シテハ、相當ニ調査ヲ致シテ居リマスカラ、ソレヲ基本ニシテ此制度ヲ樹立シテ十分デアルト、斯ウ信ジテ居ルノデアリマス

○中崎委員 病勢調査ハヤッテモヤラヌデモ宜イ、ヤラヌデモ只今政府デ調査シタ何箇村カノ資料ダケデ、澤山デアルト云フヤウナコトデアリマスルガ、如何ニモ心細イモノデヤナイデセウカ、本當ニ七千萬ノ國民ノ健康ヲ保持シ、而モ向上サセヨウト云フ信念ノ下ニ、此法案ガ生レルトスルナラバ、日本國ニ於テ數箇村ノ數字ヲ集メタ位ヲ根據トシテ、此大法案ヲ作ルト云フコトニ至ッテハ、實ニ政府ノ信念ヲ私ハ疑ハザルヲ得ナイ、私ハ此法案ニ對シテハ、全幅ノ贊意ヲ持ッテ居ルノデアリマス、一日モ早ク

此法案が實施サレシコトヲ希望シテ居ルノデアリマスルガ、是ハ百年ノ大計デハナイ、日本國民千年、萬年ノ大計デアリマス、是ハ本當ニ日本國民ノ健康ヲ保持助長スルコトニ付テノ大革命デアル、此法案ニ對シテ今政府が答ヘルヤウナ、僅カナル所ノ資料ヲ根據トシテ、本案ヲ作成スルナンコト云フヤウナコトハ、是ハ實ニ以テノ外ノコトデアリ、私共ハ洵ニ不愉快ニ感ズルノデアリマス、モット／＼大キナ基礎ノ上ニ立テ、本案ハ出來上ラナケレバナラヌ管デアルト私ハ思フノデアリマス、ノミナラズ先キ方ノ御話ニ依ッテ見ルト、劃一的デナйкаラ、ボツ／＼トヤッテ行クノデアルカラ、今ノ所ノ調査デ差支ナイト云フヤウナコトデアルガ、餘リニ是ハ遁辭ニ過ギナイ御答辯デアルト私ハ思フノデアリマス、私ハ實ハ自分ノ縣ニ於キマシテ、特ニ私ノ縣ノ警察部長ニ御願ヲ致シマシテ、昨年全縣下ノ警察ノ人ヲ動員シテ、サウシテ或日ヲ期シテ病勢調査ノ執行ヲ御願致シマシタ、サウシテ私ノ縣デハ實ハ不完全デアルケレドモヤッタ、所ガ如何ニモ不完全デアル、デアルカラ是ハ皆様ノ前ニ確乎タル信念ヲ以テ發表ガ出來マセヌカラシテ、是ダケハ御遠慮ヲ致シマスルケレドモ、此病勢調査ト云フ

ヤウナモノハ、或ル町村ガ、一度ヤ二度調べタ位ノモノデ、出來ルモノデハナイノデアリマス、少クトモ一年ニ於テ春夏秋冬ノ四季ニ涉ッテ、此病人ガドウ云フ程度ニ發生スルト云フヤウナコトヲ、之ヲ二年ナリ三年ナリ續ケテ、サウシテ出來上ッタ數字デナカッタナラバ、完全ナル病勢調査ト云フモノハ、是ハ出來上ラナイ管デアル、ソコニ於テ初メテ其數字ガ生レタ時ニ、是ダケノ病人ガアルモノトスレバ、此病人ヲ治シ、而モ此病人ヲ作ラナイ、所謂豫防醫學ニマデ進シデスルノニハ、斯ウ云フ風ニシナケレバナラヌト云フコトヲ基礎ニシ、ソレヲ標準トシテ、斯様ナ重大ナル法案ハ作り上ゲナケレバナラヌノデアル、所ガソレト之ヲ後先ニシテ、所謂本末顛倒ノ措置ニ出タコトヲ、私ハ洵ニ遺憾トスルノデアル、但シ此問題ハ、是ハ全然其病勢調査ガナカリシト致シマシテモ、此法案ガ根本カラ間違ッテ居ルト云フ意味デハナイノデアリマス、故ニ私ハ本案ノ審議ニ付テ、ソレアルガ故ニ病勢調査ヲ致サナカッタト云フ爲ニ、反對ノ意ヲ表スル者デナインノデアリマスルガ、唯政府ノスル所ハ如何ニモドウモ不完全デアル、私共ガ安心ガ出來ナイト云フコトダケヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス

次ニ御伺ヲ致シタイノデアリマスガ、先キ方モ同僚小林君カラモ色々御質問ガアッタヤウデアリマスルガ、保険料金ノ納入ノ問題デアリマス、是ハ非常ニ私ハ本案ヲ實施後ニ於テ、困難ナルモノデヤナイカト思ッテ居ルノデアリマス、是ハ小林君モ色々ト御叱責ガアッタヤウデアリマスルガ、尙ホ一層私ハ此問題ヲ痛感シテ居ルノデアリマス、現在ニ於テ、地方ニ依リマシテハ、學校ノ教員ノ俸給サヘ支拂フコトガ出來ナイヤウナ町村ガマダ／＼相當アル、斯ウ云フ場合ニ於テ、此問題ヲ先程長官ノ御説明ニ依リマスルト、是ハ普段掛ッテ居ルダケノ醫療費ガ、唯掛金ト云フ名ニ變ルダケデアルノダ、是ハ新ナル税金デハナイノデアリ、掛金デハナイノデアアルカラ一向差支ナイト云フ、洵ニ簡單ニ御取扱デアルケレドモ、是ハドウモ餘リニ町村ノ實情ヲ御知リニナラヌ御答辯デアルト、私ハ思フノデアリマス、今日ノ町村ノ經濟狀態ト云フモノハ、左様ナ簡單ナモノデヤナイノデアリマス、全ク飢エテ居ル子供ニモ食ハセル物ガ無い、病ンデ居ル老人ニ對シマシテモ醫療ヲ加ヘル途ガ無いト云フヤウナ者ガ澤山アル、而シテ町村費ハ無論サウ云フ風ダカラ納メルコトハ出來ナイ、町村長ガ其町村

費ノ徴收ニ當ッテ、強制執行ヲシタクトモソレサヘモ出來ナイ、ヤッテモ差押ヘル物件ガ無い、斯ウ云フ實情ニアルノニ、是ハ從來ノ醫療費ガ掛金ニ變ルダケデアアルカラ、一向差支ナイト云フヤウナ、簡單ナ御考デアルナラバ、私ハ此組合ノ將來ハ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイト思フノデアリマス、本當ニ此組合ガ相當ニ發達シテ行ク見込ガアリマスカ、實ニ私ハ此掛金ノ問題コソ、本法案ノ實施ニ當リマシテ、將來ノ痛ヂヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、モット／＼政府ガ之ヲ掛金ニ依ラズシテ、本當ニ國ガ之ヲ實施スルヤウナコトニマデ行ッテ居レバ宜シイケレドモ、之ヲ組員カラ徴收シテ、サウシテ一人當リ五圓ヅ、ノ平均ニ徴收スルナドト云フヤウナコトハ、ソレハ出セル人モアルガ、出セナイ人ハ一體ドウナル、掛金ヲ出セナカッタ、納メナカッタカラト言ッテ、其者ガ病氣ニナッタ時ニハドウナル、ヤハリ是ハ診テヤラナケレバナラヌダラウ、相當ノ費用ヲ掛ケテ開腹術ト云フヤウナ大キナ手術デモヤッテヤラナケレバナラス、オ前ノ所デヤ未納ガアルカラ、是ハドウモ治療シテヤル譯ニハ行カヌト云フ譯ニハ行カヌ、サウナッタ場合ニ於テ一體ドウ云フ方法ヲナサル積リデアルカ、是等

ニ付テモ相當ノ御考ガアルグラウト思ヒマスルガ、先ヅ其點ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○廣瀨政府委員 保険料ノ納入ノ問題ニ付

テ御心配ノ點ハ御尤デアリマシテ、私共モ色々此點ニ付テハ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、又十分ニ研究ヲ致シテ參リマシタ、先程私ガ申上ゲマシタノハ、決シテ簡單ニ取扱ッタト云フ意味デハアリマセヌノデ、唯保険料ト申シマス、何カ新シイ負擔ノヤウニ御感ジニナルトイケナイト思ヒマシテ、ソレハヤハリ新シイ負擔デハナイノデアル、從來ノ醫療費ガ今回ハ保険料ト云フ形ニナッテ組合ニ納メラレル、サウシテ病人ガ診テ貰ッタ時ニハ、其組合カラ金ガ支拂ハレルト云フコトニナルノデアルト云フコトヲ申上ゲタノデ、決シテ此種ノ金ガサウ易々ト農村ニ於テ負擔セラレルモノデアルト云フヤウニ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌ、併シ此種ノ、病氣ノ爲ニ出ス金デアリマス、隨ヒマシテ私共ノ見ル所デハ、自分ノ病氣ノ爲ニ平素ヨリ用意ヲシテ貯ヘテ置ク、サウシテ事有ッタ時ニ其多數ノ人ノ集メタ力ニ依ッテ救ハレルノデアルト云フコトガ、能ク農村ニ理解サレルナラバ、私ハ是ハ相當出シ易イ經費ニナリハセヌカト

云フ考ヲ持ツノデアリマス、殊ニ場合ニ依リマスレバ、物納ノヤウナコトモ考ヘヤウ、或ハ收納ノ時期等ニ付テモ、適當ナ收穫ノ時期ヲ選ンデモ宜シイト云フヤウナ、地方ノ實情ニ應ジマシタコトヲ、組合ニ於テ自由ニ決メサセマシテ、實情ニ應ジタ態度ヲ執リマスレバ、其點ハ餘程緩和サレ、輕減サレルノデハナイカト思フノデアリマス、

又他面ニ於キマシテ政府ト致シマシテハ、ヤハリ社會政策トシテ相當ナ援助ヲシヨウ、一人當リ當初ハ一圓ノ援助ヲシヨウト云フコトハ、是亦相當ナ此種ノ組合ニ對シテ、農民ガ協力スル一ツノ重大ナル原因ニナリハセヌカト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ此種ノ組合ガ、農村ニ將來生レルコトガ可能ナリヤ否ヤト云フコトニ付テノ御心配ニ付キマシテハ、私共ハ十分ニ此種ノ組合ハ生レル可能性モアルシ、普及スル力モアルト云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマス、又萬々一非常ナル貧乏ノ人間ガアッテ、ドウスルコトモ出來ナイト云フコトニナリマスレバ、是ハ又他ノ方法ニ依ッテ、例ヘバ救護法ト云フヤウナコトモ考ヘラレル一ツノ手段デアル、唯併シ出來得ルコトナラバ、ヤハリ組合ノ隣保相助ノ精神ニ依リマシテ、餘程貧乏ナ人ヲモ助ケ

テヤル、サウシテヤハリ其人ガ自力更生シ得タ場合ニ、組合費ヲ納メルト云フコトニシテ貰ヘルナラバ、是ハ實ニ結構ナ行キ方デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中崎委員 今ノ長官ノ御説明ノヤウナコトニ行ケバ洵ニ結構デアリマス、納メラレナイ時ニ掛ッテ居ッテ、サウシテ自力更生シタ時ニ納メテモ宜イト云フヤウナコトニ行ケバ、洵ニ結構デアリマスガ、併シ中々私ハ左様ナコトニハ行カヌト思フ、例ヘバ或ル時期ヲ選ンデ物納ヲサセルト云フヤウナコトモ、一寸是ハ簡單ニ行ケルヤウニ考ヘラレルト思ヒマスルガ、決シテサウデヤナイ、農村ノ實情ハ其收穫期ニ於テ、物納ノ出來ルヤウナ農民ハ、ソレハ寧ロ中農ニ屬シテ居ル方デアル、ソレヨリモ數ノ多イ貧農ニ至ッテハ、是ハモウ收穫期ニ物納ヲスル程ノ餘裕ヲ持ッテ居ルト云フ者ハアリハシナイ、殊ニ一箇年分モ之ヲ豫納ヲスルト云フコトニナッタナラバ、一世帯ニ付テ約二十五圓ニ相當スルダケノ額ナリ、米ナリヲ納メナケレバナラヌト云フコトニナル、斯ウ云フコトヲ一體出來得ルト、社會局デ御考ニナッテ居ルノガ大間違ダト思フ、サウ云フヤウニ物納デモ何デモ、簡單ニ時期ヲ選ビサヘスレバ行ケルト云フ考ガ、ドウモ

餘程見當違ヒニナッテ居リハセヌカト考ヘテ居ルノデアル、此保険料ノ納入ノコトハ、是ハ困難デヤナイカ、困難デヤナイト云フテモ、全ク御互ノ水掛論ノ御話デアリマスルガ故ニ、私ハ最モ是ガ困難ナコトデアッテ、將來組合ノ發達ニ對シテノ痛デアリハセヌカ、ドウモ町村稅或ハ地方稅サヘモ納メラレナイ、強制執行ヲ受ケテモ納メラレナイ、所ガ其次ニ位スル此醫療費ノ掛金デアリマスルガ故ニ、是ハ中々サウ納メラレルモノデヤナイ、納マラナイト云フモノ、先刻モ言フ通り病人ガ出來レバ診テヤラナケレバナラヌ、外科ノ患者デアレバ、是ハ相當ノ費用ヲ出シテモ手術ヲシナケレバナラヌ、ソレニハ益、掛金ガ多クナル、サウシテ其組合ノ經濟ハ不安ニナッテ來ル、斯ウ云フヤウニ私ハナリハセヌカト云フコトヲ申上ゲマシテ、サウシテ此水掛論ハ先ヅ一時中止シテ、他ノ機會ニ御譲リスルコトニ致シマス

其次ニ伺ヒマスルコトハ、是ハ衛生局長サンノ或ハ主管カモ知レヌノデアリマスルガ、丁度順序トシテ伺ッテ置キマスルガ、出來ルナラバ内務大臣ヨリ御答辯ガアレバ、大變結構ト思フ、現在ノ此法案ニ對シテ問題トナッテ居リマスル故ニ、私ハ政府ノ

所信ヲ伺ヒマスルガ、内務大臣ノ監督下ニアルベキ醫師會ニ對シマシテ、當局ノ認識ハ甚ダドウモ不徹底不透明デアリハセヌカト云フ感ジテ、私ハ持ッテ居ル、現在ノ醫師會ナルモノハ、社會的ニドウ云フ仕事ヲシテ居ルカト云フコトニ付テ、内務大臣ハドウ云フ認識ヲシテ居ルカヲ伺ヒタイノデアリマス、先ヅ私カラ申シマスレバ、現在ノ醫師會ハ社會問題ニ對シマシテハ、實ニ一般ノ人ガ御承知ニナッテ居ラヌ程度ニ、非常ナ努力ヲシテ居ルト云フコトヲ、先ヅ申上ゲタイノデアリマス、例ヘバ第一ニ申上ゲルコトハ濟生會ノコトデアリマス、洵ニ畏多イコトデアアルノ仕事ニ對シマシテ、現在ノ醫師會ガヤラナカッタナラバ一體誰ガヤル、現在ノ醫師會ノ人ガ大帝ノ御聖旨ヲ奉ジテ、濟生會ノ經濟ノ立ツ程度ニ於テ、何等ノ要求モセズ、何等ノ不滿モ懷カズシテ、サウシテ本當ニ是ハ身錢ヲ切ッテ、此濟生會ノ救療事業等ニ醫師會ハ當ッテ居ル、或ハ其他ノ救護法ニ對シテ、各府縣ニ於ケル醫師會ハ、ドウ云フコトヲシテ居ルカ御承知ニナッテ居リマス、或ハ學校醫ヲ奉職ヲスルコトニ當リマシテ、地方醫師會ノ會員ガドウ云フ社會的奉仕ヲシテ居ルカト云フコトヲ御承知ニナッテ居リマス、現在ノ

醫師會ト云フモノガ社會ニ對シマシテ、一般ノ人ノ御承知ニナラナイ以上ノ奉仕ヲシテ居ルト私ハ思フノデアリマス、所ガ過日來ノ此醫師會ニ對シマシテ、色々ノ非難ガアル、私ハ其非難ノアルコトモ敢テ知ラナイ譯デハアリマセヌ、ソレハ五萬ノ多數ノ會員デアリマス故ニ、中ニハ隨分非難ヲ受クベキ者モアルノデアリマス、ソレハ私共能ク承知シテ居ル、隨分不埒ノ醫師ガアル、私共ノ知ッテ居ル程度ニ於テ、サウ云フ人ガ何人カハアリマセウケレドモ、併シ大體ニ於テ此醫師會ト云フモノガ、現在ノ日本ノ社會組織ニ於テ、社會奉仕ヲシテ居ルト云フコトハ全ク是レ以上、少シバカリデハナイト思フ、過般モ内務大臣デアッタカ、仰セラレタケレドモ、靜岡縣ノ醫師會ノ調査ニ依リマシテモ、醫療費ノ負擔ノ出來ナイ者ガ五〇%ニ上ッテ居ル、其五〇%ノ醫療費ノ負擔ニ堪ヘナイ者ニハ、何時デモソレハ醫者自ラガヤハリ奉仕シテ居ル、町村費デモ取ルヤウニ強制執行ハ出來ナイノデアリマス、又現在ノ醫者トシテモ左様ナ人モ中ニハアリマセウケレドモ、大半ノ人ハ左様ナサモシイ根性ヲ持ッテ居ル者ハサウアリハシナイ、サウシテ其五〇%ニ及ブ藥價ニ對シマシテモ、ヤハリ社會奉仕ヲ

シテ居ル、斯ウ云フ醫師會ニ對シテ、本案ト醫師會トノ結付キニ付テ、政府ノ認識ガドウ云フ風デアルカ、醫師會ニ契約デモスレバ、甚ダ不當ナコトデモアリハセヌカト云フ風ノ御説明ガ、何時デモアリマスルガ、現在ノ醫師會ノ此社會事業ニ對シマシテ爲シテ居ル仕事ニ對スル認識ガドウデアリマセウカ、之ヲ一ツ御伺ヲ致シマス

○河原田國務大臣 私ハ本會議等ニ於テ度度申上ゲマシタヤウニ、現在ノ開業醫諸君、即チ醫師會ヲ構成スル開業醫諸君ノ功績ト云フモノハ認メナケレバナラス、又今日ノ醫療組織ニ於キマシテモ、現在ノ我國ノ社會狀態ニ於テモ、開業醫制度ト云フモノハ、其基礎ヲ成スモノデアッテ、是ハ輕々シク動カスベキモノデハナイト云フコトヲ、私ハ度々申上ゲテ居リマス、唯所謂醫師會ニ關スル問題ハ、團體契約ヲ強制スルヤ否ヤ、法ヲ以テ團體契約ヲ設クルヤ否ヤト云フコトニ關聯スル意味ニ於テ、私ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、團體契約ハイカヌト云フコトハ、私ハ申サナイノデアリマス、現ニ今回ノ法規ト云フモノハ、團體契約ヲシテモ何ヲシテモ自由デアアル、且又成ベク廣イ醫者ニ掛ルコトガ、本法ノ希望スル所デアリマスカラシテ、實際ニ於テハ恐

ラク團體契約ガ行ハレルコトガ多カラウト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ル、唯團體契約ヲ必ズシナケレバナラスト云フコトヲ、法規ヲ以テ本法ノ中ニ規定スルコトハ吾々ニ賛成ガ出來ヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス

○中崎委員 醫師會ノ現在社會ニ奉仕シテ居ルコトニ對シテノ御認識ハ、大體ニ於テ本會議等ニ於テ御説明ニナッテ居ラト同様デアルト思フノデアリマス、醫師會ガ盡シテ居ルト云フコトハ認メテ居ル、而シテ現在ノ制度ニ付テ大改善ヲ加ヘル意思ガナイト云フコトデアアルナラバ、其程度ニ致シテ此點ハ其以上申上ゲマセヌ

次ニ御伺致シマスノハ、法ラバ只今ノ内務大臣ノ御説明デ、團體契約ヲ本案ニ持ッテ來ルコトハ、是ハ本案ノ性質上ドウシテモ面白クナイ、斯ウ云フコトデアアル、是ハ屢々大臣ノ御説明ニ依ッテ承知シテ居ルノデアリマスルガ、團體契約ガ都合ガ惡イ、併シ過般來ノ御説明ニ依ッテ見ルト云フト、其町村内ニ開業シテ居ル者ハ、成ベクソレハ囑託醫ニスル、成ベクヂヤナイ、全部囑託醫ニスルト云フヤウナ方針ノ下ニ進マシメルト云フコトヲ言ハレテ居ッタノデアリマスルガ、例ヘバ是ハ東京市デハ少シ大キ

過ギルト思ヒマスガ、地方ノ市デモ宜シイ、相當ノ市内ニ開業シテ居ル人ガ、何百ト云フ數ニ上ッテ居ル場合ニ、今度ノ法案ノ中ノ此保險法ニ依ッテ、特別保險組合ガ出來ル、サウシテ成ベク多クノ醫者——成ベクヂヤナイ全部ノ醫者ヲ、其組合ノ囑託醫ニスルト云フヤウナ方針デ進ムト云フコトデアリマスルガ、是ハ市ニ於テ果シテサウ云フ事ガ出來マセウカ、全部ノ醫者ヲ頼ンデサウシテ特別健康保險組合ノ囑託醫タラシメルト云フヤウナコトガ、實行可能デアルト御見込デアリマセウカ

○清水政府委員 市部ニ於テ總テノ開業醫ヲ、組合ノ囑託ニ出來ルカト云フ御話ノヤウニ伺ヒマシタガ、吾々ノ考ト致シマシテハ出來ルダケ廣ク醫者ヲ囑託シタイ、隨テ市部ニ於キマシテモ、出來ル限リ特別組合ノ組員ガ掛ルヤウナ醫者ハ皆囑託シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、隨テ其組合員ガ全市ニ分布シテ居ルヤウナ場合ニハ、自然全市ノ醫師ヲ囑託ヲシタイト思ッテ居リマス、又ソレハ出來ルダラウト考ヘテ居リマス

○中崎委員 今ノ御説明デアリマスガ、如何ニモ雲ヲ掴ムヤウナ御話デ、ソレナラバ假ニ東京市ト御考ヲ願ヒマシテ、東京市ニ特別組合ガ出來テ、東京市ノ何千ト云フ開

業醫ニ對シマシテ、サウシテ政府ガ希望シテ居ルヤウニ、醫者ニ對シマシテモ機會均等ノ方針デ進ム、斯ウ云フヤウナ立派ナ御答辯ニ、果シテ是ガ適合スルト御承知ニナルノハ、一體御間違デハナイデセウカ、サウシテ又都市ニ於テ、特別組合ト云フヤウナモノガ、政府ガ今御話ニナルヤウナ風ニサウ出來テ、萬遍ナシニ醫者ヲ組合ノ囑託ニシテ、サウシテ政府ガ説明シテ居ルト同様ナコトニ行ケルト云フ御考ガ間違ヒヂヤアリマセヌカ、一體特別組合ト云フモノガ、ドノ程度マデニ御出來ニナルト云フ御考デアリマスルカ、御伺ヒ致シマス

○清水政府委員 先ヅ特別組合ノ御話デゴザイマスガ、大體特別組合ハ御承知ノヤウニ、同種ノ業務ヲ營ンデ居ル者トカ、同一事業ニ從ッテ居ルトカ云フ者ガ作ル譯デアリマシテ、サウ無暗ニ數ハ澤山ナイ譯デアルト思ヒマス、正確ニ調ベタモノハゴザイマセヌデスガ、一應調ベテ見マシタ所ニ依リマシテモ、サウ云フ組合トカサウ云フモノガ澤山出來ルト云フ風ニモ考ヘラレマセヌデ、サウ大シタモノデハアルマイカト實ハ考ヘテ居リマス、尙ホ例ヘバ全市ニ組合ガ分布シテ居ルト云フヤウナ場合ニ、醫者ト契約ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ

場合デアリマシタナラバ、其場合ニハ御話ノヤウナ團體契約ト云フコトモ、或ハ必要デアル場合モアリマセウ、唯サウ云フ場合ニ於キマシテモ、法律デ強制ヲシテ置キマスト云フコトニナリマスレバ、前々カラ色色申上ゲテ居リマスヤウナコトモアリマスノデ、法律ニハ其點ハ書イテゴザイマセヌガ、必要ニ應ジマシテハ團體契約ヲスル場合モアリマス、團體契約デナク個人々々ノ醫者ト一々話合ガ出來ルナラバ、ソレデモ結構デアリマス、別ニ團體契約ヲサウ云フヤウナ場合ニ指定スルト云フ譯デモゴザイマセヌ

○中崎委員 今ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマス、一體此法案ヲ實施シテモ、特別組合ガドレ位出來ルカト云フヤウナ御見込ガ、マダチットモ立ッテ居ラスヤウデアリマス、特別組合ガドレ位出來ルノカ、普通組合ガドレ位出來ルノカ、普通組合ニ對シテハ百二十トカ幾ラトカ云フヤウナ御説明ヲ、何時カ伺ッタト思ッテ居リマスガ、特別組合ガドレ位出來ルカ、チヨットモ見當ガナイトシマスルト、一體都市ノ組合ト云フモノト、都市ニ開業シテ居ル醫者ト云フヤウナ者ニ對シテハ、テンデモウ御考ガナイト思フケレドモ、本案トノ關係ニ付テハ、ド

ウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○廣瀬政府委員 特別組合ニ付キマシテモ、一應只今答辯申上ゲタノデアリマスガ、都市ニ於キマスル特別組合ハ法文ニ書イテアリマス通り、同一ノ事業ニ從事シテ居ル者、或ハ同一ノ業務ニ就イテ居ル者ト云フ者ニ限定ヲ致シテ居ルノデアリマス、都市ニ於キマシテハ此種ノモノガ幾ツ出來ルカト云フヤウナコトヲ、豫メドウ斯ウト決メル譯ニハ參リマセヌ、ケレドモ各種ノ同業組合邊リノ方デ、ヤハリ組合ヲ作りタイト云フ希望ガアリマスレバ、是ガ社會保險ノ目的ニ合フモノデアルナラバ、ヤハリ認メテ行クト云フ譯デアリマシテ、唯數ガ幾ツ出來ルカ、或ハ何ト何ニ作ルカト云フコトヲ、豫メ決メルノハ妥當デナイト云フダケノコトデアリマシテ、決シテ其特別組合ニ付テ何等考ヘテ居ラヌト云フヤウナ譯デハナイノデアリマス、農村ノ方ハ御承知ノヤウニ、町村ノ數ナドモハッキリ致シテ居リマスガ、都市ニ於テハ此色々ナ事業、色々ナ業務ト云フモノニ付テノ各種ノ事情ガアリマセウカラ、豫メ數字的ニ申上ゲルコトハ困難デアリマスノデ、吾々ト致シマシテハ、此點ニ付テモ十分ニ研究致シテ居リマシテ、之ニ對スル考ヲ持ッテ居ル譯デア

リマス

○中崎委員 只今ノ長官ノ御説明デアリマスルガ、町村ハ數モハッキリシテ居ルカ分ル、都市ハドウモ分リ兼ねルト云フノデアリマスケレドモ、本案ヲ實施スルト云フ直前ニ於テ、サウ云フ無見當ナコトデハ、此大法案ヲ實施スルニ付テノ政府ノ責任ハドシナモノデスカ、今少シ私ハ突込シ御調ベヲ願フデ、御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、實際問題ト致シマシテハ町村ニハ困ッテ居ル者モアリマス、併ナガラ都市ノ下層階級ノ者デ、醫療ニ親シムコトガ出來ナイト云フヤウナ實ニ氣ノ毒ナ者ハ、是ハ寧ロ農村以上ニアルカモ知レヌノデアリマス、唯徒ニ農村方面ダケヲ考ヘテ、都市ノ下層階級ノ生活狀態ガ如何デアラウカ、ソシナコトハマダ考ヘテ居ナカッタト云フコトデアルトスレバ、政府ハ甚ダ都市ノ生活困難ノ者ニ對シテ、不親切デアルト云フヤウナコトニナリハシナイデセウカ、是ハ私ハ此法案ノ中ニ組合ヲ二ツニ分ケル、一ツハ普通組合、一ツハ特別組合デアルト云フ此立前カラ致シマシテモ、普通組合ハ凡ソ是位、特別組合ハ全國ニ於テ是位ハ設立スル積リデアル、サウシテ之ニ對シテハ斯ウ云フ方法ヲ以テ行キタイノデアルト云フ程度位ノ

御説明ハ、實ハ私承リタカッタノデアリマス、ソレ等ニ對シテ今少シ明細ナ御説明ガ願ハレマセヌデセウカ、今一應御伺致シマス

○河原田國務大臣 一寸私カラ氣付キノ點ヲ一ツ申上ゲテ見タイト思ヒマス、昨日或ル人ガ私ノ所ニ訪ネテ來タノデアリマシガ、其人ハ圓タクニ乗ッテ來タ、所ガ案外ニ其圓タクノ運轉手ト云フノガ、國民健康保險組合ノ成立ト云フコトニ、非常ナ關心ヲ持ッテ居ルノニ驚イタト云フコトデアル、其乗ッテ居ッタ人ニ圓タクノ運轉手ガ聽クノニ、何時アレガ出來ルノカ、ドウシテヤカマシイノダラウカト云フコトヲ申シテ居ル、詰リ圓タクノ運轉手アタリガヤハリ斯ウ云フモノニ非常ナ關心ヲ持ッテ居ル、ダカラ是ガ出來タ場合ニハ、所謂業務別ノ組合デモ作ル積リデハナカラウカト云フコトヲ申シテ居ッタノデアリマス、デアリマスカラヤハリ是ハ農村バカリデナク、都市ニ於ケル中小商工業者ト云フ方面ニモ、相當ニ必要ト認メラレテ居ル、斯ウ云フ風ニ私ハ思フノデアリマス、ソレカラ全部調査シテドウ位出來テカラデナケレバ、斯ウ云フ法ハイカヌデハナイカト云フコトハ、是ハ私ハ意見ノ相違ニナルト思ヒマスガ、兎モ

角モ今日ニ於キマシテハ、社會政策ノ最低限度トシテ、國民ノ要望スル所デアリマスカラ、若シ御話ノヤウニ一切合財七千萬ノ國民ガ、ドウ云フ狀態デアッテ、財政ガドウ云フ風デアリ、ドウ云フ希望デアルト云フコトヲ調べ上ゲヨウト云フコトニナレバ、少クトモ二三年ハ掛ル、併ナガラソレマデニシテヤラナケレバナラヌモノデハナイ、大體ノ觀察ニ於テ斯ウ云フモノガ必要デアルト云フコトヲ認メタナラ、ヤハリ一刻モ早クヤルノガ宜イノデハナイカ、是ハ或ハ例ニナラヌカモ知レマセヌガ、今日ノ所謂庶民金融ノ問題ニ致シマシテモ、庶民ノ借金ハドウナッテ居ルデアラウ、金融狀態ハドウナッテ居ルデアラウト云フコトヲ、一切合財各種ノ業務ナリ、個人ニ就イテ調べ上ゲテカラ、金融制度ヲ作ルト云フコトニエナッタラ大變デアリマセウ、是等モ大體必要ダト云フコトデ、ソレ等ノ制度ヲ作レバ、自ラソレヲ利用スル者ガ出テ來ル、斯ウ云フモノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居リマス、ヤハリ本案ニ付キマシテモ、サウ七千萬國民全體ニ就イテ、能ク病氣ガドウダ、經濟狀態ガドウダト云フコトマデ調べテカラデナケレバト云フコトハ、私共ハ諒承シ惡イノデアリマス、是ハ或ハ御意見ノ相違

ニナルカト思フノデアリマスガ、私ノ氣付キダケヲ申上ゲテ置キマス

○中崎委員 大臣ノ只今ノ御説明デアリマシガ、圓タクノ運轉手君ノ言ハレタコトガ、ヤハリ今ノ社會ノ實情デアルト思フノデアリマス、何レモヤハリ本法案ノ一日モ實施ノ早カラシゴトヲ希望致シテ居ルニ相違ナイ、相違ナイガ、併ナガラ責任ノアル吾々ト致シマシテハ——政府當局ハ勿論ノコト吾々ト致シマシテモ、若シ之ヲ實施シテ過チガアッテハイカヌ、唯實施ノ早カラシコトノミヲ急イデ、サウシテ若シ此法案ニ缺陷ガアリ、此法案ノ實施ニ於テ躓キガアッテハ、吾々ノ責任上是ハ由々シキコトデアリマスガ故ニ、私共ハ其處ヲ十分ニ檢討ヲシテ、サウシテ之ヲ通シタイ、而シテソレニハ今大臣ノ御話ノヤウニ色々ト調査シテ居ッタラ二三年掛ルト思フケレドモ、ソレ程マデノコトハセヌデモ宜イデハナイカト云フ風ニ、サウ云フ輕イ氣持デ本法案ニ臨ムコトナク私ハ致シタイ、モット私共トシテハ十分ナ檢討ヲ加ヘ、十分ナ決心ヲシテ、是ナラ譬令百年經タウト、千年經タウト、本當ノ是ハ千古不磨ノ大典デアッタト言ハレルノデナケレバ、私ハイカヌト思フノデアリマス、ドウモ

一寸調べ見テ、サウシテドウモ拙ヰイカ
ラト云フヤウナコトヲ、此法案ニ於テハシ
タクナイノデアリマス、其點ガ甚ダ私ドウ
モ輕ク考へ過ギテ、先ヅヤッテ見ヨウト云
フヤウナ氣分バカリ、ドウモ政府ニアルノ
デヤナイカと思フノデアリマス、ソレ等モ
考違ヒデアルト云フコトデアレバ、已ムヲ
得ナイノデアリマスガ、今一ツ私ハ其點ニ
付テ只今マデノ御説明ノ中ニ、斯ウ云フ不
審ヲ持ッテ居ル、當局ノ御説明ニ依ッテ見マ
スルト、團體契約ハ醫者ガ彼此レ叫ブ、ケ
レドモ、團體契約ヲ叫ブ必要ハナイデヤナ
イカ、其村、其村ニ居ル醫者ノ全部ガ、囑
託サレルト云フヤウナコトニナルシタナ
ラバ、何モソレヲ改メテ團體契約ヲセヌデ
モ宜イデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御説明
ヲサレテ居ルノデアリマスルガ、全部ノ人
ガ囑託サレルト云フコトニ、結論ガ到達ス
ルモノナラ、團體契約ヲシテ何處ニ不思議
ガアルノカト云フコト、又半面カラ考ヘテ、
全部ノ人ニ頼ムト云フコトナラバ、全部ノ
人ガ會員ニナッテ居ル團體ト契約ヲスルコ
トガ、何處ニ不思議ガアルカ、何處ニ不可
思議ナコトガアルカ、成程組合員ノ自治ヲ
尊重スルト云フ意味カラ言ヘバ、團體契約
ヲシヨウト、個人契約ヲシヨウト、ソレハ

組合自身ニ任セルノダト云フ御説明ノ一點
張デアリマスガ、私共ハ政府ノ御趣旨ガ全
部ノ醫者ヲシテ囑託醫タラシメテ、一人モ
漏レナクサセルノガ政府ノ方針デアルト云
フコトニナルト、一人殘ラズ保險法ト關係
ヲ結ンデシマフト云フコトニナレバ、全部
ノ醫者ガ會員トナッテ居ル其會、而モ政府ガ
之ヲ監督シテ居ル、其監督ノ下ニアル其會
ト、政府ノ監督シテ居ル此保健組合ナルモ
ノガ、是ガ結付カッテドウ云フ所ニ惡イ所ガ
アルノカ、斯ウ云フコトヲ私ハ御伺ヒシテ
見タイト思ヒマス

○河原田國務大臣 私ハ度々繰返シテ申シ
マスヤウニ、團體契約自體ガ惡イト云フコ
トハ決シテ申シマセヌ、若シ團體契約ト云
フモノガ惡イナラバ、是ハ法規ヲ以テ寧ロ
禁止シナケレバナラス、又現在ニ於テ勞
働者ヲ目標トシマスル健康保險組合ニ於テ
モ、ソレハ何トカシナケレバナラスノデア
リマスガ、是ハ自由デアアル、唯私ノ申シマ
スルノハ、法文ニ於テ團體契約ヲ強制スル
ト云フコトハ、是ハ今日ノ狀況ニ於テ宜シ
クナイ、ヤハリ又國民保險組合ト云フモノ
ヲ、自治的ニ發達サスベキモノデアリマス
カラ、御互ニソコニ切磋琢磨シテ行ク、斯
ウ云フコトガ適當デアラウ、強力ナ、非常

ニ強イ、非常ナ權力ヲ持ッテ居ラレルノデ
アリマスカラ、ソレニ更ニ團體契約ヲ強制
スルト云フヤウナコトハ如何ナモノカ、寧
ロ御互ニソコヲ自由ニシテ、切磋琢磨スル
方ガ宜イト、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデ
アリマス、又一方ニ於キマシテ、今日ノ實
情ニ於キマシテ、現在ノ労働者ヲ目標トシ
マスル健康保險制度ニ於キマシテモ、團體
契約ヲ法規ヲ以テ強制シテ置カナクテモ、
既ニ政府管掌ノ健康保險制度ニ於キマシテ
ハ、團體契約ガ行ハレテ居ルノデアリマス
カラ、私ハ決シテ團體契約ソレ自體ガ惡イ
ト云フコトハ、少シモ申シテ居ラヌノデア
リマス、唯強制スルト云フコトハイカヌ
ト、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマ
ス

○中崎委員 只今ノ大臣ノ御説明デアリマ
スルガ、今日ノ狀況ト云フコトハ、一體如何
ナル狀況デアアルノカ、今日ノ狀況ガ醫師會
ト契約ヲスルコトガイカヌト、斯ウ云フ風
ニ聽キマシタガ、今日ノ狀況ト云フノハ一
體ドンナコトヲ御指シニナッテ居ルノカ、吾
吾ニハ諒解ニ苦シムノデアリマス……(發
言スル者アリ)ソレハアナタガ違フ、能ク後
デ御話シマス、今日ノ狀況ト云フコトハド
ウ云フ譯デアアルカ、醫師會ト契約スルコト

ガ惡イモノデアリマスカ、ソレカラ此強キ
權力ヲ持ッテ居ル——醫師會ガ強キ權力ヲ
持ッテ居ッテ、弱イ權力ノ組合ト協定スルコ
トニナルカラト云フ御説明デアリマスガ、是
モ私ハドウモ不思議デアリマス、醫師會ハト
ウ云フ所ガ強イ權力デアッテ、ドウ云フ所ガ
組合ハ弱イ權力デアッテノデアリマスカ、是
ハドウモ、サウ云フ御説明デハ一寸私共ニ
ハ了解ニ苦シムノデアリマス、此團體契約
ト云フコトニ付テ、私共ハ此團體契約ト
云フコトガ、強キ是ガ完全無缺トハ思ッテ
居ラヌ、團體契約ニ付キマシテモ、相當政
府ナリ、或ハ當局ヨリノ相當ノ監督ヲスル
コトモ必要デアアルコトハ、能ク承知シテ居
リマスケレドモ、今ノ御説明ノヤウナ、此
強キ權力トカ、弱キ權力トカト云フコトニ
依ッテ、團體契約ガ不安デアルト云フヤウナ
コトハ、私ハ解シ得ラレナイノデアリマ
ス、ソレカラ現在健康保險ヲ、政府ト醫師
會ト、法文ハナイカ知ラヌガ契約ヲヤッテ
居ルデヤナイカ、ソレハ御尤デアリマス、
併シ現在ノ政府ト此醫師會トノ契約ニ付テ
ハ、何等規定ニ於テ決ッテ居ラヌガ爲ニ、是
ハ始終、年々其契約ニ付テ支障ヲ起シタ
リ、實際問題ニ付テ色々ナ問題ヲ起スノデ
アリマス、斯ウ云フコトニ付テモ、何等

カノ規定ナリ、法規ナリガアレバ、毎年毎年日本醫師會ト政府トノ契約ニ於テ、ドウトカスウトカ云フ問題ヲ起サヌデモ私ハ宜シイト思フノデアリマス、是ガヤハリ今ノ政府、例ヘバ社會局ト、ソレカラ日本醫師會ナラ日本醫師會ト、斯ウ云フ風ニヤルガ宜シイト云フヤウナコトデモアリサヘスレバ、私ハソナコトハナイト思ヒマスガ、ソレガナイガ故ニ始終其問題ガ起テ來ル、此三點ニ付テ今一應御説明ヲ願ヒマス、今日ノ狀況トハ一體ドンナコトヲ御指シニナッテ居ルノデアリマスカ

○河原田國務大臣 私ハ強い權力、強い團體ト云フコト、弱い團體ト云フコトハ決シテ申シマセヌ、ソレカラ今ノ強イト云フノハ、兎モ角、申ス迄モナク今日ノ日本醫師會ト云フモノガ、國家ガ其存在ヲ必要トシテ、或ハ藥價ヲ協定スル權利ヲ持つカ、各種ノ法律上可ナリ國家カラ與ヘラレタル強い權力ヲ持つテ居ルヤウニ思フノデアリマス、今日ノ情況ト云フコトニ付キマシテハ、例ヘテ申シマスレバ、今日如何ナル團體デモ、其團體ハ所謂交渉權ト云フモノヲ、法律ヲ以テ認メラレテ居ラヌ團體ハナイノデアリマス、デアリマスカラ醫師會ニ限テ團體契約ヲ認メルト云フコトハ、是ハ

餘程慎重ナ考慮ヲシナケレバナラヌ、團體契約ヲ強制スルコト云フコトハ、餘程慎重ニ考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ健康保險ノコト、是ハ今日ノ團體契約ヲヤッテ居リマスガ、法規ニ強制セラレナイノデ、却テソコニ各種ノ交渉ガ出來ルノデ、若シ、法律ヲ以テ必ズ醫師會ト共ニ、團體契約ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルナラバ、ソレニ膠著シズンテ、御互ニ交渉ノ餘地モ私ハナクナルト思ヒマス、ソコガサウ云フ法規ガ強制サレテ

居ラヌカラ、ソコニ御互ニ話合モ——或ハ色々此交渉ヲシテ、話合ガ出來ルデアラウト、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

○中崎委員 強い權力ト弱い權力云々ト云フコトデアリマスガ、今日ノ情況ト團體ノ契約權ヲ認メテ居ルモノハ何ンニモナイ、斯ウ云フ風ノ御話デゴザイマスガ、此醫師會ノ團體ト云フ言葉ガ、適當デアルカドウカデアリマスルガ、醫師會ト云フ一ツノ法人、此醫師會、法人、是ヲ團體トマア一寸言ッテ居ルノデアリマスガ、此法人ノ契約ヲ認メナイト云フコトニナルナラバ、今度ノ法案ノ中ニアリマスル醫療利用組合、斯ウ云フ法人モドンナモンデセウカ、ヤハリ認メルト云フヤウナコトハ、一方ノ法人ハ認

メルケレドモ、一方ノ法人ハ認メナイト云フ風ノコトモ起ッテ來ルノデハナイカ、之ニハ何カ違ヒガアリマスカ

○河原田國務大臣 組合ト醫師會ト團體トニ契約ヲ爲サルコトハ一向差支ナイ、是ハ法規モヤハリ認メテ居リマスガ、必ズ醫師會ト團體トノ契約ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ法律ヲ以テ強制スルコトハ、今日マダ面白クナイ、斯ウ申上ゲルノデアリマス、ソレヲ忌避シテ居ル意思ハ少シモナイノデス

○中崎委員 只今ノ大臣ノ御説明ニ依ッテ見ルト、團體ノ契約ヲ認メナイト云フノデハナイガ、法制化スルコトハイカヌ、斯ウ云フ御説デアルノデアリマス、ソコデ一昨日ノ田中君ノ御演説ニ對シテ御答辯ニナッタ其中ニ、省令ヲ以テ之ヲ決メル、斯ウ云フ御答辯ヲ爲サイマシタケレドモ、此省令ナルモノハドウ云フ程度ニ御決メニナル積リデアリマスカ、私共ノ手許ニ配付サレマシタ此資料ノ通りノヤウナ一體御考デアルノカ

○河原田國務大臣 私ガ省令ヲ以テ大體ノコトヲ決メルト申シマシタノハ、斯ウ云フコトヲ申シタノデアリマス、從來例ヘバ團體ノ契約ガ自由ニ委サレテ居ルト、例ヘ

バ或ル健康保險組合ガ特別ノ醫者トダケシカ契約ヲシナイ、斯ウ云フコトガアッテハ困ルヂヤナイカ、醫者ト云フモノニハ成ベク廣ク掛ラセルコトガ必要デヤナイカ、斯ウ云フ御尋ニ對シマシテ、私ハ其通りデアル、デアリマスカラ國民健康保險組合ガ出來マシテモ、省令ヲ以テ其組合員ハ廣イ範圍ノ醫者ニ掛レルヤウニシテ置ク、唯特定ノ或者ダケデハイカヌゾ、斯ウ云フヤウナ趣旨ノコトヲ規定スル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ、團體契約ヲ必ズセヨト云フコトノ省令ヲ作ルト云フ意味デヤナイ、廣イ範圍ノ醫者ニ掛レル途ヲ開クヤウニシナケレバナラヌ、斯ウ云フ事ヲ省令ニ規定スルト云フコトヲ申上ゲタ、隨テ恐ラク——是以上ハ推測デスガ、團體契約ハ行ハレルノデアラウ、斯ウ云フコトヲ私ハ本會議ニ於テ御説明申上ゲテ居ルノデアリマス

○中崎委員 只今ノ御説明ニ依ッテ見ルト、團體契約ハ、サウ云フ方針デ行ケバ行クデアラウ、省令モソレヲ決メルノデナクテ、方針ヲ示スダケデアル、斯ウ云フ風ノコトデアリマスルガ、一體團體契約——色々團體契約ヲ醫師會ト結ブト云フコトハ非常ニ反對サレテ居ル御方モアルヤウニ承知シテ居リマスケレドモ、併シ私共ハ醫者ニ關

係ガアルカラ、其意味デ醫師會ノ團體ト契約スルコトハ適切デヤナイカト云フコトヲ申上ゲルト思ハレルコトハ、甚ダ苦シイノデアリマス、併シ私ハ考ヘテ見ルト、ヤハリ醫師會ト云フモノト契約スルノガ一番被保險者ノ立場、組合トシテノ被保險者ノ立場カラ考ヘタナラバ、是ガ一番私ハ良イ方法デヤナイカト思フノデアリマスケレドモ、其點ガドウモ考ガ一致シナイノデアリマス（「ノー」）此點ハ私ハドウモ「ノー」デナイ（笑聲）何トシテモ私ハ其方ガ便宜ダト思フノデアリマス、是ハ同僚ノ御方カラ始終御説ガ出テ居リマスカラ、餘リ管々シクハ申上ゲマセヌケレドモ、ドノ醫者ヘ行ッテモ掛レルト云フノガ一番宜イノデヤナイデセウカ、サウデナケレバマヅイ、ナゼカト申シマス、斯ウ云フコトニナリマス、或村ナラ村ニ醫者ガ二人ナリ三人ナリアッテ、或ハ一人——二人三人アル所ハ村デハ少イ、多クノ村ハ一人デス、一人ノ醫者ガ居ッテ、其醫者ガ例ヘバ其組合ノ囑託ニナリマス、アトハ頼ミタイト云ッテモナイノデアリマスカラ、一人ニナリマス、サア其一人ニナッタ場合ニ、若シモ其人ガ内科モ外科モ婦人科モ眼科モ、有ユルモノヲヤリ得ル者ナラバ、ソレデ結構デア

ルガ、若シモ其醫者ガサウデナイ場合——ソレガ又今多イノデスガ、サウ云フ風ニ何デモ治療ノ出來ル人ハ少イ、サウ云フ場合ニ一體團體契約ヲシテ置カナカタナラバ、非常ナ茲ニ不便ガ生レテ來ルノデアリマス、例ヘバ外科ノ人ガオ産ダト云フ場合ニ迎ヘニ來ラレテモ、何トモ是ハ困ル、俺ハ外科ダケレドモ、ドウモ組合ノ囑託醫ダカラ行カナケレバナラヌカト云ッテ行ッタ所ガ、産科ノ醫者デナイ人ガ——外科ノ醫者ガオ産ノ所ヘ行ッテモ困ル、是ハアナタ方ノ奥サンニ若シモサウ云フ場合ガアッタシテモ（笑聲）實ニ妙ナ問題ガ起ル、斯ウ云フ場合ニ若シモ隣ノ村ニ産科ノ御醫者ガアッタトスレバ、組合ノ囑託醫デナクテモ行ケルト云フ自由ナ方法ヲ執ルコトニハ、ヤハリ是ハ團體契約ヲシテ居ナケレバ自由ナ方法ガ執レナイ、其場合ニ先程當局ノ御方ノ御説明ニ依ルト、現金ノ給付ヲシテ持タシテヤル、オ産ナント云フモノハ大抵夜分ガ多イ、中々サウ宜イ時間ニ出ルト云フコトハアリマセヌ、サウ云フ場合ニ若シモ組合カラ現金ノ給付ヲ受ケテ行クナント云フコトガアッタラ、是ハ奥サンガ參ッデシマフ（笑聲）實際問題トシテサウ云フ譯デアル、ソレデ團體契約ト云フコトガ、私ハ一番被

保險者ノ利益ノ爲ニ結構デヤナイカト思ッテ居ル、若シモ又耳鼻科ノ人デ以テ——私ハ醫者デアアルカラサウ云フコト位ハ分ッテ居リマスガ、中耳炎デモ起シタ場合ニハ、是ハ一時間ヲ爭フ、サウ云フ場合ニ於テ若シモ囑託醫ガ内科ノ人デアッテ、其中耳炎ニ縁ノ遠イ人デアッタナラバ、是ハドウナルカ分ラナイ、先ヅ以テ其醫者ノ判斷ヲ得テソレカラ他ニ行ク、是ハ吾々ノ方デハナイ、耳鼻科ノ醫者ニ掛ルガ宜イト云フコトデ、組合カラ現金給付ヲ受ケテ行クナリ、或ハ左様ナ事務的ナ煩瑣ヲ起ス場合ニハ是ハ非常ニ困ルコトデアルト思フ、斯ウ云フコトカラ考ヘルト、例ヘバ甲ノ村ノ組合員デアッテモ、乙ノ村ノ其組合ノアル所ニ開業シテ居ル醫者ノ所ニモ行ケルシ、或ハ其村ヲ飛越シテ何々市或ハ町ニ開業シテ居ル所ノ勝手ナ醫者ニ行ッテ掛レルト云フコトガ、是ハ一番私ハ組合員トシテノ幸福デハナイデセウカ、是ハ私ガ醫師ノ會員デアルガ故ニ、醫師會ノ提灯ヲ持ッテ御話申上ゲルノデハナイ、本當ニ組合員トシテ、被保險者トナッタ立場ニ於テ是程私ハ便利ナ方法ハナク、自分ノ生命ヲ保護スル上ニ於テ、是程宜イコトハナイト思フ、過般ノドナタノ演説デアッタカ——ヤハリ田中君ノ演説デア

タト思ヒマスガ、患者ノ醫者ニ對スル信念ト云フモノハ別デアアル、オ上カラ此人ニ掛レト申付ケラレテモ、其人ニ掛ルコトハ患者トシテ本當ニ安心シテ居ルモノデヤナイ、患者ノ心理状態ト云フモノハ、ヤハリ本當ニ良イ立派ナ醫者ニ掛レト言ハレテモ、自分ノ信ジテ居ル鍼井竹庵ニ掛ルコトヲ喜ブモノデアアル、私共ノヤウニ本當ノ鍼醫デアルケレドモ——私ハ醫者トシテ脈ヲ取ラナイコト二十年ニナッテ居ルケレドモ、二十年前ニ私ノ爲ニ助カッタ人ハ今デモ私ニ脈ダケデモ宜イカラ診テ呉レト言フ、患者ノ心理状態ト云フモノハ左様ニ變ッテ居ッテ、御役人カラ申付ケタ御醫者デ満足スルト云フヤウナ事實ハナイ、殊ニ一箇村ニ一人シカナイヤウナ場合ニ於テ、重症ニナッタ其患者ハ其人ダケデ満足シテ居ルヤウナモノデヤナイ、風邪ヲ引イテ肺炎ニナレバ、ヤハリ立派ナ醫者ニ掛リタクナル、サウ云フ場合ニ於テ村ヲ越シ郡ヲ越シテ行ク場合ニ於テ、一々現金ノ給付ヲ受ケナケレバ行ケナイト云フヤウナコトデハ、是ハドウモ私ハ法ノ不備デアルト云フコトニ將來ナリハセヌカト思フ、斯ウ云フ點ハ寧ろ組合員ノ利益ノ爲ニ此法ヲ改正シテ置ク必要ガアルト云フコトヲ先ヅ私ハ申上ゲテ置ク、實ハ是デマダ

三分ノ一位ニシカヤリマセヌガ、モット
續行サセテ呉レマスカ（「ヤルナラヤリ
ナサイ」ト呼フ者アリ）之ニ對シテ、
先ヅドウ云フ御見解デアルカ伺ヒタ
イ

○河原田國務大臣 細カイ醫療ノ方法其他

ハ政府委員カラ御答致シマス、私ハ唯度々
繰返リシテ恐縮トハ考ヘマスガ、決シテ團
體契約ヲ強制シナイ、ソレカラ又今御述ベ
ニナリマシタヤウニ、成ベク廣ク醫者ニ掛
レルヤウニスルノガ宜イ、デアリマスカラ
先程來申シマスヤウニ、或ル特定ノ組合デ
以テ決メテ醫者ガ外科ノ醫者デアリ、内科
ノ病氣デアラウガ産科ノ病氣デアラウガ其
人ダケデナケレバナラヌト云フコトハイカ
ヌゾ、廣ク醫者ヲ選擇スル自由ヲ與ヘテ置
カナケレバイカヌゾ、ト云フ只今アナタノ
仰シヤルヤウナ御趣旨ノコトヲ省令デ規定
シテ行カウト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデ
アリマス、私ノ申上ゲルノハ、法規ヲ以テ
醫師會ト云フ法人タル團體トノ契約ヲ必ズ
シナケレバナラヌト云フコトノヤリ方ハイ
ケナイ、贊成シ兼ネル、廣ク醫者ニ掛レル
ト云フコトノ御趣旨ニハ政府ハ少シモ異議
ガアリマセヌ

○中崎委員 團體契約ニ對スル所ノ利害關

係ハ、サウ致シマスドオ五ノ考ヘガ變ッテ
居ル、一脈通ズル所ハヤハリ誰ニモ掛レル
ヤウニスルコトガ宜イト云フコトハ、政府
モ夙ニ御認メニナッテ居ル、唯法文ニ之ヲ表
ハスコトハ困ル、斯ウ云フトコニナルト承
知シテ差支ヘアリマセヌカ

○河原田國務大臣 廣ク醫者ニ掛レルト云

フコトノ趣旨ハ之ヲ省令等ニ規定シテ明ニ
シテ置キマス、斯ウ云フ譯デアリマス、隨
テ團體契約ノ問題ハ團體契約ヲ省令ニ書ク
ト云フコトハ致シマセヌ、併ナガラ實際ニ
於テハ廣ク醫者ニ掛レルヤウニシテ置クト
云フコトニナレバ、自然ト團體契約ガ行ハ
レルデアラウ、殊ニ醫師會ノ地方ニ於テ有
力ナル皆様方ガ、適當ニ此指導ヲ爲サレ保
健衛生ノ上カラモ、且又其地方ノ住民ノ幸
福ノ上カラモ御指導ナサレバ、自然ト團體
契約的ノコトガ行ハレルデアラウト、斯ウ
思フノデアリマス

○中崎委員 只今ノ御答辯ニ依ルト、ドウ

シテモ團體契約ト云フコトヲ法文ノ上ニ於
テ假令省令タリトモソレヲ規定スルコトハ
ナラヌト云フ風ナ御意見ノヤウデアリマス
ガ、ドウモ其點ガ私ニハ了解シ兼ネルノデ
ス、一般ノ醫者ニ掛リ得ルコトハ洵ニ結構
ダト言ッテ同意シテ居ラレル、併シソレヲヤ

レト云フコトハ省令デモ困ルト云フ風ニ拜
承シタノデアリマスガ、若シモサウデア
トスレバ、折角政府ガ親切ニドノ醫者デモ
自分ノ好キナ者ナラ他ノ人ガ見テ、アノ醫
者ハト思フヤウナ者デモ、先刻申シタヤウ
ニ患者ノ信頼ニ依ッテ頼ミタイト云ッたら其
醫者ニ掛レルヤウニシテヤルガ宜シイト云
フ所マデ政府ガ親切ニ考ヘテ居ルニモ拘ラ
ズ、團體ト其契約ヲスルトカドウトカ云フ
コトニ付テハ、法律デヤレト云フコトヲ示
スノハイカヌト云フコトニナルト、ドウモ
其處ニナルト私共甚ダ親切ノ程度ガ伺ハレ
ル、今一段進ンデサウ云フコトヲ決メル必
要ハナイデセウカ

○廣瀬政府委員 細カイ點ニ付テ申上ゲタ

イト思ヒマスガ、只今御心配ニナッテ居ル
點ニ付テハ、組合ガ其村ノオ醫者サンダケ
ト契約スルト云フ譯デハナイノデス、其組
合員タル村民ガ掛リツケノオ醫者サンハ隣
村ノ醫者デアッテモ、又其隣村ノ醫者デモ結
構デアリマス、組合ト契約ナサッテ組合員
ガ行ッテ診テ貰ヘルヤウニシタラ宜イト云
フコトニ付テハ、同ジ村デナケレバナラヌ
トカ何トカ云フコトハナイ譯デス、ソレカ
ラ現金給付ノコトニ付テ、一々現金ヲ持ッ
テ行カナケレバナラヌト云フコトデナクテ

モ、例ヘバ農村ノ人ガ町ノ專門醫ニ診テ貰
ヒタイガ、其町ノ專門醫トハ契約ガナイト
云フヤウナ場合ニハ、診テ貰ッテアトデ現
金ノ補給ヲシテヤルト云フヤウナ制度ヲ採
リマスレバ、町ノ專門醫ニ診テ貰ヘルト思
フノデアリマス、隨テ御心配ノ點ハ決シテ
組合トオ醫者サントノ契約ニ拘束ヲ與ヘル
譯デハナイノデアリマスカラ、從來ノ掛リ
付ケノオ醫者サン、村民ガ好ムオ醫者サン、
誰トデモ契約シテ宜イ、但シ法律ヲ以テ組
合ト醫師會ト契約シロト云フコトヲ書クノ
ハイケナイガ、事實問題トシテ組合ト醫師
會ト契約スルコトハ隨意デアル、斯様ニ申
上ゲテ居ルノデアリマス

○中崎委員 只今ノ當局ノ御説明ニ對シテ

ハ、私ハ何ダカ不足ヲ感ジテ居リマス、折
角親切ニ政府ガ考ヘテ居ルケレドモ、其親
切ガ組合員ニハドウモ徹底シナイ方法デア
ルト思ッテ居リマス、只今ノ御説明ノ中デ
ハ、甲ノ村ノ人、乙ノ村ノ人、何處ノ醫者
トデモ決メテ置ケルト云フコトニナルガ、
サウナレバ其郡内全部ノ醫者ニ掛リ得ルヤ
ウニ法律決メタルコトガ一番宜イノデハナ
イカ、先刻申上ゲタヤウニ、一人ノ醫者デ内
科モ外科モ産科モ婦人科モト云フヤウナコ
トハナイノデアリマス、サウ云フコトヲ便

宜ニスルニハ、廣イ範圍ノ醫者ト契約ヲシテ置キ、何處ニデモ好キナ所ヘ行ッテ掛カレルヤウニスルコトガ一番宜イト思フノデアリマスガ、是モ當局ノ見解ト吾々ノ見解ガ違ッテ居ルノデアリマシテ、ソレ以上申上ゲテモ討論ニナリマスカラ、私ハ之ヲ遠慮致シマスガ、但シ政府ノ只今ノヤウナ御答辯デハ組合員トシテノ折角ノ希望ヲ滿スト云フコトハ出來ナカラウト云フコトヲ申上ゲテ他ノ機會ニ讓ルコトニ致シマス

次ニ伺ヒタイコトハ、是ハ實ハ農林大臣ノ御答辯デナケレバナラヌカト思ヒマスガ、現在内務省ノ法案ノ中ニアルコトデアリマスカラ、内務大臣ノ御考ヲ伺ッテモ結構ダト思ヒマス、産業組合ノ利用組合理院デアリマスガ、此代行ヲ認メル、其代行スルト云フノハ産業組合デアルト云フコトニナッテ居ル、併シ其法文ヲ拜見スルト、營利ヲ目的トセザルト云フコトガ書イテアリマス、現在ノ産業組合ガ果シテ營利ヲ目的トセズト云フ此法文ニ一致シテ居ルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス（ソレガ一番大事ナ點ダ）其通り「農林大臣ガ來テカラヤレ」ト呼フ者アリ）是ハ農林大臣ノ所管デアリマスケレドモ、内務省ノ草案デアル條項ノ中ニ營利ヲ目的トセザルモノ

ト云フヤウニシテアッテ、ソレハ利用組合理院デアルト云フコトヲ御説明ニナッテ居ル、ダカラ内務省ハ營利ヲ目的トセザルモノト云フコトニ御承知ニナッテ居ルカドウカト云フコトヲ伺フノデアリマス

○河原田國務大臣 法規ノ上ニ於テハ産業組合ト云フモノハ營利ヲ目的トセザルモノニナッテ居リマス、私ハ少クトモソレヲ主張シテ居ルノデアリマス、ソレ以上ノコトハ一ツ政府委員カラ御答ヲ致サセマス

○中崎委員 然ラバ私ハ此機會ニ於テ、只今ノヤウナ内務大臣ノ御説明デアルナラバ、内務大臣ニ向ッテ私ハ事實ヲ申上ゲテ御參考ニ供シ、御反省ヲ煩シタイト思フノデアリマス、ソレハ私ノ方ノ或ル村ノ組合ニ於キマシテ、昨年ニ於テハ四分ノ積立ヲ致シマシテ、四分ノ配當ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フ行爲ヲシテ居ルノガ私ノ知ッテ居ル組合バカリデナク外ニモ相當アルノデヤナイカト云フコトヲ思ハセラレルノデアリマスガ、斯ウ云フ事實ニ付テハ、何等内務大臣ハ御承知ナイモノト見エマスガ、如何デアリマセウカ

○河原田國務大臣 私ガサウ云フ産業組合ノ問題ニ付テ御答スルコトハ、却テ誤解ヲ生ジテモイケマセヌカラ、私ハ答辯ヲ差控

ヘタイト思ヒマス

○中崎委員 ソレデハ此點ニ付テハ農林大臣ニ後デ御伺スルコトニ致シテ置キマス

尙ホ一ツ伺ヒマスルコトハ、先刻ノ御説明ニ基キテ若モ醫師會ノ團體ト契約ヲシナイト云フコトニナリマスルト、是ハ全部ノ

醫者ト契約ヲスルト云フ政府ノ方針デアッテモ、餘程實行ハ困難デアリマス、サウ云フ場合ニ於テ取殘サレタル醫者ハ洵ニ將來氣ノ毒ナ立場ニ私ハナルト思ヒマス、例ヘバ東京市等ニ於テ、先刻モ申上ゲタヤウニ、特別組合ト云フヤウナモノガ出來テ、サウシテマア特別組合ガ幾ツカ出來ル、其幾ツカノ中ノ取殘サレルモノニ對シテノ考ハ、政府ハ一體ドウ云フ風ナ御考ヲ持ッテ居リマセウカ、私ヲシテ言ハシムレバ、此醫師會ノ會員、詰リ醫者トシテ開業シテ居ル者モ、此保險法ガ實施サレテ、是ガ全國ニ普及サレルト云フ場合ニナルト、全國民ノ約半數ガ此組合員トナルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テ此組合トノ契約ニ「オミツト」サレル醫者ノ立場ニナッタナラバ、是ハヤハリ政府トシテモ相當考ヘテ戴カナケレバナラス、斯ウ云フコトニ對シテノ政府ノ御所見ハドウ云フ風ナ御考デアリマセウカ

○廣瀨政府委員 此組合ガ出來マシタ場合ニ、ヤハリ其地方ニ於ケルオ醫者ノ全部ト契約ヲサセルト云フ方針デアリマスカラ、特定ノ人ヲ選シテ之ヲ除外スルト云フヤウナコトハサセナイ積リデアリマス、ソコデ先程モ他ノ政府委員カラ申上ゲマシタヤウニ、市街地等ニ於テハ或ハ團體契約ト云フコトハ事實行ハレルコトニナルデアラウト云フコトハ今申上ゲデアアルノデアリマスガ、併シ決シテ自由ニ個々ノオ醫者サント契約ヲ致シマシテモ、特定ノオ醫者サント特ニ除クト云フヤウナコトハサセナイ積リデアリマス、ソレハ十分ナ監督モ致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ致サウト云フコトヲ常ニ述ベテ居ル譯デアリマス

○中崎委員 只今ノ御説明ニ依ッテ見ルト、一人モ殘ラズサウ云フコトノナイヤウニシタイト云フノガ政府ノ方針デアル、斯ウ云フ御意見デアリマスルガ、只今ノコトガ特別組合デナケレバ出來兼ルヤウナ都市ニ開業シテ居ル人ニ對シテハ、是ハドウシテモ私ハ醫師會ト云フモノト契約ヲスルニアラズンバ出來兼ルト思ヒマス、若シ假ニマア出來ルト致シテモ宜シイ、出來ルト致シテモ宜シイガ、政府ガ此法案ノ立前トシテ飽マデモ自治權ヲ尊重スルト云フ立前カラス

ル場合ニ、或ル醫者ニ對シテハ自分ノ感情
的ニアレハドウモマズイト云フヤウナ譯デ
普段ノ交際上カラ致シマシテ、若シ之ヲ拒
否スルト云フヤウナ場合ガアツタ時ニ、政府
ハドノ程度ニ於テソレヲ斡旋盡力セラレ
ルト云フ御考デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタ
イ

○廣瀬政府委員 此開業醫ト組合トノ契約
ト云フコトニ付キマシテ、御懸念ニナッテ
居ル組合ノ者ノ理事長ナリ何ナリガ不當ノ
事ヲシテ、サウシテドウモ自分ノ氣ニ食ハ
ナイ者ハ是ト契約セヌト云フコトラシタラ
ドウ云フ工合ニスルカト云フ仰セデアリマ
スルガ、サウ云フコトハナイヤウニ指導モ
シ、監督モシヨウ、併シサウ云フコトガ事
實アルト云フ場合ハ、ソレハヤハリ其組合
ノ理事長ナリ幹事ナリ何ナリニ對スル監督
權ハアルノデアリマスカラ、或ル場合ニハ
ソレハドウシテモ不當ナ事ヲスルナラバ、
政府ノ方針ニ從ハナイト云フコトデアルナ
ラバ、ソレニ對シテ補助ヲ廢メルトカ、或
ハ理事長、幹事ノ解任ヲスルト云フヤウナ
制裁方法モ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ
各府縣ニハ國民健康保險ノ委員會ト云フモ
ノヲ特別ニ置キマシテ、其委員會ニハ醫師
會ノ人モ入レルシ、ソレカラサウデナイ人

モ入レル、サウシテソレ等ノ委員會ニ依リ
マシテ、其間ニ於テサウ云フ不當ナコトノ
ナイヤウニ出來ルダケノ調停ヲスル、ソレ
デモイカヌケレバ、縣ノ監督デ適當ナ方法
ヲ講ズルト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス

○中崎委員 私ハ大體醫師會ニ對スル政府
ノ御説明ノ方針ハ能ク分リマシタケレド
モ、併シソレニ私ハ同意ヲスルト云フ意味
デナイコトヲ此際附加ヘテ申上ゲテ置キマ
ス

○添田委員長 一寸中崎君ニ御相談シマス
ガ、今農林大臣ハ農地法案ノコトニ付テ説
明ヲシテ居ルサウデス、一寸來ルノニハ暇
ガ掛ルト云フコトデアリマス、今此處ニ農
林省ノ更生部長ガ居ルノデスガ……

○中崎委員 農林大臣ニ對シテハマダ外ノ
コトモ伺ハナクテハナラヌコトガアリマス
カラ、今日デナクトモ結構デゴザイマスカ
ラ、農林大臣ノ御出席ヲ願ッテ御伺スルコ
トニ致シタイト思ヒマス

○添田委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會ニ
シテ、明後日月曜日午前十時カラ開會ヲ致
シマス

午後四時五十分散會

昭和十二年三月十三日印刷

昭和十二年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社